

Galaxy A30

SCV43

User Guide 取扱説明書 詳細版

ごあいさつ

このたびは、Galaxy A30 (以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に『取扱説明書』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体
(保護フィルム(試供品)
貼付済み)



SIM取り出し用ピン(試供品)
※ SIMおよびmicroSDメモ
リカードの取り付け/取り外
しに使用します。

- ・ クリアケース(試供品)
- ・ データ移行用試供品
(Micro USBケーブル(試供品)、OTG対応USB変換アダ
プタ(試供品))
- ・ 取扱説明書
- ・ データ移行用試供品取扱説明書

- ・ Travel Adapter(付属品)
- ・ USB Type-Cケーブル(Travel Adapterに同梱)

以下のものは同梱されていません。
- microSDメモ리카ード

memo

- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。
実際の製品と異なる場合があります。

取扱説明書について

■ 『取扱説明書』

主な機能の主な操作のみ説明しています。

■ 『取扱説明書 詳細版』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書
詳細版』は、J:COM Webサイトでご確認ください。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the J:COM website (available in July, 2019).

『取扱説明書・抜粋(英語版)』は2019年7月以降、J:COM Webサイトでご確認ください。

最新情報について

本製品の最新情報については、以下のホームページをご確認ください。

オフィシャルサイト:

<https://www.galaxymobile.jp/>

Facebook:

<https://www.facebook.com/galaxymobilejapan>

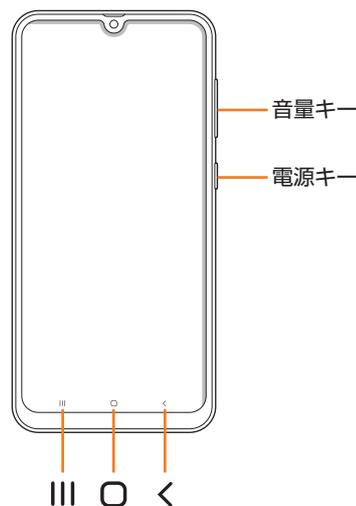
Twitter:

<https://twitter.com/GalaxyMobileJP>

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー/ボタン表示について

本書では、キー/ボタンの図を以下のように簡略化しています。



■ 項目/アイコン/ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面で[C]→相手の電話番号を入力→[☎]	ホーム画面下部の「 C 」をタップ* ¹ し、連絡する相手の電話番号を入力、「 ☎ 」をタップします。
アプリ一覧画面で[設定]→[一般管理]	ホーム画面を上または下にフリックし* ² 、表示されるアプリ一覧画面で[設定]をタップし、「一般管理」をタップします。

※1 タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です(▶P.32)。

※2 本書ではアプリ一覧画面を表示させる操作を省略しております。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書はSIMを取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。



本書の表記では、画面上部のアイコン類や下部のナビゲーションバーなどは省略されています。

memo

- ◎ 本書では本体カラー「ブルー」の表示を例に説明しています。
- ◎ 本書では縦表示の操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
- ◎ 本書では「au MVNO Multi IC Card 02」の名称を「SIM」と表記しています。
- ◎ 本書では「microSD™メモリカード(市販品)」、「microSDHC™メモリカード(市販品)」および「microSDXC™メモリカード(市販品)」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書の表記の金額は特に記載のある場合を除き全て税抜です。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ	1
同梱品一覧	1
取扱説明書について	1
最新情報について	1
本書の表記方法について	1

注意事項 7

注意事項	8
本製品のご利用について	8
安全上のご注意(必ずお守りください)	9
材質一覧	14
取り扱い上のご注意	15
防水/防塵に関するご注意	18
ご使用にあたっての注意事項	18
充電のときは	19
水に濡れたときの水抜きについて	19
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について	20
2.4GHz帯ご使用上の注意	20
5GHz帯ご使用上の注意	20
各種暗証番号/PINコードについて	21
各種暗証番号について	21
PINコードについて	21
データ通信料についてのご注意	21
アプリケーションについて	21
アプリの権限を設定する	22
マナーも携帯する	22

ご利用の準備 23

ご利用の準備	24
各部の名称と機能	24
クリアケース(試供品)を取り付ける/取り外す	25
クリアケース(試供品)を取り付ける	25
クリアケース(試供品)を取り外す	25
SIMについて	25
SIMが挿入されていない場合	25
SIMを取り付ける/取り外す	26
SIMを取り付ける	26
SIMを取り外す	26
充電する	27
ACアダプタを使って充電する	27
パソコンを使って充電する	27
電源を入れる/切る	28
電源を入れる	28
電源を切る	28
再起動する	28
強制的に再起動する	28
セーフモードで起動する	28
画面をロックする/画面ロックを解除する	28
初期設定を行う	29
Googleアカウントの設定をする	29
Galaxyアカウントの設定をする	29

基本操作 31

基本操作	32
タッチパネルの使いかた	32
ナビゲーションバーの使いかた	32
ホーム画面を利用する	32
ホーム画面をカスタマイズする	33
かんたんモードに切り替える	33
分割画面表示で表示する	34
アプリケーションを起動する	34
アプリ一覧画面を表示する	34

アプリ一覧画面をカスタマイズする	34
本製品の状態を知る	34
アイコンの見かた	34
通知パネルについて	35
クイック検索ボックスを利用する	36
Google音声検索を利用する	36
検索時のメニューを利用する	36
緊急時長持ちモードを有効にする	36
基本的な操作を覚える	36
縦横表示を切り替える	36
項目を選択する	36
タブを切り替える	36
メニューを表示する	36
設定を切り替える	37
データを複数選択する	37
最近使用したアプリケーションを表示する	37
起動中のアプリケーションを確認/終了する	37
画面の表示内容を画像として保存する	37

便利な機能 38

高度な機能の使いかた	38
モーションとジェスチャーの使い方	38
Always On Displayを設定する	39
顔認証機能を利用する	39
顔認証を登録する	39
顔認証の操作をする	39
顔認証の設定をする	39
指紋認証機能を利用する	39
指紋認証機能を設定する	40
指紋認証を行う	40
Bixby Homeを利用する	40
Bixby Homeの見かた	40

文字入力 41

文字を入力する	41
入力方法を切り替える	41
キーボードのタイプを選択する	41
Galaxyキーボードで入力する	41
文字列を選択/切り取り/コピー/貼り付ける	42
文字入力の設定をする	42
Galaxyキーボードの設定を行う	42

電話・連絡先 43

電話	44
電話をかける	44
履歴を利用して電話をかける	45
海外へ電話をかける	46
電話を受ける	46
着信に伝言メモで応答する	46
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する	47
伝言メモを利用する	47
自分の電話番号を確認する	47
通話関連機能の設定をする	47
番号指定拒否の設定をする	48
クイック拒否メッセージを編集する	48

連絡先 48

連絡先を登録する	48
連絡先をお気に入り追加する	49
プロフィールを編集する	49
連絡先を確認/編集する	49
グループ分けした連絡先を確認する	49
連絡先から電話をかける	50
連絡先のメニューを利用する	50
連絡先をインポート/エクスポートする	50
インポートする	50
エクスポートする	50

メール	51
メール	52
メールについて	52
SMS	52
SMSについて	52
SMSを送信する	52
SMSを受信／返信する	52
SMSを設定する	53
Gmail	53
Gmailについて	53
Gmailを送信する	53
Gmailを受信する	53
Gmailのメニューを利用する	53

インターネット	55
インターネット接続	56
インターネットに接続する	56
ブラウザ	56
ブラウザについて	56
Webページを表示する	56
Webページを移動する	56
ブラウザ画面のメニューを利用する	56
タブを利用する	56
Webページ内のテキストを検索する	57
Webページ内のテキストをコピーする	57
Webページ内の画像をダウンロードする	57
リンクを操作する	57
ブックマーク／履歴を利用する	58
ブックマークを追加する	58
履歴を確認する	58
履歴を消去する	58
ブラウザを設定する	58

アプリケーション	59
アプリケーション一覧	60
アプリを利用する	60
カメラ	61
カメラについて	61
カメラをご利用になる前に	61
静止画／動画を撮影する	61
撮影画面の見かた	61
撮影前の設定をする	62
プレビュー画面を利用する	62
カメラモードを変更する	62
静止画を撮影する	63
動画を撮影する	63
ライブフォーカスで撮影する	63
リアカメラを利用する	63
フロントカメラを利用する	63
AR絵文字機能を使用する	64
マイ絵文字を作成する	64
AR絵文字を利用する	64
インテリジェントカメラを利用する	64
シーン別に最適化を利用する	64
ギャラリー	64
ギャラリーについて	64
ギャラリーを利用する	64
静止画／動画を表示する	64
ギャラリーのメニューを利用する	64
カレンダー	65
カレンダーについて	65
カレンダーを表示する	65
カレンダーの内容について	65
カレンダーのメニューを利用する	65

イベントやタスクを作成する	65
イベントやタスクの通知を解除またはスヌーズを設定する	65
カレンダーの設定を変更する	65
Galaxy Notes	66
Galaxy Notesについて	66
Galaxy Notesを作成する	66
Galaxy Notesを編集する	66
作成したノートを確認する	66
Galaxy Notesのメニューを利用する	66
Galaxy Store	66
Galaxy Storeを利用する	66
ボイスレコーダー	67
音声を録音する	67
音声を再生する	67
ボイスレコーダーのメニューを利用する	67
辞書	67
辞書を利用する	67
辞書のメニューを利用する	67
NFC / おサイフケータイ®	68
おサイフケータイ®とは	68
おサイフケータイ®のご利用にあたって	68
リーダー／ライターとデータをやりとりする	68
おサイフケータイ®を設定する	69
おサイフケータイ®の機能をロックする	69
「NFC / おサイフケータイ ロック」を解除する	69
Reader/Writer, P2P機能をオンにする	69
Android Beam機能をオンにする	69
Androidビームでデータを送信／受信する	70
NFC/FeliCaに対応したサービスを利用する	70
タップ&ペイ	70
時計	71
時計を利用する	71
アラームを利用する	71
アラームを止める	71
世界時計を利用する	71
ストップウォッチを利用する	71
タイマーを利用する	71
S Health	72
S Healthを利用する	72
Androidアプリ	72
Google Playを利用する	72
アプリケーションを検索し、インストールする	72
アプリケーションを管理する	73
提供元不明のアプリケーションのインストール	73
インストールされたアプリケーションを削除する	73

ファイル管理	75
ファイル管理	76
本製品の保存領域について	76
microSDメモ리카ードを利用する	76
microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す	76
USBケーブルでパソコンと接続する	78
メディアデバイス(MTP)モードでパソコンと接続する	78
カメラデバイスとして使用する	78
メモリの使用量を確認する	78
microSDメモ리카ードをフォーマットする	78
MIDI対応機器と接続する	78
マイファイルを利用する	79
マイファイルのメニューを利用する	79
本体内のデータをバックアップする	79
Smart Switchを利用する	80
パソコンと接続してSmart Switchを起動する	80
Wi-Fi Directで接続してSmart Switchを起動する	80

Galaxyアカウントを利用してサーバー上にバックアップする	80
--------------------------------	----

データ通信 81

Bluetooth®機能	82
Bluetooth®機能について	82
Bluetooth®機能をオンにする	82
他のBluetooth®機器を登録する	82
他のBluetooth®機器から検出可能にする	82
ペアリングを解除する	82
Bluetooth®機能でデータを送受信する	83
Bluetooth®機能でデータを送信する	83
Bluetooth®機能でデータを受信する	83
無線LAN (Wi-Fi®)機能	83
Wi-Fi®機能を利用する	83
Wi-Fi®機能をオンにする	83
Wi-Fi®ネットワークに接続する	84
Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する	84
静的IPを使用して接続する	84
Wi-Fi®接続を切断する	84
Wi-Fi®の詳細設定を行う	84
自動的にWi-Fi®がONになるように設定する	84
Wi-Fi®証明書をインストールする	84
Wi-Fi Directを設定する	84
テザリング機能	85
テザリングについて	85
USBテザリング機能を利用する	85
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	85
Wi-Fi®テザリングを設定する	85
接続を許可する機器を設定する	85
Bluetooth®テザリング機能を利用する	85

機能設定 87

機能設定	88
設定メニューを表示する	88
接続の設定をする	88
データ使用量	88
機内モード	88
テザリング	89
モバイルネットワーク	89
その他の接続設定	89
サウンドとバイブの設定をする	90
マナーモードを設定する	90
各種音量を調節する	90
通知の設定をする	90
通知を消音にする	90
ディスプレイの設定をする	91
画面のカラーバランスを調整する	91
スクリーンセーバーを設定する	91
壁紙とテーマの設定をする	91
ロック画面の設定をする	92
画面ロックの種類を設定する	92
生体認証とセキュリティの設定をする	93
Galaxy Passを利用する	94
SIMカードロックを設定する	94
位置情報	95
アカウントとバックアップの設定をする	95
アカウント	95
バックアップと復元	95
デバイスケアの設定をする	96
最適化機能を使用する	96
バッテリーの確認や設定をする	96
ストレージの確認や設定をする	96
一般管理の設定をする	96
言語とキーボードを設定する	96
日付と時刻を設定する	97
本製品を初期化する	97

ユーザー補助の設定をする	97
Voice Assistantを利用する	98
ソフトウェア更新の設定をする	98
端末情報を表示する	98

付録・索引 99

付録	100
ソフトウェアを更新する	100
ソフトウェアをダウンロードして更新する	100
パソコンに接続して更新する	100
故障とお考えになる前に	100
アフターサービス	101
主な仕様	101
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	102
FCC RF exposure information	102
European RF Exposure Information	102
Declaration of Conformity	102
輸出管理規制	102
知的財産権について	103
商標について	103
Windowsの表記について	103
License	103
HEVC Advance	103
索引	104

注意事項

注意事項	8
本製品のご利用について	8
安全上のご注意(必ずお守りください)	9
材質一覧	14
取り扱い上のご注意	15
防水／防塵に関するご注意	18
Bluetooth®／無線LAN (Wi-Fi®)機能について	20
各種暗証番号／PINコードについて	21
データ通信料についてのご注意	21
アプリケーションについて	21
アプリの権限を設定する	22
マナーも携帯する	22

注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。(ただし、LTE / WiMAX 2+ / GSM / UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE (LTEネットワーク)を利用します。3G (回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- 本製品は国際ローミング対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。詳しくは、J:COM Webサイトをご確認ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 海外でご利用される場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書 詳細版』(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。

- 長時間同じ画像を表示させているとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止と消費電力節約のため、照明時間の設定を短い時間にするをおすすめします。
 - 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - 撮影などした写真/動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
 - 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。
- ※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:株式会社 ジュピターテレコム
輸入元:SAMSUNG ELECTRONICS JAPAN Co., Ltd.
製造元:Samsung Electronics Co., Ltd.

■お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能をご利用いただけなくなる場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^(※2) を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^(※3) の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■本体、内蔵電池、充電用機器、SIM、周辺機器共通

⚠ 危険

-  高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.18「防水／防塵に関するご注意」
-  水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.18「防水／防塵に関するご注意」
-  本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶついたり、物に挟んだりしないでください。
電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ ご注意いただきたい例
 - ・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
 - ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
 - ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
-  分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  本製品の**内蔵電池**を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  本製品の**背面カバー**を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.18「防水／防塵に関するご注意」
-  ヘッドセット接続端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.18「防水／防塵に関するご注意」
-  オプション品は、当社が指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告

 **落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 **ヘッドセット接続端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 **使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。**
火災、やけどなどの原因となります。

 **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。**
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

 **可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。**
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。

 **ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。**
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下等に注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。

 **使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。**

- ・電源プラグをコンセントから抜く。
- ・本製品の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意

 **破損したまま使用しないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

 **ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレーション設定中は特にご注意ください。**
落下して、けがなどの原因となります。

 **湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.18「防水／防塵に関するご注意」

 **子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。**
けがなどの原因となります。

 **乳幼児の手の届く場所に置かないでください。**
SIM / microSDメモ리카ードトレイやSIM取り出し用ピン(試供品)などの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

 **本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。**
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

⚠ 危険

-  火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  **本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告

-  ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
-  自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。
-  点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。
-  本製品内のSIM / microSDメモ리카ードスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、SIMやmicroSDメモ리카ードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  **航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。**
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
-  **病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。**
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

-  **ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。**
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

-  **心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。**
突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

-  **医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

-  **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。**
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

-  **ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。**
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

-  **内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

-  **ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。**
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意

-  ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。
-  モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止 ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止 一般のゴミと一緒に捨てないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止 内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止 SIMの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM取り出し用ピン(試供品)の先端にご注意ください。SIM取り出し用ピン(試供品)の先端に触れると、けがなどの原因となります。

指示 自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示 本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質について ▶P.14 「材質一覧」

指示 本製品のスピーカー、受話口/スピーカー、リアカメラに磁気が発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。付着物により、けがなどの原因となります。

指示 ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告

禁止 指定の充電用機器のコードが傷んだら使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 雷が鳴り出したら、指定の充電用機器には触れないでください。感電などの原因となります。

禁止 コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 指定の充電用機器のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 コンセントに指定の充電用機器を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 指定の充電用機器に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。発火、発熱、感電などの原因となります。

禁止 本製品に指定の充電用機器を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 濡れた手で指定の充電用機器のコードやUSBケーブル、充電端子、電源プラグに触れないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器で充電してください。誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

指示 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 指定の充電用機器をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。指定の充電用機器のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 本製品に指定の充電用機器を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

! 充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

! 使用しない場合は、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

! 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

! お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意

! コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ SIMについて

⚠ 注意

! SIMを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠ 警告

! 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

! 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

! 身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

! 医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■ SIM取り出し用ピン(試供品)について

⚠ 警告

! SIM取り出し用ピン(試供品)の先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

⚠ 注意

! 皮膚に異状を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。
お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
各箇所の材質について ▶P.14「材質一覧」

! SIM取り出し用ピン(試供品)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ データ移行用試供品(Micro USBケーブル(試供品)、OTG対応USB変換アダプタ(試供品))について

警告



水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。

発熱・火災・感電・傷害・電子回路のショートによる故障の原因となります。

注意



皮膚に異状を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。

お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

各箇所の材質について ▶P.14 「材質一覧」

■ クリアケース(試供品)について

注意



クリアケース(試供品)に本製品を入れるときは、指を挟まないでください。

けがなどの原因となります。



皮膚に異状を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。

お客様の体質・体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。

各箇所の材質について ▶P.14 「材質一覧」

材質一覧

■ 本体

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイ(タッチスクリーン)、リアカメラレンズパネル	ガラス	AFコーティング
保護フィルム(試供品)	SB-6022(L25)	AFコーティング
外装ケース(側面)、外部接続端子(周囲部分)、ヘッドセット接続端子(周囲部分)	PC-GF10%	PVD、ウレタンコーティング
SIM / microSDメモリカードトレイ	PC	—
SIM / microSDメモリカードトレイ(側面)	PC	PVD、ウレタンコーティング
SIM / microSDメモリカードトレイ(バック)	シリコン	—
背面パネル	PMMA+PC	PVD、コーティング
電源キー、音量キー	PC-GF10%	PVD、コーティング
受話口/スピーカー	PET	—
指紋センサー(周囲部分)、リアカメラ周辺部	アルミニウム	陽極酸化
指紋センサー(中央部分)	SDI8300 DK7	コーティング
フラッシュ/ライト	PMMA	—
USB Type-C接続端子	コルソン合金	金メッキ
ヘッドセット接続端子	銅・チタン合金	ニッケルメッキおよび金メッキ

■ SIM取り出し用ピン(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
本体	STS304	バレル研磨

■ Micro USBケーブル(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
ケーブル	TPE	—
接続プラグ(金属部)	SUS301	ニッケルメッキ
接続プラグ(樹脂部)	PC	UVコーティング

■ OTG対応USB変換アダプタ(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
本体	PC	高光沢
USB Type-C接続端子	SUS301	ニッケルメッキ

■ クリアケース(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
本体	TPU	ウレタン透明コーティング

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIM、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れて、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続器を外部接続端子やヘッドセット接続端子に差し込んだ状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)を発揮するために、SIM / microSDメモ리카ードトレイをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、充電用機器やオプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままのSIM / microSDメモ리카ードトレイの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、周囲温度36℃～40℃、湿度86%～90%であれば一時的な使用は可能です。また、保管する場合は、周囲温度0℃～45℃の範囲内で保管してください。)
 - ・ Galaxy A30本体
 - ・ SIM (Galaxy A30本体装着状態)
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・ 充電用機器
 - ・ 周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- ヘッドセット接続端子や外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなる場合がありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。

- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてしないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- ヘッドセット接続端子や外部接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。
 - 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となります場合があります。
 - ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
 - タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
 - 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク」が本製品本体内で確認できるようになっております。
- 確認方法：アプリ一覧画面で[設定]→[端末情報]→[認証情報]に表示されております。**
- 本製品本体の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
 - キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
 - ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
 - 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
 - microSDメモ리카ードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
 - microSDメモ리카ードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
 - 照度センサーを指でふさいだり、照度センサーの上にシールなどを貼ったりすると、周囲の明暗に照度センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
 - 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

注意事項

- 通常はSIM / microSDメモ리카ードトレイを閉めた状態で使用してください。SIM / microSDメモ리카ードトレイを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品のSIM / microSDメモ리카ードスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口/スピーカー、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入したりすると故障の原因となります。

■タッチパネルについて

- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■有機ELディスプレイについて

- 有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示したり、ディスプレイ照明の明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変わる場合があります。これは、有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありません。
- 有機ELディスプレイは非常に高度な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素などが存在することがあります。また見る方向によってすじ状の色むらや明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたままにすると故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

■ 内蔵電池について



(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器の電源コードをアダプタ本体に巻きつけしないでください。また、充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。充電用機器のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

■ SIMについて

- SIMの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる携帯電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、SIMを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- SIMにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたSIMを挿入しないでください。故障の原因になります。
- カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ SIM取り出し用ピン(試供品)について

- SIM取り出し用ピン(試供品)に無理な力がかからないようにご使用ください。故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。
- SIM取り出し用ピン(試供品)は本書に記載の使用用途以外また他の携帯端末には使用しないでください。携帯端末の故障、破損の原因となります。

■ データ移行用試供品(Micro USBケーブル(試供品)、OTG対応USB変換アダプタ(試供品))について

- データ移行用試供品(Micro USBケーブル(試供品)、OTG対応USB変換アダプタ(試供品))はデータ移行以外には使用しないでください。携帯端末の故障、破損の原因となります。

■ クリアケース(試供品)について

- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときには、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

防水／防塵に関するご注意

- 本製品はSIM / microSDメモリカードトレイが完全に装着された状態で保護等級(JIS C 0920)のIPX5^{*1}相当、IPX8相当^{*2}の防水性能およびIP6X相当^{*3}の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。
- 正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。
 - ※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
 - ※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
 - ※3 IP6X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

- SIM / microSDメモリカードトレイを完全に装着した状態にしてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 手や本製品が濡れている状態でのSIM / microSDメモリカードトレイの開閉は絶対にしないでください。



石鹸 / 洗剤 / 入浴剤をつける
海水につける
温泉で使う
砂 / 泥をつける

- 水道水以外の液体(海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかるところでの使用はしないでください。
- かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口 / スピーカー、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内部に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口、受話口 / スピーカーに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。

- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本製品が常温になってから持ち込んでください。
- 本製品は水に浮きません。
- お風呂場では充電を行わないでください。

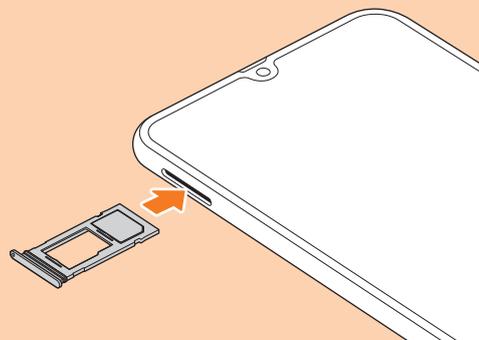
●SIM / microSDメモリカードトレイについて

- SIM / microSDメモリカードトレイは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- SIM / microSDメモリカードトレイを取り出し、取り付けたりする際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。トレイを装着する際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- SIM / microSDメモリカードトレイに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

SIM / microSDメモリカードトレイの装着方法

図の向きでSIM / microSDメモリカードスロットの奥までまっすぐ差し込んでください。

- SIM / microSDメモリカードトレイの表裏を逆にすると、SIMが落下するおそれがあります。



●水以外が付着した場合

- 万一、水以外(海水・洗剤・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- やや弱めの水流(6リットル／分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、SIM / microSDメモリカードトレイが開かないように押さえながら手で洗ってください。

●水に濡れた後は

- 水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- 寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したまま使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

● ゴムパッキンについて

- SIM / microSDメモリカードトレイのゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付いたり、はがしたりしないでください。
- SIM / microSDメモリカードトレイを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性を維持できなくなる場合があります。
- SIM / microSDメモリカードトレイの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本製品が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付いたりするおそれがあり、浸水の原因となります。
- 防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。

● 耐熱性について

- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

● 衝撃について

- 本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。また、受話口/スピーカー、送話口、スピーカーなどをとがったものでつつかないでください。本製品が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

充電のときは

付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってください。
- 濡れた手で指定の充電用機器に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。

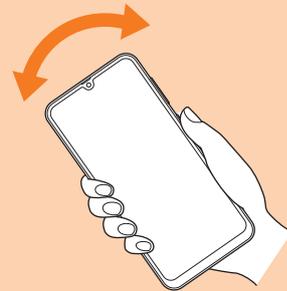
水に濡れたときの水抜きについて

- 本製品を水に濡らした場合、必ずトレイJECTホール、送話口/マイク(上部、下部)穴、受話口/スピーカー、スピーカー、キー、ヘッドセット接続端子、外部接続端子の水抜きをしてください。
- そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
- 下記手順で水抜きを行ってください。

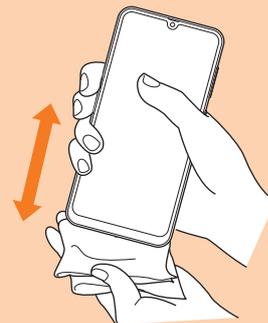
- 1 本製品をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



- 2 本製品をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- 3 送話口/マイク(上部、下部)穴、受話口/スピーカー、スピーカー、キー、ヘッドセット接続端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本製品を20回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。



- 4 本製品から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

Bluetooth® / 無線LAN (Wi-Fi®)機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN (Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域ではBluetooth®機能／無線LAN (Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN (Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN (Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

IEEE802.11 b/g/n

IEEE802.11 a/n/ac

J52 W52 W53 W56

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN (Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、J:COM MOBILEサポートまでご連絡ください。

memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN (Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN (Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN (Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

2.4 FH1 / DS4 / OF4 / XX8

- Bluetooth®機能 : 2.4FH1/XX8
本製品は2.4GHz帯を使用します。FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。
- 無線LAN (Wi-Fi®)機能 : 2.4DS/OF4
本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
- 
全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。航空機内での使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN (Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。5.2GHz/5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く)。本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。W52 (5.2GHz帯／36, 40, 44, 48ch) W53 (5.3GHz帯／52, 56, 60, 64ch) W56 (5.6GHz帯／100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ 画面ロックの設定

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	スワイプ

■ パスワード(おサイフケータイロック設定)

使用例	「おサイフケータイ ロック設定」を利用する場合
初期値	なし

PINコードについて

● PIN1コード

第三者によるSIMの無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPIN1コードの入力を必要にすることができます。また、PIN1コードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされません。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPIN1コードは「1234」、入力可否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPIN1コードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は「入力必要」に変更できます。
「入力必要」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

● PINロック解除コード

PIN1コードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、SIMが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPIN1コードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、J:COM MOBILEサポートまでお問い合わせください。
- 「PIN1コード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
※無線LAN (Wi-Fi[®])接続はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモ리카ードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「許可しない」／「許可」をタップしてください。

例：フォトを初めて起動する場合

1 アプリ一覧画面で [Google] → [フォト]

端末内の写真やメディアなどへのアクセスを許可するかどうかの確認画面が表示されます。

2 [許可]

3 画面の指示に従って操作



- ◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎ 権限の設定を変更するには、アプリ一覧画面で [設定] → [アプリ] → 設定を変更するアプリをタップ → [権限] → 変更する権限の [] / [] と操作します。
- ◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- ◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

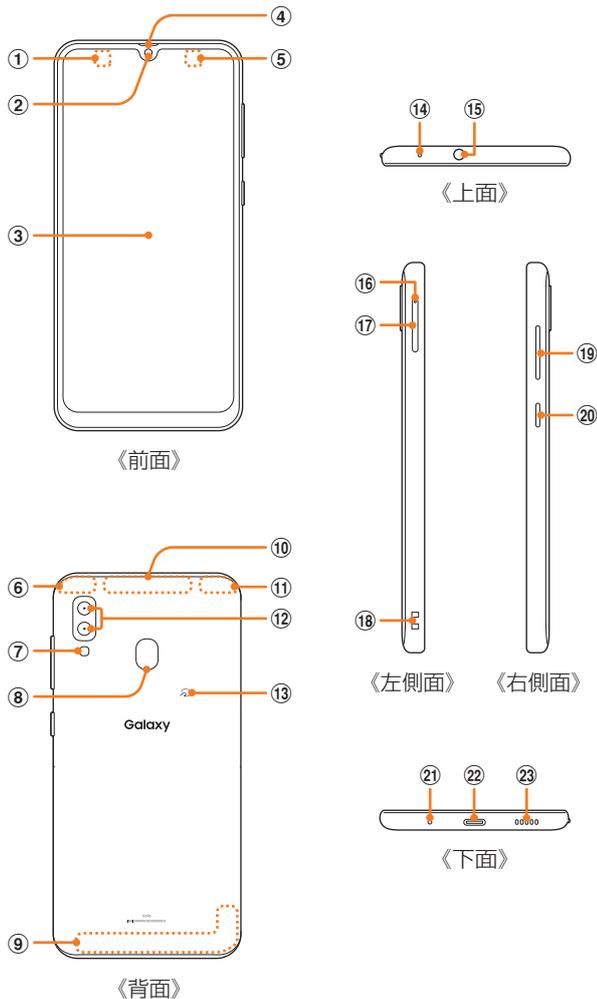
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まったの通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

ご利用の準備	24
各部の名称と機能	24
クリアケース(試供品)を取り付ける／取り外す	25
SIMについて	25
SIMを取り付ける／取り外す	26
充電する	27
電源を入れる／切る	28
初期設定を行う	29
Galaxyアカウントの設定をする.....	29

ご利用の準備

各部の名称と機能



- ① 近接センサー^{※1}
顔などの接近を検知して、ディスプレイの表示を消します。また、手の動き(ジェスチャー)を検知して本製品を操作します。
- ② フロントカメラ
- ③ ディスプレイ(タッチパネル)
お買い上げ時にディスプレイに貼付してある透明フィルム(保護フィルム(試供品))は、お客様のお手元で本製品が届くまでディスプレイを保護することを目的としております。市販の保護フィルムをご利用の場合は、透明フィルム(保護フィルム(試供品))をはがしてください。
- ④ 受話口/スピーカー^{※2}
- ⑤ 照度センサー^{※1}
周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを自動調整します。
- ⑥ Wi-Fi[®] / Bluetooth[®] アンテナ部^{※3}
- ⑦ フラッシュ/ライト
- ⑧ 指紋センサー
- ⑨ メインアンテナ部^{※3}
- ⑩ サブアンテナ部^{※3}
- ⑪ GPSアンテナ部^{※3}
- ⑫ リアカメラ
- ⑬ マーク
- ⑭ 送話口/マイク(上部)^{※4}
上部の送話口/マイクは、ハンズフリー通話時や録音時などに動作します。
- ⑮ ヘッドセット接続端子
- ⑯ トレイジェクトホール
SIM / microSDメモ리카ードトレイを取り出すためにSIM取り出し用ピン(試供品)を挿入する穴です。
- ⑰ SIM / microSDメモ리카ードトレイ
- ⑱ ストラップホール
- ⑲ 音量キー
着信音量やメディア再生音量などを調節します。カメラ起動時は、静止画のシャッターまたは動画の撮影開始ボタンとして機能します。
- ⑳ 電源キー
2秒以上長押しし電源のON / OFFに使用します。また、電源が入っているときに押し、画面ロックを設定できます。
- ㉑ 送話口/マイク(下部)^{※4}
下部の送話口/マイクは、通話時、ハンズフリー通話時、録音時などに動作します。
- ㉒ USB Type-C接続端子(外部接続端子)
- ㉓ スピーカー

※1 シールなどでおおわないようにしてください。機能が正常に動作しない場合があります。

※2 本製品は受話口とスピーカーを兼用しています。通話中のスピーカーホン切り替え後もしくは通話終了後に、耳でスピーカーから大きな音が鳴らないよう、徐々に設定した音量まで上がります。

※3 アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手でおおくと通話/通信品質に影響を及ぼす場合があります。

※4 該当の機能利用中に、送話口/マイク(上部、下部)を指などでふさがないようにご注意ください。また破損の原因となるため、SIM取り出し用ピン(試供品)などを誤って挿さないでください。

memo

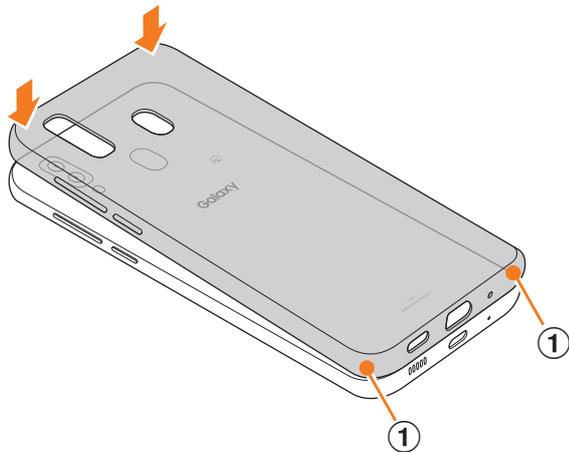
- ◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。また、電池は本体に内蔵されており、お客様による取り外しはできません。
- ◎ 強制的に再起動する場合は、「電源を入れる／切る」(▶P.28)をご参照ください。

クリアケース(試供品)を取り付ける／取り外す

- ・クリアケース(試供品)の取り付け／取り外しは、本製品のディスプレイなどが傷つかないように、手に持って行ってください。また、指や手で↓(電源キー)と音量キーを押さないようにご注意ください。

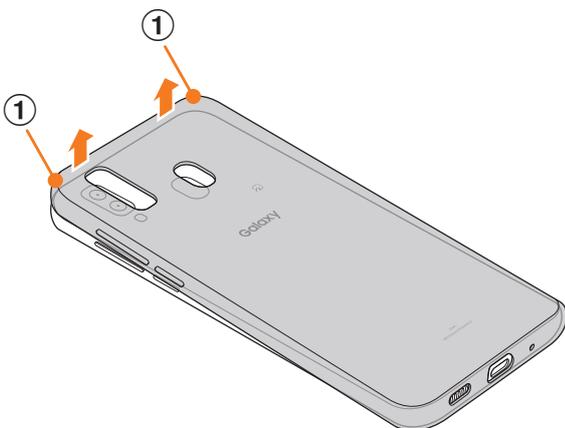
クリアケース(試供品)を取り付ける

- 1 クリアケース(試供品)の①の部分の本製品に引っ掛けて、図の向きでクリアケース(試供品)を取り付ける



クリアケース(試供品)を取り外す

- 1 クリアケース(試供品)の①の部分に指先をかけて、図の向きでクリアケース(試供品)を取り外す



SIMについて

SIMにはお客様の電話番号などが記録されています。本製品はau MVNO Multi IC Card O2に対応していません。



memo

- ◎ SIMを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ SIMのIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ SIMを正しく取り付けしていない場合やSIMに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したSIMはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたSIMを挿入しないでください。故障の原因となります。
- ◎ SIMの取り付け／取り外しには、付属のSIM取り出し用ピン(試供品)が必要です。
- ◎ 付属のSIM取り出し用ピン(試供品)を、トレイJECTホール以外の穴などに挿入しないでください。また、本書に記載の用途以外に使用しないでください。

SIMが挿入されていない場合

SIMが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、が表示されます。

- ・ 電話をかける^{※1}／受ける
- ・ SMSの送受信
- ・ PINコード設定
- ・ 本製品の電話番号の確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

※1 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります(なお、緊急通報番号は国によって異なります)。

SIMを取り付ける／取り外す

SIMの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

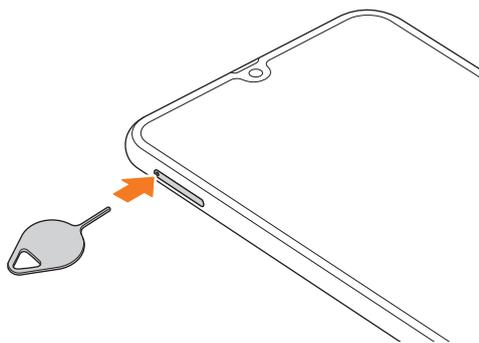
また、クリアケース(試供品)を装着している場合は、取り外してください。

SIMを取り付ける

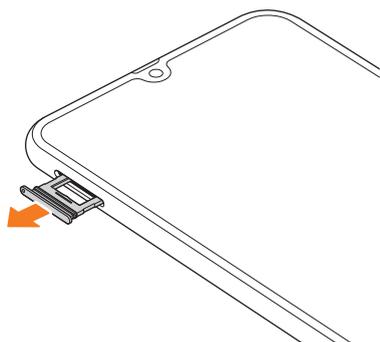
1 SIM取り出し用ピン(試供品)の先端をSIM / microSDメモリカードトレイのトレイエジェクトホールにまっすぐ差し込む

SIM / microSDメモリカードトレイが少し出ます。

- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

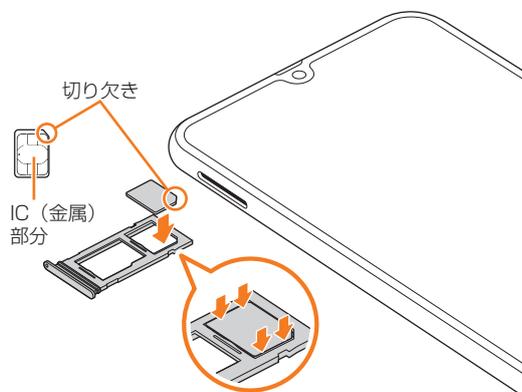


2 SIM / microSDメモリカードトレイをまっすぐ引き出す



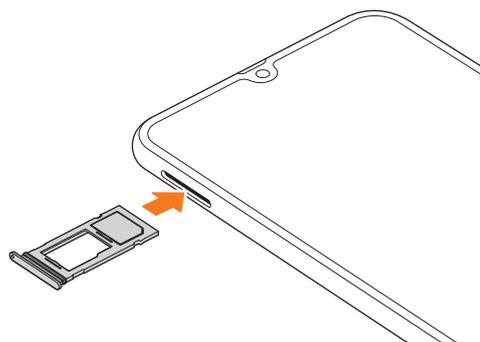
3 SIMのIC(金属)部分を下にしてSIM / microSDメモリカードトレイにはめこむ

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- SIM / microSDメモリカードトレイにSIMが正しくはめこまれていることを確認してください。トレイを差し込んだときにSIMが本体との間に挟まれるおそれがあります。



4 図の向きでSIM / microSDメモリカードスロットの奥までSIM / microSDメモリカードトレイをまっすぐ差し込む

- SIM / microSDメモリカードトレイの表裏を逆にすると、SIMが落下するおそれがあります。



SIMを取り外す

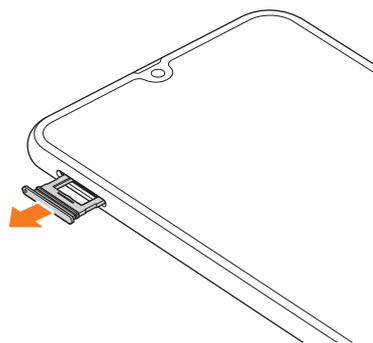
1 SIM取り出し用ピン(試供品)の先端をSIM / microSDメモリカードトレイのトレイエジェクトホールにまっすぐ差し込む

SIM / microSDメモリカードトレイが少し出ます。

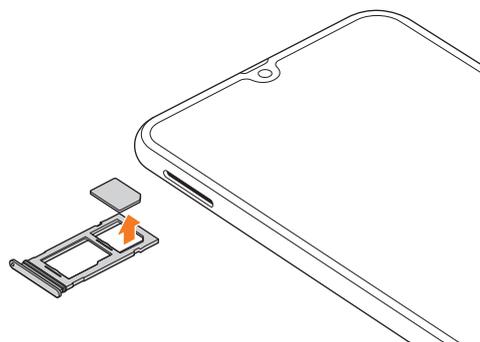
- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

2 SIM / microSDメモリカードトレイをまっすぐ引き出す

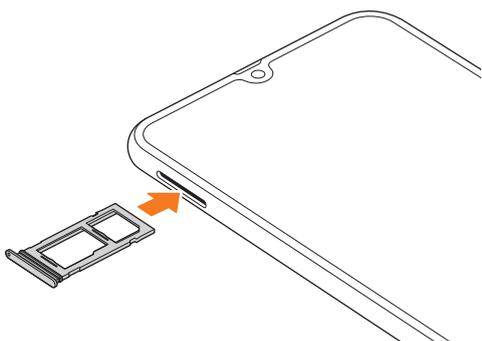
- SIM / microSDメモリカードトレイの表裏を逆にすると、SIMが落下するおそれがあります。



3 SIM / microSDメモリカードトレイからSIMを取り出す



4 図の向きでSIM / microSDメモ리카ードスロットの奥までSIM / microSDメモ리카ードトレイをまっすぐ差し込む



充電する

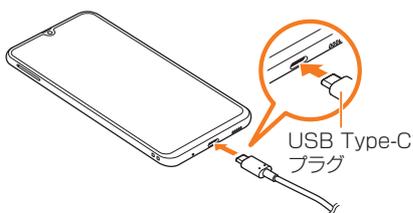
お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

※ 充電時間については、「主な仕様」(▶P.101)をご参照ください。

■ USB Type-Cプラグの差し込みかた

ACアダプタを使って充電する場合

下図のように本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込んでください。



誤った接続を行うと、本製品への重大な損傷を招くおそれがあります。

誤った接続による損傷は、補償の対象外となりますのでご注意ください。

memo

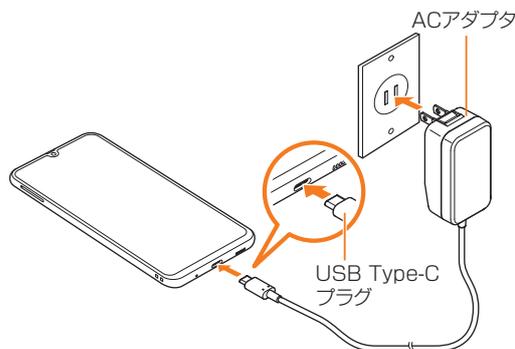
- ◎ 指定の充電用機器はAC100VからAC240Vまで対応しています。海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- ◎ 充電の状態やバッテリー残量は、アプリ一覧画面で[設定]→[デバイスケア]→[バッテリー]と操作すると確認できます。
- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ パソコンを使って充電したり、カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなることがあります。
- ◎ アプリケーションや機能などのご利用状況により、内蔵電池の使用時間が短くなることがあります。
- ◎ 付属のTravel Adapterを使用しての充電で、本製品は急速充電に対応しています。急速充電は電源OFFの状態か、画面が消灯している状態で行うことができます。ただし、通話中は画面が消灯していても急速充電はされません。
- ◎ 電池残量が80%以上の場合、急速充電による充電速度が遅くなることがあります。
- ◎ USB Type-CプラグをUSB Type-C接続端子に差し込んでしばらく充電が始まらない場合は、接続などが正しいかご確認ください。それでも充電されない場合は、USB Type-CプラグをUSB Type-C接続端子から外して、J:COM MOBILEサポートまでご連絡ください。
- ◎ 充電中はステータスバーにが表示されます。充電が完了すると、ステータスバーにが表示されます。

- ◎ 充電中に画面が消灯した場合は、 (電源キー)を押すとロック画面が表示されます。充電状態は、画面に表示される「充電中: XX%」で確認できます。また、充電が完了すると、ロック画面に「充電完了」が表示されます。

ACアダプタを使って充電する

充電には指定のACアダプタが必要です。

- 1 ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む
- 2 ACアダプタのUSB Type-Cプラグを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む

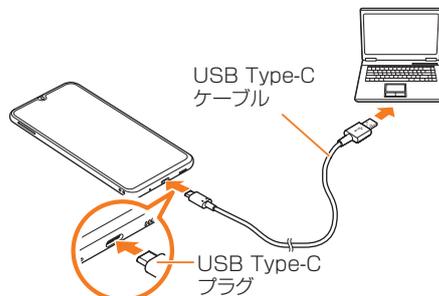


- 3 充電が終わったら、ACアダプタのUSB Type-Cプラグを本製品からまっすぐ引き抜き、電源プラグをコンセントから抜く

パソコンを使って充電する

USB Type-Cケーブルとパソコンを使って充電することができます。接続方向をよくご確認ください。正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

- 1 USB Type-CケーブルのUSB Type-Cプラグを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む
- 2 USB Type-CケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む
 - ・ 本製品で「端末のデータへのアクセスを許可しますか?」と表示されたら「拒否」をタップしてください。
 - ・ パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 3 充電が終わったら、USB Type-Cケーブルを本製品とパソコンから取り外す



電源を入れる／切る

電源を入れる

- 1 〇 (電源キー)を2秒以上長押し
ロック画面が表示されます。
- 2 画面を上下左右にスワイプして、画面ロックを解除

memo

- ◎ 電源を入れたとき、画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- ◎ 初めて電源を入れたときは初期設定画面が表示されます。初期設定について、詳しくは「初期設定を行う」(▶P.29)をご参照ください。
- ◎ 「画面ロックの種類を設定する」(▶P.92)で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。

電源を切る

- 1 〇 (電源キー)を2秒以上長押し
端末オプション画面が表示されます。
- 2 [電源OFF] → [電源OFF]

再起動する

- 1 〇 (電源キー)を2秒以上長押し
端末オプション画面が表示されます。
- 2 [再起動] → [再起動]

強制的に再起動する

通常の方法で電源が切れなくなったり、画面が動かなくなったりした場合は強制的に再起動をすることができます。

- 1 〇 (電源キー)と音量キーの下側を同時に7秒以上長押し

memo

- ◎ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

セーフモードで起動する

動作不安定などの問題が生じたときは、診断用の起動モード「セーフモード」で起動します。

- 1 〇 (電源キー)を2秒以上長押し
- 2 「Galaxy」のロゴが表示されているときに音量キーの下側を押し続ける
セーフモードが起動すると画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。
・セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。

memo

- ◎ 〇 (電源キー)を2秒以上長押し→「電源OFF」をロングタッチ→[セーフモード]と操作するとセーフモードで再起動できます。
- ◎ 必要なデータを事前にバックアップしたうえでセーフモードをご利用ください。
- ◎ お客様ご自身で作成されたウィジェットが正常に動作しない場合があります。
- ◎ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。

画面をロックする／画面ロックを解除する

画面ロックを設定すると、画面が消灯し、キーやタッチパネルの誤動作を防止できます。

また、本製品では、設定した時間が経過すると、自動的に画面が消灯して約5秒後に画面ロックがかかります。

- 1 画面点灯時に 〇 (電源キー)を押す
画面が消灯し、画面ロックが設定されます。

memo

- ◎ 「画面のタイムアウト」(▶P.91)で画面が消灯するまでの時間を変更できます。
- ◎ 本製品をかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、誤操作防止のため、必ず画面ロックを設定してください。また、かばんなどの中で本製品の 〇 (電源キー)が押されないようにしてください。

画面ロックを解除する

ロック画面は、電源を入れたときや、 〇 (電源キー)を押して画面を点灯させたときに表示されます。

- 1 画面消灯時に 〇 (電源キー)を押す
ロック画面が表示されます。
- 2 画面を上下左右にスワイプ

memo

- ◎ 「画面ロックの種類」(▶P.92)で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。解除方法を「なし」に設定している場合は、ロック画面は表示されません。

初期設定を行う

電源を入れた後に初期設定画面が表示されたときは、画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては操作が異なります。
- 「スキップ」などをタップすると該当の設定を省略できます。

1 (電源キー)を2秒以上長押し

電源が入ります。

2 「日本語」が表示されていることを確認→[➡]

3 「開始にあたっての確認事項」の内容を確認してチェックを入れる→[次へ]

4 必要に応じて、データの移行方法を設定

5 インターネット接続設定を行う→[次へ]

6 Googleアカウントを設定

- Googleアカウントの設定画面が表示されます。
- 文字入力方法について詳しくは、「文字入力」(▶P.41)をご参照ください。
- バックアップデータの復元画面が表示された場合、必要に応じて設定してください。

7 必要に応じて、利用するGoogleサービスを設定

- Googleアシスタントの設定画面が表示された場合は、必要に応じて設定してください。

8 必要に応じて、「端末を保護」を設定

9 必要に応じて、Galaxyアカウントを設定

10 [完了]

Googleアカウントの設定をする

本製品にGoogleアカウントを設定すると、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスを利用できます。

Googleアカウントの設定画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

1 アカウントの追加画面→[アカウントを作成]→[自分用]／[子供用]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「メールアドレスまたは電話番号」をタップし、メールアドレスを入力して「次へ」をタップします。以降は、画面の指示に従って設定してください。

memo

- ◎ Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- ◎ ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

Galaxyアカウントの設定をする

「端末リモート追跡サービス」(▶P.93)やGalaxy Store (▶P.66)の一部の機能など、Galaxyサービスを利用するには、あらかじめGalaxyアカウントの設定を行う必要があります。

Galaxyアカウントの設定は、Galaxyアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

- リモートコントロールはFind My Mobile (端末リモート追跡)から操作できます。

Find My Mobile (端末リモート追跡)の詳細については、以下のホームページをご参照ください。

<https://findmymobile.samsung.com/login.do>

1 Galaxyアカウントの設定画面→[アカウントを作成]

Galaxyアカウントをすでにお持ちの場合は[サインイン]→メールアドレス*とパスワードを入力→[サインイン]と操作してください。

※一部の国/地域では電話番号も入力可能です。

2 「利用規約」などの内容を確認しチェックを入れる→[次へ]

3 必要な項目を入力・設定→[作成]

4 画面の指示に従って操作し、アカウントを認証する

memo

- ◎ 設定したGalaxyアカウントのパスワードは、「リモートコントロール」を解除するときなどに必要になります。メモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

基本操作

基本操作	32
タッチパネルの使いかた	32
ナビゲーションバーの使いかた	32
ホーム画面を利用する	32
分割画面表示で表示する	34
アプリケーションを起動する	34
本製品の状態を知る	34
クイック検索ボックスを利用する	36
緊急時長持ちモードを有効にする	36
基本的な操作を覚える	36
便利な機能	38
高度な機能の使いかた	38
Always On Displayを設定する	39
顔認証機能を利用する	39
指紋認証機能を利用する	39
Bixby Homeを利用する	40
文字入力	41
文字を入力する	41
文字列を選択／切り取り／コピー／貼り付ける	42
文字入力の設定をする	42

基本操作

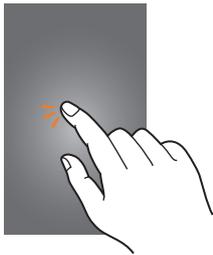
タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先がとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けしないでください。
- 以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼ったままでの操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - 水中での操作

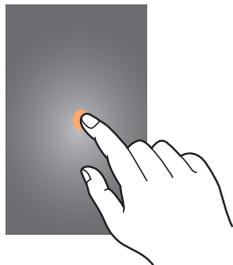
■ タップ/ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



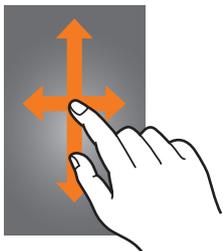
■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。



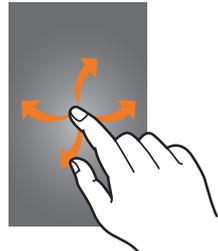
■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に指を軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



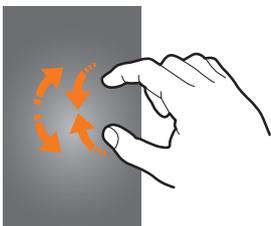
■ フリック(スワイプ)

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。
• 最初はゆっくりと、最後は軽くはらうように指を動かしてください。



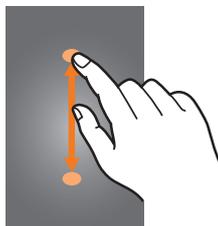
■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。



■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に指を軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



ナビゲーションバーの使いかた

画面下部に表示されるナビゲーションバーに、画面を操作するためのアイコンが表示されます。アイコンの名称と動作は次のとおりです。

アイコン	概要
III	履歴ボタン 起動中および最近使用したアプリの一覧やおすすめのアプリなどを表示します。
○	ホームボタン ホーム画面を表示します。また、ロングタッチするとGoogleアシスタントを起動できます。
<	戻るボタン 1つ前の画面に戻ります。

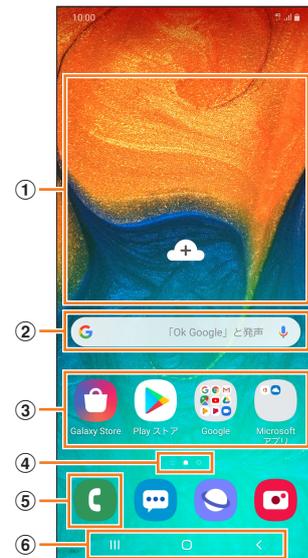
memo

- ◎ アプリ一覧画面で[設定]→[ディスプレイ]→[ナビゲーションバー]と操作すると、ナビゲーションタイプやアイコンの並び順の設定ができます。
- ◎ [III]→検索ボックスの[🔍]→[設定]と操作して、履歴画面におすすめのアプリを表示するかどうかなどの設定ができます。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にフリック(▶P.32)すると切り替えることができます。

「○」をタップすると、いつでもホーム画面を表示することができます。



- ① **ウィジェット**
タップすると起動や操作ができます。
- ② **クイック検索ボックス**
タップすると検索画面が表示されます(▶P.36)。
- ③ **アプリ/フォルダ**
 - **アプリ**: タップするとアプリを起動できます。
 - **フォルダ**: 複数のアプリアイコンをまとめたものをフォルダといいます。タップすると、フォルダ内のアプリ一覧が表示されます。
- ④ **ホーム画面の位置**
現在表示中の位置が表示されます。
- ⑤ **ダイヤルアイコン**
タップするとダイヤルが起動します。
- ⑥ **ナビゲーションバー(▶P.32)**



- ◎ ホーム画面で画面を上または下にフリックすると、アプリ一覧画面(▶P.34)が表示されます。
- ◎ Galaxy Notesや連絡先など一部のアプリでは、ホーム画面やアプリ一覧画面でアイコンをロングタッチすると、アプリの特定の画面へ直接移動できるショートカット(「ノートを作成」や「連絡先を登録」など)のリストが表示されます。

ホーム画面をカスタマイズする

■ ショートカット／ウィジェットを追加する

ホーム画面にアプリケーションやブックマークなどのショートカットや、ウィジェットを追加できます。ウィジェットとは、ホーム画面に追加して利用できるアプリケーションです。

- ・ブックマークのショートカットを追加する方法はアプリケーションごとに異なります。

1 ホーム画面でアイコンのない壁紙部分をロングタッチ

- ・アプリケーションのショートカットを追加する場合は、ホーム画面で画面を上または下にフリックし、手順3へ進みます。

2 [ウィジェット]

3 ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチ

- ・ウィジェットによっては、「」をタップ→ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチと操作します。
- ・アプリケーションのショートカットを追加する場合は、ホーム画面に追加したい項目のアイコンをロングタッチします。

4 ウィジェット／ショートカットアイコンを追加したい位置までドラッグして指を離す

データの選択や設定の画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

- ・ウィジェット／ショートカットアイコンをホーム画面の左端／右端までドラッグすると、他のページに移動できます。
- ・サイズを変更できるウィジェットの場合は、サイズ調節の枠が表示されます。枠をドラッグしてサイズを変更することができます。

■ フォルダを追加する

1 ホーム画面でフォルダにしたいアイコンをロングタッチ

2 フォルダとしてまとめたいアイコンまでドラッグして指を離す

3 フォルダ名を入力→[完了]

■ ショートカット／ウィジェット／フォルダを移動／削除する

ホーム画面に追加したショートカットやウィジェット、フォルダの表示位置を変更したり、削除したりできます。

1 ホーム画面で移動したいアイコンをロングタッチ

2 アイコンを移動したい位置までドラッグして指を離す

- ・アイコンをホーム画面の左端／右端までドラッグすると、他のページに移動できます。
- ・アイコンをロングタッチ→[ホームから削除]／[アンインストール]などと操作すると、アイコンを削除できます。



- ◎ ホーム画面に追加したアプリケーションのショートカットを削除しても、アプリケーションそのものを削除(アンインストール)するわけではありません。ただし、アイコンをロングタッチ→[アンインストール]→[OK]と操作すると、アプリケーションを削除できます。

■ ホーム画面を並べ替える

ホーム画面の位置を入れ替えたり、追加／削除したりできます。

■ ホーム画面を並べ替える場合

1 ホーム画面でアイコンのない壁紙部分をロングタッチ

ホーム画面がサムネイル表示されます。

2 移動したいホーム画面を選択してサムネイルをロングタッチ→移動したい位置までドラッグして指を離す

- ・ホーム画面のサムネイルの「」をタップすると、ホーム画面を削除できます。
- ・ホーム画面のサムネイルに「+」が表示されている場合は、タップするとホーム画面を追加できます。



- ◎ 「」をタップすると、標準ホーム画面(○をタップしたときに表示されるホーム画面)を切り替えることができます。

■ かんたんモードに切り替える

スマートフォン初心者でも使いやすいように、よく使う連絡先や設定などを大きなアイコンでホーム画面に表示することができます。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[ディスプレイ]→[かんたんモード]

2 [かんたんモード]→[適用]

ホーム画面が切り替わります。

- ・元のホーム画面に戻す場合は、ホーム画面で「」→[設定]→[ディスプレイ]→[かんたんモード]→[標準モード]→[適用]と操作します。

分割画面表示で表示する

2つの画面を表示したり、ポップアップで異なるアプリを同時に使用することができます。

※一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。



① 選択しているウィンドウ

1 III

・アプリのサムネイルが表示されます。

2 アプリのサムネイル上部のアイコンをタップ 【分割画面表示で起動】

3 分割表示したいもうひとつのアプリをタップ

アプリケーションを起動する

アプリ一覧画面には、本製品にインストールされているアプリケーションのアイコンが表示され、アイコンをタップしてアプリケーションを起動できます。

・アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

アプリ一覧画面を表示する

1 ホーム画面を上または下にフリック

アプリ一覧画面が表示されます。

・1画面におさまらない場合は、左右にフリック(▶P.32)すると、画面を切り替えられます。

アプリ一覧画面をカスタマイズする

アプリ一覧画面に表示されるアイコンの並べ替えができます。

1 アプリ一覧画面で任意のアイコンをロングタッチ→移動したい位置までドラッグして指を離す

・アプリ一覧画面の左端/右端までアイコンをドラッグすると、アイコンを他のページに移動できます。
・アイコンをロングタッチして、表示される「アンインストール」や「無効」をタップすると、アプリケーションをアンインストールしたり、無効にしたりすることができます。フォルダの場合は、フォルダをロングタッチ→[フォルダを削除]→[削除]と操作するとフォルダのみが削除され、フォルダ内のアプリケーションはアンインストールされません。

本製品の状態を知る

画面上部のステータスバーには本製品の状態を示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側には不在着信や新着メール、実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。



アイコンの見かた

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	着信中/バックグラウンドで発信中/通話中
	不在着信あり
	新着Gmailあり
	新着SMSあり
	データダウンロード中/完了
	データアップロード中/完了
	アラーム通知あり
	カレンダーの通知あり
	エラーメッセージあり/緊急速報メールあり
	Google Playからインストール済みアプリケーションのアップデート通知
	アプリケーションのインストール完了
	ソフトウェア更新設定
	Googleマップの道案内起動中
	VPN接続中
	USBテザリング機能有効
	Wi-Fi®テザリング機能をオン
	Bluetooth®テザリング機能をオン
	テザリング機能を2つ以上同時にオン
	スクリーンショット完了
	非表示の通知情報あり
	「通知をミュート」設定中
	充電完了



◎ 通知アイコンには、複数件の通知があったことを示す、アイコンが重なったデザインで表示されるものもあります。

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要	ページ
	電波の強さ レベル4 / 圏外	—
	電波の強さ(海外利用中)	—
	4G (LTE / WiMAX 2+)データ通信状態*	—
	4G (LTE / WiMAX 2+)データ使用可能 4G (LTE / WiMAX 2+)データ通信中	—
	無線LAN (Wi-Fi®) 通信状態 無線LAN (Wi-Fi®) 使用可能 / 無線LAN (Wi-Fi®) 通信中	P.83
	Bluetooth® デバイスと接続中	P.82
	機内モード設定中	P.88
	マナーモード(バイブ)設定中	P.90
	マナーモード(サイレント)設定中	P.90
	電池レベル状態 100% / 充電中	—
	アラーム設定中	P.71
	NFC/おサイフケータイ ロック設定中	P.69
	位置情報測位中	—

※ 「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況などに応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されているときは、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認できます。



また、通知パネルのアイコン(クイック設定ボタン)をタップして機能を設定したり、通知情報などを確認したりすることができます。

1 ステータスバーを下にスライド



- ① 日付と時刻が表示されます。
- ② 各種機能のオン/オフを切り替えます(クイック設定ボタン)。右図が表示された状態で、左右にフリックすると、すべてのクイック設定を確認できます。
- ③ 下にドラッグするとすべてのクイック設定を確認できます(右図)。
- ④ 進行中情報や通知情報が表示されます。
 - ・「」などが表示されるまで、進行中情報や通知情報を左右にドラッグすると、アプリの通知などを設定できます。
 - ・進行中情報や通知情報を左右にフリックすると、情報を削除できます。
 - ・進行中情報や通知情報をロングタッチすると、アプリの通知のブロックや設定ができます。
- ⑤ 通知に関する設定(アプリのアイコンのバッジや通知のミュートなど)を行います。
- ⑥ アイテムを検索できます。
- ⑦ 設定メニュー画面が表示されます。
- ⑧ 通知情報(お知らせ)の表示を消去します。
- ⑨ 接続中のネットワークの通信事業者名が表示されます。
 - ・上にスライドすると通知パネルを閉じます。
- ⑩ ディスプレイの明るさを調整します。

memo

- ◎ 通知情報の種類によっては、消去できない場合があります。
- ◎ クイック設定ボタンは、オンに設定されている場合は青色で表示されます。

クイック検索ボックスを利用する

本製品やWebページの情報を検索できます。

1 ホーム画面でクイック検索ボックスをタップ

- 🗨️: Google音声検索に切り替えます。
- Googleアカウントのログインに関する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字が含まれるアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／キーボードの[🔍]

Google検索の検索結果を表示します。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 ホーム画面でクイック検索ボックスの[🗨️]

Google音声検索画面が表示されます。

2 送話口に向かってキーワードを話す

Google検索の検索結果が表示されます。

検索時のメニューを利用する

1 ホーム画面でクイック検索ボックスをタップ

2 [G]→[その他]→[設定]

3 設定したい項目をタップ

- [:]→[ヘルプとフィードバック]と操作すると、ヘルプを表示することができます。

緊急時長持ちモードを有効にする

緊急時長持ちモードを有効にすると、以下の設定を自動的に変更することで電池の消費を抑えることができます。

- 必要最低限のアプリのみ使用可能
- 画面消灯時にデータネットワークを制限
- Wi-Fi®やBluetooth®などの接続機能をオフ

1 ⏻ (電源キー)を2秒以上長押し

2 [緊急時長持ちモード]→[ON]

- 初めて起動したときは利用規約に同意する必要があります。画面の指示に従って操作してください。

memo

- 緊急時長持ちモードを無効にするには、⏻(電源キー)を2秒以上長押し→[緊急時長持ちモード]と操作します。
- 緊急時長持ちモードを有効にすると、一部の機能が制限されます。
- 緊急時長持ちモードを有効から無効にすると、ホーム画面の一部ウィジェットが表示されなくなり、再配置が必要になることがあります。

基本的な操作を覚える

ここでは、本製品でよく使う操作を説明します。

縦横表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に画面の縦／横表示を切り替えることができます。

memo

- ステータスバーを下にスライド→[🔄]と操作して自動回転をオフにすると、画面表示が固定されます。
- ホーム画面など、表示中の画面によっては、本製品の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

項目を選択する

表示された項目やアイコンを選択するには、画面を直接タップします。

タブを切り替える

タブが表示されている画面では、表示／確認したいタブをタップすると画面を切り替えられます。



メニューを表示する

画面のメニューを表示するには、「:」をタップ／入力欄や項目をロングタッチして表示する方法などがあります。

例: Wi-Fi設定画面で「:」をタップする場合



《Wi-Fi設定画面》

例: Wi-Fi設定画面で項目をロングタッチする場合



《Wi-Fi設定画面》

設定を切り替える

設定項目の横にチェックボックスやラジオボタンまたはオン/オフスイッチが表示されているときは、チェックボックスやラジオボタンまたはオン/オフスイッチをタップすることで設定のオン/オフを切り替えることができます。

アイコン	説明
	設定がオンの状態です。
	設定がオフの状態です。

データを複数選択する

データを移動/保存/削除などする際に、複数のデータを選択できます。

選択するデータをタップすると、チェックボックスにチェックが入り、データが選択された状態になります。

チェックボックスにチェックが入った項目をもう一度タップすると、チェックボックスのチェックが外れて選択が解除されます。

最近使用したアプリケーションを表示する

最近使用したアプリケーションを表示してアクセスできます。

1 III

最近使用したアプリケーションが一覧で表示されます。

- 一覧からアプリケーションをタップすると、アプリケーションが起動します。
- 「全て閉じる」をタップすると一覧からすべてのアプリケーションを削除します。
- アプリケーションのサムネイル上部のアイコンをタップすると、アプリ情報の確認や分割画面表示などを実行できます。

起動中のアプリケーションを確認/終了する

1 アプリ一覧画面で [設定] → [デバイスカア] → [メモリ]



① メモリステータス

メモリの使用状況を確認します。

② 今すぐ確保

「今すぐ確保」をタップすると、チェックが入っているアプリケーションを終了します。

③ 起動中のアプリケーション一覧

「さらに表示」をタップすると非表示のアプリを表示することができます。

画面の表示内容を画像として保存する

音量キーの下側と [(電源キー)] を同時に押すと、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)できます。動作が完了するとステータスバーに が表示されます。

memo

- ◎ 画像は、「ギャラリー」アプリ(▶P.64)の「画面キャプチャ」アルバムから見ることができます。
- ◎ 起動中のアプリケーションによっては、スクリーンショットが動作しない場合があります。

便利な機能

高度な機能の使いかた

本製品を動かす(モーション)、ディスプレイ上でスワイプやタップするなどの動作(ジェスチャー)で、次の操作ができます。

- ・利用する前に、アプリ一覧画面で[設定]→[高度な機能]→利用する機能をオンにしてください。

※一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。

■スマートポップアップ表示

通知をポップアップ表示で確認するアプリを選択します。

※マルチウィンドウに対応するアプリのみ選択できます。

■Direct share

共有パネルから、ダイレクトに特定の相手とコンテンツを共有できます。

■アニメーションを抑制

画面のモーションエフェクトを抑制します。

■モーションとジェスチャー

▶P.38 「モーションとジェスチャーの使い方」

■Game Launcher

「Game Launcher」をONにすると、Game Launcherアプリですべてのゲームを自動的にまとめて管理できます。

■デュアルメッセンジャー

同じアプリをそれぞれ個別のアカウントで使用します。アプリ一覧画面にはもう1つのアプリアイコンが表示されます。

デュアルメッセンジャーが利用可能なアプリはデュアルメッセンジャー画面に記載されているアプリのみです。

■SOSメッセージを送信

設定した送信先に緊急メッセージを送信できます。

モーションとジェスチャーの使い方

■ダブルタップで画面ON

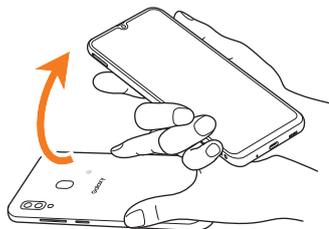
ディスプレイをダブルタップすると画面がONになります。

■スマートステイ

画面を見ている間はディスプレイの点灯を継続します。

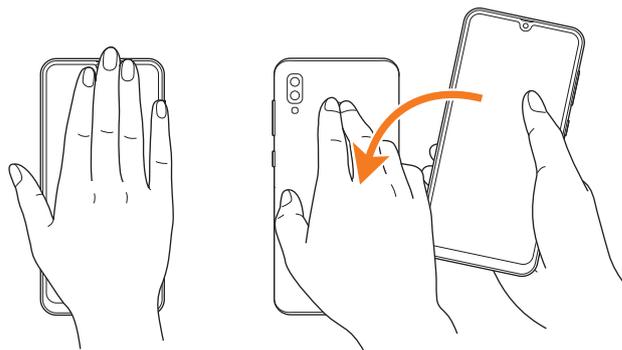
■スマートアラート

不在着信がある状態で、画面の表示が消えているときに本製品を持ち上げると振動して通知します。



■簡単に消音

着信音やアラームの鳴動中などに、手のひらで画面をタッチするか本製品を伏せると、消音します。



memo

◎ 暗い色の手袋などを着用したり、センサーの認識範囲外でジェスチャー動作をした場合は、センサーの特性によりジェスチャー機能が正しく動作しない場合があります。

◎ 端末本体に過度な動き(揺れ、衝撃など)を与えた場合、センサーの特性によってモーション機能が正しく動作しない場合があります。

■片手モード

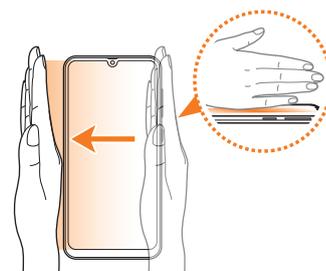
「片手モード」をONにし、「画面表示サイズの縮小方法」で「ジェスチャー」を選択すると、画面の右下または左下から斜め上にスワイプして、画面サイズを縮小することができます。「ボタン」を選択すると、○をすばやく3回タップして、画面サイズを縮小することができます。

■指紋センサーのジェスチャー

指紋センサーを上下にスワイプすると、通知パネルを開閉できます。

■スワイプキャプチャ

手の側面で画面上を右から左、または左から右にスワイプすると、画面の表示内容を画像として保存します。



■スワイプして発信/メッセージ送信

「電話」アプリまたは「連絡先」アプリで、連絡先または電話番号をスワイプして発信やメッセージ送信を行うかどうかを設定します。

Always On Displayを設定する

画面がオフのときに、時計や通知を表示することができます。

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[ロック画面]
- 2 [Always On Display]→  をタップして  にする
- 3 表示するコンテンツやレイアウトを設定

memo

- Always On Displayの表示を終了するには、 (電源キー)を押すか、 をダブルタップします。
- Always On Displayを表示するタイミングを変更するには、アプリ一覧画面で[設定]→[ロック画面]→[Always On Display]→[表示モード]と操作します。

顔認証機能を利用する

本製品の所有者の顔を認識してセキュリティの認証ができます。

■ 顔認証利用時の注意事項

- 双子などの見た目が似ている他の人でもロック解除ができる場合があります。
- 顔認証の安全性はパターン、PIN、パスワード、指紋よりも劣ります。

■ 顔登録時の注意事項

- 登録の際は、眼鏡、帽子、マスクの着用、ひげや化粧の濃さなどの状態をよく確認してください。
- 薄暗い環境やカメラのレンズが汚れたまま登録しないでください。
- 認識の成功率を高めるために、画像がぼやけていないことを確認してください。

顔認証を登録する

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[生体認証とセキュリティ]→[顔認証]
 - すでにいずれかのセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作を行ってください。
- 2 表示内容を確認→[続行]
- 3 「パターン」、「PIN」、「パスワード」のいずれかをタップ
- 4 顔認証セキュリティを設定
- 5 画面の指示に従って顔認証を登録

顔認証の操作をする

- 1 ロック画面で顔認証を行う
 - 正しく認証されない場合は、顔認証に登録したセキュリティ解除方法で認証操作を行ってください。

顔認証の設定をする

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[生体認証とセキュリティ]→[顔認証]
- 2 登録したロック解除方法を入力
- 3 各項目を設定

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能は、指紋センサーに指を押し当てて行う認証操作です。指紋認証機能を使用すると、ロック画面の解除やGalaxyアカウントへの認証操作などを簡単に行うことができます。

■ 指紋認証利用時のご注意

- 本機能は指紋の特徴情報を認証に利用するためのものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で繰り返し読み取る必要があります。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能(正しく指を押し当てた際に指紋が認証される性能)は、お客様の使用状況により異なります。指が濡れている、汗をかいている、または手が乾燥しているなど、指の状態によっては指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下することがあります。その場合、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
- 指紋の登録や認証の際は、指を指紋センサーの中心に押し当てます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を押し当ててください。
- 指を曲げたり、指先だけで指紋センサーに触れたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 指の押し当て方が弱かったり指の離し方が速すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。
- できるだけ指紋の洞の中心を指紋センサーの中心に押し当ててください。
-  (電源キー)を押してからロック画面が表示されるまでの間は、指紋センサーに触れないでください。指紋センサーが機能しなくなることがあります。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。異なる2つの指紋を指紋センサーが誤認識する可能性は非常に低いですが、特徴が非常に似た異なる指紋を同一の指紋と認識する可能性があります。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- 指紋センサーの表面を、ペン先など鋭利なものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりしないでください。
- 爪やストラップの金具など硬いものを押し付けると、指紋センサー表面に傷が付くことがあります。
- 泥などで指紋センサー表面が汚れたり、表面に傷が付いたりすると、故障および破損の原因となることがあります。
- お買い上げ時に貼り付けられている保護フィルムをはがしてからご使用ください。保護フィルムを貼り付けたまま使用すると、正常に認識できないことがあります。

- 指紋センサー表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分が付着したり結露が発生すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下することがあります。指紋センサー表面はときどき清掃してください。
- 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が解消されることがあります。
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい、乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長時間の使用によりゴミがたまることがあります。その場合でも先のとがったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、静電気を取り除いてください。冬季など乾燥する時期は、特にご注意ください。

指紋認証機能を設定する

指紋を登録したり、利用する機能を設定したりします。

- ロック画面の解除操作の設定については「画面ロックの種類を設定する」(▶P.92)をご参照ください。

■ 指紋を登録する

1 アプリ一覧画面で [設定] → [生体認証とセキュリティ] → [指紋認証] → [続行]

- すでにいずれかのセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作を行ってください。

2 「パターン」、「PIN」、「パスワード」のいずれかをタップ

3 画面の指示に従って操作

■ 画面ロックの解除方法として利用する場合

以下は、指紋を登録してある場合の操作です。

1 アプリ一覧画面で [設定] → [ロック画面]

2 [画面ロックの種類] → 登録したロック解除方法を入力

3 「指紋認証」の をタップして にする

■ 指紋を削除する

1 アプリ一覧画面で [設定] → [生体認証とセキュリティ] → [指紋認証]

2 登録したロック解除方法を入力

3 削除する指紋をロングタッチ → [削除] → [削除]

指紋認証を行う

1 画面消灯時またはロック画面表示中に、指紋センサーに指を置く

- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度指紋センサーに指を置いてください。

memo

- 指紋が正しく認証されない場合は、指紋登録時に登録したロック解除方法を使用しても、画面ロックを解除することができません。

Bixby Homeを利用する

Bixby Homeではアプリの通知情報などをまとめて表示することができます。

1 一番左のホーム画面で画面を右にフリックする

Bixby Homeが表示されます。

2 画面を上下にスライドして、情報を見る

memo

- ◎ Bixby Homeのすべての機能を利用するにはGalaxyアカウントへのサインインが必要です。
- ◎ Bixby Homeで表示される情報は定期的に自動更新されます。手動更新するには、画面を下にスワイプします。
- ◎ [] → [設定] と操作すると、カスタマイズサービスの設定などができます。

Bixby Homeの見かた

Bixby Homeは、アプリの情報をまとめて表示します。

- ◎ Bixby Homeを閉じるには、Bixby Home表示中に  をタップするか、画面を左にフリックしてください。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。初期状態ではGalaxyキーボードを利用することができます。また、その他に「Google音声入力」機能を使って文字を入力することもできます。

memo

- ◎ 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリケーションや機能専用のキーボードが表示される場合があります。
- ◎ 本書ではGalaxyキーボード(日本語)を基準に説明しています。Galaxyキーボード(English(US))では、画面上のボタン、操作手順などが異なる場合があります。

入力方法を切り替える

1 アプリ一覧画面で[設定]→[一般管理]→[言語とキーボード]→[標準キーボード]

2 利用したい入力方法を選択

キーボードのタイプを選択する

1 アプリ一覧画面で[設定]→[一般管理]→[言語とキーボード]→[オンスクリーンキーボード]→[Galaxyキーボード]

2 [言語とタイプ]

3 [日本語]

- ・「English (US)」をタップすると、英語のキーボードタイプを設定できます。

4 タイプを選択

Galaxyキーボードで入力する

Galaxyキーボードは、「QWERTYキーボード」、「テンキーフリックなしキーボード」、「テンキーフリックキーボード」、「テンキー8フリックキーボード」の4種類のキーボードを利用できます。

- ・QWERTYキーボード：パソコンなどと同じキー配列のキーボードです。日本語はローマ字入力で行います。
- ・テンキーキーボード：一般の携帯電話のようなキー配列のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを文字が入力されるまで数回タップして入力します。「テンキーフリックキーボード」、「テンキー8フリックキーボード」に設定している場合は、キーをロングタッチするとキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックしても入力できます。



《QWERTYキーボード》



《テンキー》

(表示例:テンキーフリックなしキーボード/テンキーフリックキーボード)

① キーボード追加機能が表示されます。

- 🔍: 予測変換候補/通常変換候補とキーボード追加機能表示を切り替えます。
- 📄: 絵文字/顔文字/記号の一覧を表示します。「📄」をタップすると、キーボード表示に戻ります。
- 📄: スタンプを入力します。アプリによっては、使用できない場合があります。
- 📄: 全角/半角入力を切り替えます。英文入力の場合のみ使用できます。
- 🗣️: 音声入りに切り替えます。
- ⚙️: Galaxyキーボードの設定メニューを表示します。
- 📄: クリップボードを表示してテキストなどの貼り付けができます。
- 📄: 標準キーボード/片手キーボード/フローティングキーボードに切り替えます。
- ・「📄」をタップすると、追加機能の表示領域を広げます。キーボード追加機能の並び順や表示するアイコンを変更できます。
- ・文字が入力されている場合は、予測変換候補/通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。

② スペースを入力します。

- ・文字が入力されている場合は、通常変換候補から文字を選択できます。

③ カーソルを左に移動します。

④ 数字/記号一覧を表示します。

⑤ 日本語/英語入力モードを切り替えます。

⑥ カーソルを右に移動します。

- ・同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときにもタップします。ただし、「自動カーソル移動」を「OFF」以外に設定している場合は、自動的にカーソルが移動します。
- ・「ワイルドカード予測」をオンにしている場合は、タップするとワイルドカード予測を利用できます。

⑦ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑧ 操作状態や選択中の入力欄に対応したキーが表示され、入力した文字の確定や、改行、次の入力欄への移動などができます。

⑨ 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます(フリック入力時は切り替わりません)。

⑩ 大文字/小文字に切り替えたり、濁点/半濁点を付けたりします。

- ・英語入力モードの場合は「A /a」と表示されます。

ワイルドカード予測を利用する

- ・「ワイルドカード予測」をオンに設定している場合に利用できます。

例:「携帯」を入力する場合

1 キーボード表示中に「け」を入力

2 「→」を3回タップ

「け○○○」が表示され、予測変換候補に「携帯」が表示されず(必要に応じて「▼」をタップして予測変換候補の表示エリアを拡大してください)。

- ・読みの文字数を変更するには、「←」/「→」をタップします。

3 予測変換候補から[携帯]

文字列を選択／切り取り／コピー／貼り付ける

1 入力した文字列をロングタッチ

アイコン(●/●)が表示され、間にある文字列が選択されます。アイコンをドラッグして、選択範囲を変更できます。

2 利用する機能をタップ

切り取り	選択した文字列を切り取り／コピーします。
コピー	切り取り／コピーした文字列はクリップボードに保存されます。
貼り付け ^{※1}	切り取り／コピーした文字列を貼り付けます。
全て選択	入力した文字列をすべて選択します。

※1 切り取り／コピーの操作後など、クリップボードにテキストデータが保存されている場合に表示されます。

memo

- ◎ アプリケーションによっては、利用できない機能があります。
- ◎ 手順2以外の文言が表示される場合があります。
- ◎ 文字入力欄をタップすると、アイコン(●)が表示されます。アイコンをドラッグすると、カーソルを移動できます。アイコンをタップすると「貼り付け」「クリップボード」などを利用できます。
- ◎ 文字入力欄で文字が入力されていないエリアをロングタッチしても、「貼り付け」「クリップボード」などを利用できます。

文字入力の設定をする

Galaxyキーボードの設定を行う

Galaxyキーボードを利用して文字を入力する際の入力動作や、キーボードのレイアウトなどを設定できます。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[一般管理]→[言語とキーボード]→[オンスクリーンキーボード]→[Galaxyキーボード]

2 言語とタイプ	入力言語とそのキーボードタイプを設定します。
数字と記号	数字と記号のキーボードタイプを設定します。
日本語入力オプション	フリック入力、予測入力、マッシュルームなどの設定をします。
スマート入力	予測テキスト、自動置換、自動スペルチェックなどの設定をします。
キーボードのレイアウトと動作	キーボードのレイアウトやキータップ時の動作などの設定をします。
初期設定にリセット	キーボード設定をリセットしたり、予測テキストの学習データを消去したりできます。
Galaxyキーボードについて	Galaxyキーボードのバージョンを確認します。

電話・連絡先

電話	44
電話をかける	44
電話を受ける	46
伝言メモを利用する	47
自分の電話番号を確認する	47
通話関連機能の設定をする	47
連絡先	48
連絡先を登録する	48
連絡先を確認／編集する	49
連絡先から電話をかける	50
連絡先のメニューを利用する	50
連絡先をインポート／エクスポートする	50

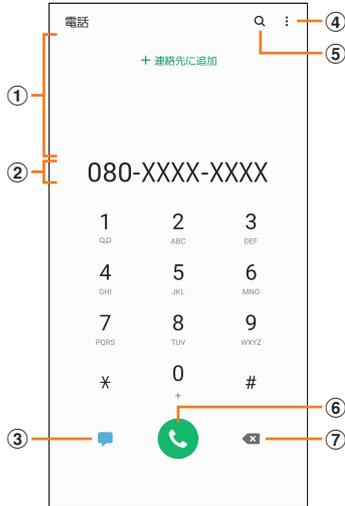
電話

電話をかける

通話中の手順は、通話画面が最大化の場合に記載しています。

1 ホーム画面で[📞]

- キーパッド画面が表示されない場合、「キーパッド」タブをタップしてください。



① 検索結果欄

番号を入力するごとに連絡先や履歴などが検索され、入力候補が表示されます。入力候補がない場合は「連絡先に追加」が表示されます。

② 電話番号入力欄

入力した電話番号が表示されます。

③ メッセージキー

メッセージを作成・送信します(▶P.52)。

④ ⋮

メニューを表示します(▶P.44)。

⑤ Q

名前や電話番号などで、連絡先を検索できます。

⑥ 発信キー

⑦ 削除キー

最後に入力した番号またはカーソルの左側にある番号を削除します。ロングタッチすると、入力した番号またはカーソルの左側にある番号をすべて削除できます。

2 相手の電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

- スピードダイヤル番号(▶P.45)を登録済みの場合は、短縮番号を割り当てたキーをロングタッチすると、スピードダイヤル番号で発信できます。

3 [📞]

通話中画面が表示されます。

4 通話が終了したら[📞]

memo

- ◎ 本製品を顔に近づけるなどして近接センサーをおおったとき(イヤホンなどを取り付けている場合を除く)や、操作せずに画面のタイムアウト(▶P.91)の設定時間が経過すると、通話中画面は自動的に消えます。近接センサーから顔などを離す、または[🔋](電源キー)を押すと、通話中画面を表示できます。
- ◎ 通話音量を調節するには、通話中に音量キーを押します。
- ◎ 通話画面が最大化のときに[🏠]をタップすると、ホーム画面が表示され、ステータスバーに通話状態が表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルの通知をタップすると、通話画面(最大化)に戻ります。
- ◎ 送話口(マイク)をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

■ キーパッド画面のメニューを利用する

1 キーパッド画面→[⋮]

2 2秒間の停止を追加(⋮) ^{*1}	[⋮]を入力します。電話番号に続けて[⋮]と番号を入力して発信すると、発信してから約2秒後にプッシュ信号(番号)が自動的に送信されます。
待機を追加(⋮) ^{*1}	[⋮]を入力します。電話番号に続けて[⋮]と番号を入力して発信すると、電話がつながって「はい」をタップしたときにプッシュ信号(番号)が送信されます。
連絡先に追加 ^{*1}	電話番号を連絡先に登録します。 ・ 通話履歴にありかつ連絡先に未登録の電話番号の場合のみ、表示されます。
メッセージを送信 ^{*1}	メッセージを作成・送信します。
スピードダイヤル番号	▶P.45 「スピードダイヤル番号を登録する」
設定	▶P.47 「通話関連機能の設定をする」
お問い合わせ	Galaxy Membersに移動します。 ・ Galaxy Membersアプリをアンインストールすると、「お問い合わせ」は表示されなくなります。

※1 キーパッド画面で番号を入力すると表示されます。

■ 通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

操作	説明
通話を追加	別の相手に電話をかけることができます。
通話を保留／通話を再開	通話を保留／再開します。
Bluetooth	Bluetooth®対応機器と接続してハンズフリーで通話します。
スピーカー	相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
消音	自分の声を相手に聞こえないようにします。
キーパッド	キーパッドを表示してプッシュ信号を送信します。

■ 通話中画面のメニューを利用する

1 通話中画面→[⋮]

2 連絡先に追加	入力した電話番号を連絡先に登録します。 ・ 電話番号を連絡先に登録した場合、「連絡先を表示」と表示されます。タップすると、連絡先の詳細を表示します。
メッセージを送信	メッセージを作成・送信します。
録音／停止	通話の録音を開始／停止します。

■ スピードダイヤル番号を登録する

スピードダイヤル番号を登録すると、キーパッド画面で短縮番号をロングタッチして簡単に電話をかけることができます。

- ・2桁以上の短縮番号を利用する場合は、最後の桁をロングタッチしてください。

1 キーパッド画面→[:]→[スピードダイヤル番号]

スピードダイヤル番号設定画面が表示されます。

2 短縮番号(2～999)を選択

3 [人]→連絡先を選択

memo

- ◎ 短縮番号1には留守番電話が登録されており、変更/削除できません。
- ◎ スピードダイヤル番号設定画面では、登録済みの短縮番号をタップしてメッセージ送信や電話発信ができます。
- ◎ 短縮番号を削除するには、スピードダイヤル番号設定画面で短縮番号の「-」をタップします。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

memo

- ◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- ◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- ◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- ◎ 緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- ◎ 着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に解除されます。

履歴を利用して電話をかける

履歴では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴、着信拒否履歴を一覧で確認できます。

1 ホーム画面で[C]→「履歴」タブ

履歴画面が表示されます。

- ☑ : 着信
- ☑ : 発信
- ☑ : 不在着信
- ☑ : 拒否した着信

☑ : 「番号指定拒否」(▶P.47)に登録した電話約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性ありますのでご注意ください。

2 かけたい相手を選択

3 [人]

「人」をタップすると履歴詳細画面が表示されます。

memo

- ◎ 「人」をタップするとメッセージを作成できます。
- ◎ 履歴画面で履歴を左にスライドするとメッセージ送信、右にスライドすると電話発信ができます。

履歴画面/履歴詳細画面のメニューを利用する

1 履歴画面/履歴詳細画面→[:]

2 表示する通話履歴	表示する通話履歴の種類を「全ての通話」、「不在着信」、「着信拒否」、「発信」、「着信」に切り替えられます。
削除	履歴を選択し削除できます。
通話の録音ファイル ^{※1}	通話中の録音を再生できます。
録音メッセージ	録音した伝言メモを再生できます。
合計通話時間	直前の通話、発信、着信および全ての通話の通話時間を表示します。
設定	▶P.47「通話関連機能の設定をする」
お問い合わせ	Galaxy Membersに移動します。 ・Galaxy Membersアプリをアンインストールすると、「お問い合わせ」は表示されなくなります。
通話履歴を削除 ^{※2}	通話履歴を削除します。

※1 通話の録音を行うと表示されます。

※2 履歴詳細画面の場合に表示されます。

海外へ電話をかける

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

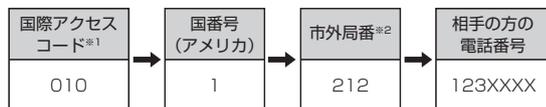
例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 ホーム画面で[☎]

- ・ キーボード画面が表示されない場合、「キーボード」タブをタップしてください。

2 国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の電話番号を入力→[☎]

国際アクセスコードは国によって異なります。



- ※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。
- ※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

memo

◎ 国際電話について詳しくは、J:COM Webサイトをご確認ください。

電話を受ける

1 「☎」を円の外までドラッグ／スライド

「着信中」ポップアップ画面が表示された場合は、「応答」をタップしてください。

2 通話が終了したら[☎]

■ 着信を拒否する場合

1 「☎」を円の外までドラッグ／スライド

- ・ 着信音が止まって電話が切れ、相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。
- ・ 「着信中」ポップアップ画面が表示された場合は、「拒否」をタップしてください。

■ 電話がかかってきた場合の表示について

初期状態では、着信すると次の内容が表示されます。

- ・ 相手の方から電話番号の通知があると、電話番号が表示されます。電話帳(連絡先)に登録されている場合は、名前が表示されます。
- ・ 相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。
「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能*」
※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。着信時に相手の方の電話番号や名前を表示しないようにすることもできます。

memo

- ◎ 「番号指定拒否の設定をする」(▶P.48)で着信を自動的に拒否するように設定できます。

かかってきた電話に出なかった場合は

- ◎ ステータスバーに☒が表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、着信の電話番号、または電話帳(連絡先)に登録されている名前が表示されます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには

- ◎ 着信中に⏻(電源キー)／音量キーを押すと、着信音、バイブレータを無効にすることができます。

他の機能をご利用中の着信に応答した場合は

- ◎ 動画を録画していた場合は、電話を受けると、録画が停止され、録画していたデータは保存されます。
- ◎ ボイスレコーダーなどで録音していた場合は、電話を受けると、録音が一時停止されます。通話終了後、録音が再開されます。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモを設定していなくても、手動で起動できます。

1 着信中に「メッセージを送信」を上にもスライド

- ・ 「着信中」ポップアップ画面が表示された場合は、「メッセージを送信」をタップしてください。

2 [伝言メモ]

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する

- 1 着信中に「メッセージを送信」を上スライド
 - ・「着信中」ポップアップ画面が表示された場合は、「メッセージを送信」をタップしてください。
- 2 送信するクイック拒否メッセージをタップ
 - ・「新規メッセージを作成」をタップすると、メッセージを作成して送信できます。

memo

- ◎ 既存のクイック拒否メッセージを編集することができます。操作については、「クイック拒否メッセージを編集する」(▶P.48)をご参照ください。

伝言メモを利用する

伝言メモを設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に回答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。1件あたりの最大録音時間は約13時間です。

- 1 ホーム画面で[]→[:]→[設定]→[伝言メモ設定]

2	メッセージで自動応答	伝言メモでの応答を毎回自動で行うかどうかを設定します。
	応答メッセージを再生するまでの時間	伝言メモ機能で応答するまでの時間を設定します。
	言語	応答メッセージの言語を設定します。
	録音メッセージ	録音されたメッセージの一覧を表示します。

memo

- ◎ 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーを下にスライド→[新しい録音メッセージ]→[新しい録音メッセージ]と操作すると、録音メッセージ画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。
- ◎ 録音された伝言メモを削除するには、録音メッセージ画面で[:]→[編集]→削除する伝言メモにチェックを入れる、または[全て]にチェックを入れる→[:]→[削除]→[OK]と操作します。

自分の電話番号を確認する

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[端末情報]
 - ・「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

通話関連機能の設定をする

- 1 ホーム画面で[]→[:]→[設定]
 - 通話設定画面が表示されます。

2	番号指定拒否	特定の電話番号からの着信およびメッセージを拒否します。
通話を録音	通知	通話の録音が完了した後に、通知を受信するかどうかを設定します。
	通話の自動録音	選択した番号に発着信した通話を自動的に録音するかどうかを設定します。
	通話の録音ファイル	通話時に録音したファイルを確認できます。
	保存先	録音ファイルの保存場所を設定します。
通話通知と着信音	通話開始時のバイブ	通話応答時に本製品を振動させるかどうかを設定します。
	通話終了時のバイブ	通話が終了したときに本製品を振動させるかどうかを設定します。
	通話開始時に音を再生	通話開始音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話終了時に音を再生	通話終了音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話中の通知	通話中にアラームなどのイベントが発生したときに音でお知らせするかどうかを設定します。
	着信音	電話着信音を設定します。
	バイブパターン	バイブレーションのパターンを設定します。
	着信時にバイブ	電話の着信時に、バイブレーションも動作するかどうかを設定します。
	キーボード音を再生	キーボードを操作したときの音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話応答／終了	発信者名を読み上げ
音量アップキーを押して応答		音量キーの上側を押して着信に回答するかどうかを設定します。
自動応答		ヘッドセットやBluetooth®デバイスが接続された状態で通話がかかってきた場合、設定した時間が経過すると自動的に応答します。
電源キーを押して終了		⌵(電源キー)を押して通話を終了するかどうかを設定します。
クイック拒否メッセージ	クイック拒否時にメッセージ送信するメッセージを作成したり編集したりできます。	
ポップアップで通話を表示	他のアプリを使用中は、通話中の電話を全画面ではなくポップアップで表示します。	
伝言メモ設定	▶P.47「伝言メモを利用する」	
付加サービス	留守番電話と通話転送	留守番電話サービスや着信転送サービスを設定します。
	着信拒否	不要な通話の制限の対象にする電話番号を管理したり、非通知の着信を拒否するかどうかを設定します。
	割込通話	通話中に着信通知を受信するかどうかを設定します。
	発信者番号通知	電話をかけるときに、自分の電話番号を表示するかどうかを設定します。
	海外設定	海外利用中に留守番電話や転送電話を開始／停止するかどうかを設定します。
ガイド言語を変更	ガイドランスのガイド言語を変更できます。	

留守番電話	サービスプロバイダ	留守番電話のサービスプロバイダを設定します。
	留守番電話設定	留守番電話の電話番号を設定します。
	通知	通知方法を設定します。
その他の通話設定	近くの場所を検索	近くの企業および施設の電話番号やその他の情報を「スポット」タブに表示します。
	番号が未登録の連絡先を非表示	電話番号が登録されている連絡先のみを「連絡先」タブに表示します。
	発信者情報を表示	各発信者の最新の連絡先情報を表示します。
電話アプリについて		本アプリについての情報を確認します。

番号指定拒否の設定をする

あらかじめ「番号指定拒否」(▶P.47)に電話番号を追加しておくと、着信を自動的に拒否します。

■「番号指定拒否」に電話番号を追加する

着信を拒否する電話番号を登録します。

1 通話設定画面→「番号指定拒否」

- 「不明な発信者を拒否」をオンにすると、電話番号を通知できない着信を拒否できます。

2 拒否したい電話番号を入力

- 「履歴」/「連絡先」をタップすると、通話履歴や連絡先から電話番号を選択できます。

3 [+]

クイック拒否メッセージを編集する

電話を応答できないときに送信するメッセージ(SMS)を編集します。

1 通話設定画面→「クイック拒否メッセージ」

クイック拒否メッセージ一覧画面が表示されます。

2 編集したいクイック拒否メッセージを選択

3 クイック拒否メッセージを編集→「保存」

memo

- クイック拒否メッセージを新規作成する場合は、「メッセージを入力」欄にクイック拒否メッセージを入力→[+]と操作します。
- クイック拒否メッセージ一覧画面で、削除したいクイック拒否メッセージの「-」をタップすると、クイック拒否メッセージを削除することができます。

連絡先

連絡先を登録する

電話帳(連絡先)の連絡先画面では、連絡先の各種情報が表示されます。連絡先に写真を追加することもできます。

memo

- 連絡先に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で登録内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「アカウントを登録する」(▶P.95)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の連絡先を同期できます。

1 アプリ一覧画面で「連絡先」



《連絡先画面》

- プロフィール(▶P.49「プロフィールを編集する」)
- 三
タップするとアプリの設定、連絡先一覧の表示切替、グループの編集、連絡先の管理などの操作ができます。
- 連絡先の共有
他のGalaxyアカウントを持つメンバーとアルバム、イベント、容量の大きいファイルなどを共有できます。
・Galaxyアカウントを登録する必要があります。
- 最近追加した連絡先
- お気に入りの連絡先
- 連絡先一覧
連絡先をタップすると連絡先詳細画面が表示され、アイコンをタップして電話発信やメッセージ送信などの操作ができます。
- 連絡先登録件数
- Q
名前や電話番号などで、連絡先を検索できます。
- ⋮
メニューを表示します。
- 連絡先登録ボタン

2 [+]

連絡先の新規登録画面が表示されます。

- GoogleアカウントやGalaxyアカウントなどを設定した場合、「連絡先の保存先」画面が表示されます。画面の指示に従って、保存先を選択してください。

3 名前を入力

名前入力欄の右側に表示されている「✓」をタップすると敬称などを入力できます。

4 必要に応じて、他の項目を入力・設定

電話番号やメールアドレスを入力したり、着信音を設定できます。

- 「+」をタップすると項目を追加、「-」をタップすると項目を削除できます。
- 電話番号入力欄などの右側に表示されている電話番号タイプ欄をタップすると、電話番号タイプを変更できます。

5 [保存]

連絡先をお気に入りに追加する

■ 連絡先画面から追加する

1 連絡先画面→追加したい連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

2 [☆] (白色)

★ (黄色) に変わり、連絡先画面の「お気に入り」欄に追加されます。

プロフィールを編集する

1 連絡先画面→プロフィールをタップ

- プロフィール未登録の場合、本製品の電話番号が表示されます。
- 初期設定時にGoogleアカウントなどを登録した場合、アカウントに登録している情報は自動的にプロフィールに反映されます。

2 [編集] → 必要な項目を入力 → [保存]

連絡先を確認／編集する

1 連絡先画面→確認／編集したい連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

- ✉: メッセージを作成できます。
- ☎: 電話をかけることができます。
- ✉: メールを作成できます。
- 📍: マップを表示できます。
- 🌐: ウェブサイトを表示できます。
- 🎂: 連絡先に登録した人の誕生日など大切な日を表示できます。

■ 連絡先を編集する場合

連絡先詳細画面→[編集]と操作します。



◎ 連絡先画面で連絡先を左にスワイプするとメッセージを作成して送信、右にスワイプすると電話発信ができます。

グループ分けした連絡先を確認する

連絡先の登録時に設定したグループ別に、連絡先を管理・利用できます。

1 連絡先画面→[三] → [グループ]

グループ画面が表示されます。

2 確認したいグループをタップ→連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

■ グループを追加／編集する

1 連絡先画面→[三] → [グループ] → [グループを作成]

- 登録済みのグループを編集するには、連絡先画面→[三] → [グループ] → 編集したいグループをタップ → [:] → [グループ編集]と操作します。

2 グループ名を入力

3 [グループ着信音] → 画面の指示に従って着信音を選択

- 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択してください。

4 [メンバーを追加] → 追加したい連絡先にチェックを入れる → [完了]

5 [保存]



◎ 連絡先画面→[三] → [グループ] → 削除したいグループをタップ → [:] → [グループを削除] → [グループのみ] / [グループとメンバー]と操作すると、グループを削除することができます。「グループのみ」を選択した場合、メンバーは連絡先から削除されません。

連絡先から電話をかける

1 連絡先画面→電話をかけたい連絡先をタップ

- ・連絡先を右にスワイプしても、電話をかけられます。

2 [📞]

連絡先のメニューを利用する

連絡先画面／連絡先詳細画面で「⋮」をタップするとメニュー項目が表示され、連絡先の共有、削除などの操作が行えます。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先をシステムメモリ(本体)やmicroSDメモリカード、SIMへインポート／エクスポートできます。

- ・連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

システムメモリ(本体)やmicroSDメモリカード、SIMに保存されている連絡先をインポートします。

1 連絡先画面→[☰]→[連絡先を管理]→[連絡先をインポート／エクスポート]

2 [インポート]→[内部ストレージ]／[外部SDカード]／[SIMカード]

3 [本体]→[インポート]

Googleアカウントなどを設定している場合は、アカウント名を選択できます。

エクスポートする

連絡先をシステムメモリ(本体)やmicroSDメモリカード、SIMへエクスポートします。

1 連絡先画面→[☰]→[連絡先を管理]→[連絡先をインポート／エクスポート]

2 [エクスポート]→[内部ストレージ]／[外部SDカード]／[SIMカード]→[エクスポート]

- ・「内部ストレージ」と「外部SDカード」を選択した場合は、すべての連絡先がエクスポートされます。
- ・「SIMカード」を選択した場合は、エクスポートしたい連絡先または「全て」にチェックを入れる→[完了]→[エクスポート]→[OK]と操作します。
- ・SIMにエクスポートできる連絡先は最大50件です。

メール

メール	52
メールについて	52
SMS	52
SMSについて	52
SMSを送信する	52
SMSを受信／返信する	52
SMSを設定する	53
Gmail	53
Gmailについて	53
Gmailを送信する	53
Gmailを受信する	53
Gmailのメニューを利用する	53

メール

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■SMS (ショートメッセージサービス)

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話との間でもメッセージの送信および受信をご利用いただけます(▶P.52)。

■PCメール

「Eメール」アプリを利用して、Exchange ActiveSyncアカウント、一般のISP(プロバイダ)が提供するPOP3やIMAPに対応したメールアカウントなどを設定し、パソコンと同じように本製品からメールを送受信できます。

■Gmail

Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます(▶P.53)。

SMS

SMSについて

「メッセージ」アプリは電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。

J:COM MOBILE電話番号宛だけでなく、国内他事業者や海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 ホーム画面で[]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 []

SMS作成画面が表示されます。

- ・同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、操作4へ進みます。

3 [宛先]→相手先電話番号を入力

[>]をタップして、連絡先の一覧から相手先を選択することもできます。

4 [メッセージを入力]→本文を入力

本文は、全角最大670 / 半角最大1530文字まで入力できます。

5 []



◎メッセージ作成中に「<」をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」と表示され、SMSを送信せずに保存できます。

SMSを受信／返信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ポップアップ通知され、メール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面で[]

未読のSMSがあるスレッドには「1」が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

■返信する場合

4 [メッセージを入力]→本文を入力

5 []

■転送する場合

4 転送するメッセージをロングタッチ→[転送]

5 転送する相手先電話番号を入力→本文を入力→ []

SMSを設定する

1 ホーム画面で[]

2 []→[設定]

SMS設定メニューが表示されます。

3 通知	本アプリの通知方法について設定します。
番号指定でメッセージを拒否	指定した番号からのメッセージを拒否するかどうかを設定します。
その他の設定	配信状態の確認やクイック返信、メッセージの自動削除などを設定します。
メッセージについて	本アプリのバージョンやオープンソースライセンスを確認できます。

Gmail

Gmailについて

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます。

- Gmailの利用にはメールアドレスの設定が必要です。メールアドレスの設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。

Gmailを送信する

1 アプリ一覧画面で[Google]→[Gmail]

- 機能紹介などの画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 []

3 [To]→宛先を入力

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成]→本文を入力

6 []

[]→[下書きを保存]と操作すると下書き保存されます。

Gmailを受信する

1 アプリ一覧画面で[Google]→[Gmail]

- メール一覧を下にスライドすると、メール一覧を更新できます。

2 受信したメールをタップ

Gmailのメニューを利用する

Gmail受信トレイ画面で[]をタップするとメニュー項目が表示され、設定などの操作が行えます。

- []→[設定]→設定するメールアドレスをタップ→[ラベルの管理]と操作すると、メールの同期と通知設定画面が表示されます。

インターネット

インターネット接続	56
インターネットに接続する	56
ブラウザ	56
ブラウザについて	56
Webページを表示する	56
ブックマーク／履歴を利用する	58
ブラウザを設定する	58

インターネット接続

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能を使用してインターネットに接続できます。

- データ通信
- 無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能(▶P.83 「無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能」)

■ データ通信ご利用上のご注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額サービスの加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

ブラウザ

ブラウザについて

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

Webページを表示する

- 1 ホーム画面で[🌐]
ブラウザ画面が表示されます。

memo

◎ ブラウザ画面では、本製品を横表示にして閲覧することもできます。本製品を横表示にしても自動的に画面の向きが変わらないときは、通知パネルを開く→[🔍]と操作します。

Webページを移動する

- 1 ブラウザ画面→画面上部のアドレスバーをタップ
検索/URL入力欄が表示されます。
- 2 URLまたは検索したいキーワードを入力
検索候補の一覧が検索/URL入力欄の下に表示されます。
- 3 検索候補から目的の項目を選択/キーボードの[移動]
Google検索の検索結果が表示された場合は、目的の項目を選択します。

memo

◎ 検索/URL入力欄の「🔍」をタップすると、音声で検索したいキーワードを入力できます。

ブラウザ画面のメニューを利用する

- 1 ブラウザ画面→[☰]
 - Webページの保存やブックマークに追加、ブラウザの設定などの操作が行えます。

タブを利用する

Webページを表示中に新しいタブを開くことができます。

■ 新しいタブを開く

- 1 ブラウザ画面→[📄]→[新規タブ]
新しいタブが開かれ、ホームページに設定したWebページが表示されます。

■ タブを切り替える

- 1 ブラウザ画面→[📄]
- 2 表示するタブをタップ

■ タブを閉じる

- 1 ブラウザ画面→[📄]
- 2 閉じるタブの[×]

■ シークレットタブを開く

- 1 ブラウザ画面→[🔒]
- 2 [シークレットモードをON]
- 3 [パスワードを使用しない]
 - パスワードを使用する場合、「パスワードを設定」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
 - パスワードを後で登録する場合、ブラウザ画面→[🔒]→[🔒]→[シークレットモードのロックを設定]→[パスワードを使用]と操作し、画面の指示に従って登録してください。

memo

- ◎ シークレットモードをオフにする場合、ブラウザ画面→[🔒]→[シークレットモードをOFF]と操作する、またはウェブブラウザを再起動してください。
- ◎ シークレットモードで閲覧中のウィンドウは、アドレスバーの周囲がグレーで表示されます。
- ◎ テキストのWeb検索などの操作について、シークレットモードがオンのときに実行できない場合があります。
- ◎ シークレットタブで閲覧したウェブページは、閲覧履歴や検索履歴に表示されません。また、Cookieは本製品に保存されません。ただし、シークレットタブで閲覧中にダウンロードしたファイルやブックマークなどは保存されます。
- ◎ シークレットタブで保存したブックマークやWebページなどはシークレットのみで確認できます。

Webページ内のテキストを検索する

- 1 ブラウザ画面→リンクのないテキストをロングタッチ
テキストが拡大表示されます。指を離すとテキストの上下に🔍と🔍、メニューが表示されます。
- 2 🔍 / 🔍 をドラッグしてテキストの範囲を指定
指定されたテキストはハイライト表示されます。
- 3 [検索]
検索バーに検索件数が表示されます。選択中の検索対象には青紫色のハイライト、その他の検索対象には青紫色の枠が表示されます。
- 4 [^] / [v]
前の検索対象/次の検索対象にハイライトが移動します。
 - 検索を終了するには🔍をタップします。

Webページ内のテキストをコピーする

- 1 ブラウザ画面→リンクのないテキストをロングタッチ
テキストが拡大表示されます。指を離すとテキストの上下に🔍と🔍、メニューが表示されます。
- 2 🔍 / 🔍 をドラッグしてテキストの範囲を指定
指定されたテキストはハイライト表示されます。
 - 全文を選択するには「全て選択」をタップします。
- 3 [コピー]
「クリップボードにコピーしました。」というメッセージが表示されます。
 - 指定した範囲のテキストを共有するには「共有」、辞書で検索するには「辞書」、表示中のWebページ内で検索するには「検索」、Web検索するには「Web検索」と操作します。

memo

- ◎ コピーしたテキストは、他のアプリケーションでも利用できます。貼り付け先の入力欄をロングタッチ→[貼り付け]と操作します。
- ◎ テキストを選択できないWebページもあります。

Webページ内の画像をダウンロードする

- 1 ブラウザ画面→ダウンロードする画像/画像を含むリンクをロングタッチ
- 2 [画像を保存]

memo

- ◎ ダウンロードした画像は、「ギャラリー」アプリなどから確認できます。

リンクを操作する

- 1 リンクを操作するWebページを開く
- 2 リンクをタップ

■ リンクのメニューを利用する

- テキストのリンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、リンク先のWebページを開く、リンクを保存、リンクをコピーなどの操作が行えます。画像を含むリンクをロングタッチすると、画像の保存やコピーなどの操作が行えます。
- リンクのない画像をロングタッチしても、画像の保存やコピーなどの操作ができません。

memo

- ◎ リンクやWebページによっては、ロングタッチしてもメニューが表示されない場合や、選択した操作を実行できない場合があります。

ブックマーク／履歴を利用する

履歴の確認やブックマークの保存ができます。

1 ブラウザ画面→[三]→[ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。

2 開くブックマークをタップ

ブックマークを追加する

1 ブラウザ画面→[三]→[ページを追加]

2 [ブックマーク]

3 タイトルを確認／編集

- ・ブックマークを保存するフォルダを変更したい場合は、[全て]→保存したいフォルダを選択します。

4 [保存]



- ◎ ブラウザ画面で「☆」をタップして「★」にしても、ブックマークに追加できます。

ブックマーク画面のメニューを利用する

ブックマーク画面で「:」をタップするとメニュー項目が表示され、ブックマークの編集(ブックマークの削除／並べ替えなど)、フォルダの作成の操作が行えます。

履歴を確認する

1 ブラウザ画面→[三]→[ブックマーク]→[履歴]タブ

履歴画面が表示されます。

2 「今日」「昨日」など閲覧した時期をタップ

3 確認するURLをタップ

履歴を消去する

1 ブラウザ画面→[三]→[ブックマーク]→[履歴]タブ

履歴画面が表示されます。

2 [:]→[履歴を全て削除]

すべての履歴が消去されます。

ブラウザを設定する

ホームページの設定や標準検索エンジンの設定、プライバシーの設定などを行うことができます。

1 ブラウザ画面→[三]→[設定]

インターネット設定画面が表示されます。

2 必要な項目を設定



- ◎ インターネット設定画面→[ホームページ]→[現在のページ]と操作すると、表示されているWebページがホームページに設定されます。また、設定されたURLは「🔗」をタップすると表示されます。
- ◎ キャッシュなどの一時的に本製品に保存されたファイルを消去するには、インターネット設定画面→[プライバシーとセキュリティ]→[閲覧データを削除]→消去したい項目にチェックを入れる→[削除]と操作してください。
- ◎ アプリ一覧画面で[設定]→[アプリ]→[ブラウザ]→[⚙️]と操作してもインターネット設定画面を表示できます。

アプリケーション

アプリケーション一覧	60	時計	71
アプリを利用する	60	時計を利用する	71
カメラ	61	アラームを利用する	71
カメラについて	61	世界時計を利用する	71
カメラをご利用になる前に	61	ストップウォッチを利用する	71
静止画／動画を撮影する	61	タイマーを利用する	71
ライブフォーカスで撮影する	63	S Health	72
AR絵文字機能を使用する	64	S Healthを利用する	72
インテリジェントカメラを利用する	64	Androidアプリ	72
ギャラリー	64	Google Playを利用する	72
ギャラリーについて	64	アプリケーションを管理する	73
ギャラリーを利用する	64		
カレンダー	65		
カレンダーについて	65		
カレンダーを表示する	65		
カレンダーのメニューを利用する	65		
イベントやタスクを作成する	65		
イベントやタスクの通知を解除またはスヌーズを 設定する	65		
カレンダーの設定を変更する	65		
Galaxy Notes	66		
Galaxy Notesについて	66		
Galaxy Notesを作成する	66		
Galaxy Notesを編集する	66		
作成したノートを確認する	66		
Galaxy Notesのメニューを利用する	66		
Galaxy Store	66		
Galaxy Storeを利用する	66		
ボイスレコーダー	67		
音声を録音する	67		
音声を再生する	67		
ボイスレコーダーのメニューを利用する	67		
辞書	67		
辞書を利用する	67		
辞書のメニューを利用する	67		
NFC /おサイフケータイ[®]	68		
おサイフケータイ [®] とは	68		
おサイフケータイ [®] を設定する	69		
NFC/FeliCaに対応したサービスを利用する	70		
タップ&ペイ	70		

アプリケーション一覧

アプリを利用する

アプリのアイコンをタップすると、アプリが起動します。

アプリケーション	概要	ページ
ボイスレコーダー ^{*1}	音声を録音できます。	P.67
Eメール ^{*1}	PCメール(複数のアカウントを使用可)を利用できます。	—
マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。	P.79
ブラウザ	インターネットに接続します。	P.56
S Health ^{*1}	本製品の各種センサーを利用して、消費カロリーの記録などを行い、健康管理をサポートします。	P.72
Gear Wearable ^{*1}	Gearをモバイル端末に接続し、Gear Wearableの機能およびGear Appsからインストールしたアプリを管理および監視します。	—
おサイフケータイ	本製品をリーダー／ライターにかざすだけで、電子マネーでのショッピングやクーポン情報の取得などができます。	P.68
辞書	辞書を利用して単語を調べることができます。	P.67
Google	本体内やウェブ上の検索を行います。	—
Chrome	インターネットに接続します。	—
Gmail	Gmailを利用します。	P.53
マップ	現在地の確認／他の場所の検索／経路の検索などが行えます。	—
YouTube	YouTubeで動画を再生します。	—
ドライブ ^{*1}	画像や動画などをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。	—
Playムービー&TV ^{*1}	Google Playの映画やテレビ番組をレンタルしたり、本製品に保存した動画を再生したりできます。	—
Duo ^{*1}	ビデオ通話を行います。	—
フォト ^{*1}	写真や動画を閲覧できます。Googleフォトにログインして、バックアップすることもできます。	—
Office Mobile	Android向けのMicrosoft Officeアプリです。	—
OneDrive	ファイルや写真をOneDriveに保存すれば、スマートフォン、タブレット、PCからアクセスして共有できます。	—
Galaxy Members ^{*1}	Galaxy Membersを起動します。	—
Galaxy Store	役に立つアプリケーションのダウンロードや、インストールしたアプリケーションのアップデートができます。	P.66
Play ストア	Google Playからアプリケーションをダウンロード／購入します。	P.72
Facebook ^{*2}	友達や家族などの親しい人々や、それを越えた新しい人々とながり、コミュニティを築くことができます。世界で何が起きているか発見したり、自分に関連することをシェアしたり表現したりすることができる無料の「实名制」コミュニケーションアプリです。	—
Spotify ^{*1}	4,000万以上もの曲へのアクセスを提供するデジタル音楽配信サービスです。	—
電話	電話の発信／着信、通話履歴などを表示します。	P.44

アプリケーション	概要	ページ
メッセージ	電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。	P.52
カメラ	静止画を撮影、動画を録画します。	P.61
ギャラリー	静止画や動画を閲覧します。	P.64
時計	アラームの設定や時計などを表示します。	P.71
連絡先	連絡先を管理します。	P.48
設定	本製品の各種設定を行います。	P.88
カレンダー	スケジュールを管理できます。	P.65
電卓 ^{*1}	基本的な計算ができます。	—
Play Music ^{*1}	音楽を探して再生したり共有できます。自分の音楽をクラウド上にアップロードし、後から聴くこともできます。	—
Galaxy Notes ^{*1}	テキスト入力や手書きのメモを作成できます。	P.66
Game Launcher	すべてのゲームを自動的にまとめて管理することや、ゲームプレイ中に便利な追加機能を使用することができます。	—

※1 「本製品を初期化する」(▶P.97)を行うとアンインストールされます。

一部のアプリはショートカットアイコンが残り、使用時には再インストールが必要です。

※2 簡単にダウンロード／アップデート(更新)できるショートカットアプリです。利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

memo

◎ アプリ一覧画面には、いくつかのフォルダ内にまとめられているアプリケーションもありますが、表ではフォルダを示していません。

◎ ショートカットアプリ／アイコンを利用してインストールすると、名前が変更されたり、表示位置が移動される場合があります。

◎ 表に記載のアプリケーション以外にも、機種変更前にご利用・ご契約いただいたアプリケーションがアプリ一覧画面に表示される場合があります。

カメラ

カメラについて

「カメラ」アプリを利用して、静止画の撮影や、動画の録画ができます。

本製品を傾けることで、横表示と縦表示のどちらでも撮影／録画ができます。

memo

◎ Galaxy A30はデュアルレンズを搭載しています。デュアルレンズを使ったライブフォーカス機能を使うと、被写体と背景を分けて撮影できます。また、リアカメラは光学2倍ズームを採用しており、ズーム時でも明るく鮮明な画像が撮影できます。

カメラをご利用になる前に

- ・レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。
撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- ・撮影時にはレンズ部に指や髪などがつかないようにご注意ください。
- ・手振れにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手振れが起きやすくなりますのでご注意ください。
また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- ・動画を録画する場合は、送話口を指などでおおわないようにご注意ください。
また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、送話口の音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- ・次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- ・本製品は強い光が出ますので、フラッシュを目に近づけて点灯させないでください。フラッシュ点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障害を起こす原因となります。
- ・本製品の温度が高くなると、フラッシュがオフになる場合があります。本製品の温度が下がった後、フラッシュをオンにできます。
- ・マナーモード設定中でも静止画撮影時のシャッター音、動画録画の開始音や終了音は鳴ります。
- ・不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。

- ・本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などと肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- ・お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

静止画／動画を撮影する

撮影画面の見かた

ここでは、本製品を縦表示にした状態の画面で説明しています。

1 ホーム画面で[📷]

操作アイコンは初期状態です。



- ① AR絵文字(▶P.64)
- ② 設定(▶P.62)
- ③ フラッシュ設定
- ④ タイマー設定
- ⑤ 光学ズーム調節
光学ズームを調節します。
- ⑥ カメラモードの切替(▶P.62)
- ⑦ プレビュー縮小表示
直前に撮影した静止画／動画のプレビューが縮小表示され、タップするとプレビュー画面(▶P.62)を表示できます。
- ⑧ シャッターボタン^{※1}
- ⑨ 縦横比設定
- ⑩ カメラエフェクト
- ⑪ ステータス
設定の状況をお知らせする各種アイコンが表示されます。
- ⑫ シーン別に最適化(▶P.64)
- ⑬ フロントカメラ／リアカメラの切り替え
撮影画面で上または下にフリックしても切り替えられます。

※1 シャッターボタンをドラッグすると、画面上の任意の場所に移動できるシャッターボタンを追加できます。

◎ カメラを起動して約2分間何も操作をしないと、カメラは自動的に終了します。

撮影前の設定をする

撮影画面やカメラの設定メニューから、撮影の各種設定ができます。

1 静止画／動画撮影画面を表示

2 [📷] (カメラ設定)

3 各項目を設定

シーン別に最適化	撮影画面に / を表示させるかどうかを設定します。
シャッターボタンの長押し	シャッターボタンをロングタッチするときの操作を設定します。
保存オプション	<ul style="list-style-type: none"> 「HEIF画像(写真)」： 「HEIF画像(写真)」をオンにすると、写真はHEIFファイルで保存されます。 「プレビュー通りの写真」： 自分撮りの画像を左右反転せずプレビューに表示されたとおりに保存します。
リア動画サイズ	リアカメラの動画撮影サイズを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 動画撮影サイズを「16:9」に設定した場合、「解像度」の欄をタップすると、解像度を選択できます。
フロント動画サイズ	フロントカメラの動画撮影サイズを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 動画撮影サイズを「16:9」に設定した場合、「解像度」の欄をタップすると、解像度を選択できます。
HEVC形式で保存	オンにすると、動画はHEVC形式で保存されます。 <ul style="list-style-type: none"> 「HEVC形式で保存」をオンにして撮影した動画は、他のデバイスで再生したり、共有することができません。
HDR (リッチトーン)	リアカメラのHDR (リッチトーン)を「必要なときに適用」／「常に適用」に設定します。
グリッドライン	グリッドラインを表示するかどうかを設定します。
位置情報タグ	撮影した静止画／動画に位置情報を付加するかどうかを設定します。
カメラモード	撮影画面で表示するカメラモードを設定します。
撮影方法	タップして写真や動画を撮影、手のひらに向けて写真を撮影などの機能のオン／オフを設定します。
保存先	撮影した静止画／動画の保存場所を設定します。
クイック起動	[] (電源キー)をすばやく2回押してカメラを起動できるようにするかどうかを設定します。
透かし	写真の左下に透かしを追加します。
設定をリセット	設定をリセットします。
お問い合わせ	Galaxy Membersに移動します。 <ul style="list-style-type: none"> Galaxy Membersアプリをアンインストールすると、「お問い合わせ」は表示されなくなります。
カメラについて	カメラアプリのバージョン情報などを表示します。

4 設定が終了したら[<]

◎ メニュー項目によっては、同時に設定できない場合があります。

プレビュー画面を利用する

プレビュー画面を表示して、撮影した静止画／動画を確認できます。また、メールで送信したり、静止画を壁紙に設定したりできます。

1 静止画／動画撮影画面→プレビュー縮小表示をタップ

プレビュー画面が表示され、画面下部にはメニュー項目が表示されます。

- ・左右にスライドすると他の静止画／動画を確認できます。動画で「動画を再生」をタップすると、動画が再生されます。

2 画面下部のメニュー項目を選択

◎ メニュー項目が表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。

◎ メニュー項目はデータの種類により異なります。

◎ アプリ一覧画面で[ギャラリー]→[アルバム]→[カメラ]と操作すると、撮影した静止画／動画の一覧が表示されます。

◎ 静止画で「」をタップするとメニューが表示され、静止画の印刷、壁紙に設定などができます。

カメラモードを変更する

1 ホーム画面で[📷]

静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 画面下部のカメラモードを選択

3 パノラマ	垂直方向または水平方向のパノラマを作成することで、より多くの被写体を1枚の写真におさめることができます。
プロ	ISO感度、ホワイトバランス、露出値を手動で設定し、写真を撮影します。
ライブフォーカス	▶P.63「ライブフォーカスで撮影する」
写真	自動的に最適に調整された露出および色の設定で写真を撮影します。
動画	自動的に最適に調整された露出および色の設定で動画を撮影します。

※ 使用するカメラ(リアカメラ／フロントカメラ)や「カメラモード」(▶P.62)の設定によって、表示される項目が異なります。

◎ 静止画／動画撮影画面を表示→[📷]→[カメラモード]→[モードを編集]と操作すると、静止画／動画撮影画面に表示するカメラモードや表示順番を変更できます。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で[📷]

静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける

- 画面をピンチすると、ズーム調節ができます。ただし、カメラモードの設定によっては、ズーム調整ができない場合があります。
- 画面をタップすると、フォーカスが移動してピントを合わせます。

3 [📷]

シャッター音が鳴って撮影され、撮影した静止画が自動的に保存されます。

memo

- ◎ 撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。
- ◎ カメラの設定メニュー→[撮影方法]→[音量キーでの操作]で「写真や動画を撮影」に設定した場合、音量キーを押しても静止画を撮影できます。

動画を撮影する

1 ホーム画面で[📷]

静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 [動画]

3 被写体にカメラを向ける→[📷]

- 開始音が鳴り、動画撮影が開始されます。
- 画面をピンチすると、ズーム調節ができます。
 - 「📷」をタップすると、動画撮影中に静止画も撮影できます。

4 撮影を終了するときは[📷]

終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

memo

- ◎ 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。
- ◎ 設定した動画撮影サイズなどにより、録画時間が制限されることがあります。
- ◎ 動画撮影中にズーム機能を長時間使うと、本製品の過熱を防ぐために、動画の画質が低下する場合があります。
- ◎ 光学ズームは暗い環境では動作しないことがあります。
- ◎ カメラの設定メニュー→[撮影方法]→[音量キーでの操作]で「写真や動画を撮影」に設定した場合、音量キーを押しても動画を撮影開始／終了できます。

録画を一時停止する場合

動画を録画中、「■」をタップすると、録画を一時停止できます。「■」をタップすると再開できます。

ライブフォーカスで撮影する

リアカメラを利用する

デュアルカメラレンズを使って被写体と背景を分けて撮影できます。被写体に焦点をあてた望遠撮影や、背景をぼかした写真が撮影できます。

1 ホーム画面で[📷]

静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 [ライブフォーカス]

3 調整バーで「ぼかし」を調節

4 [📷]

- ・ライブフォーカスの写真が保存されます。

memo

- ◎ 本製品と被写体を約1m～1.5m離し、撮影してください。
- ◎ ライブフォーカスで撮影する場合は、十分な光がある場所で撮影してください。
- ◎ ライブフォーカスで撮影した画像は「ギャラリー」アプリで「バックグラウンドエフェクトを変更」をタップすると、撮影後に背景のぼかし効果を調整することができます。

フロントカメラを利用する

自分撮りを行う場合、背景をぼかして撮影できます。

1 ホーム画面で[📷]

静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 [📷]

3 [ライブフォーカス]

4 「エフェクトの準備ができました。」が表示されたら、[📷]

memo

- ◎ ライブフォーカスで撮影する場合は、十分な光がある場所で撮影してください。

AR絵文字機能を使用する

顔を認識させてマイ絵文字を作成し、ギャラリーアプリなどでスタンプとして利用できます。作成した絵文字は顔の動きを認識して動きます。

マイ絵文字を作成する

- 1 ホーム画面で[]
- 2 [AR絵文字]
- 3 [マイ絵文字を作成]
- 4 []
- 5 画面の指示に従ってマイ絵文字を作成

memo

◎ マイ絵文字を削除するには、マイ絵文字をロングタッチ→[削除]と操作します。

AR絵文字を利用する

様々なAR絵文字を選択して写真やビデオを撮影することができます。顔の動きに合わせてAR絵文字も移動します。

- 1 ホーム画面で[]
- 2 [AR絵文字]
- 3 AR絵文字を選択
 - ・ AR絵文字は一度の撮影に複数を選択できません。
- 4 [写真]→[]
 - ・ 動画撮影で利用する場合、[動画]→[]と操作してください。

インテリジェントカメラを利用する

シーン別に最適化を利用する

カメラが自動的に撮影対象を検出し、写真の色設定を自動的に調整し最適な写真を撮影できます。撮影対象は食べ物、人物、花などのシーンから選択されます。

- 1 ホーム画面で[]
- 2  をタップして  にする
 - ・  /  が表示されない場合、[] (カメラ設定)→[シーン別に最適化]の  をタップして  にしてください。

memo

◎ 本機能はカメラモードが「写真」の場合のみ有効です。

ギャラリー

ギャラリーについて

本体やmicroSDメモリカードなどに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。

ギャラリーを利用する

- 1 アプリ一覧画面で[ギャラリー]
撮影日別に並んだ画像一覧画面、アルバム一覧画面、ストーリー一覧画面または共有一覧画面が表示されます。アルバム一覧画面が表示された場合はアルバムをタップしてデータ一覧画面を表示します。

memo

◎ 「ギャラリー」アプリ起動時は、前回終了時に表示していた種類の画像一覧画面が表示されます。

静止画／動画を表示する

- 1 データ一覧画面→表示したい静止画／動画をタップ
静止画／動画が表示されます。静止画／動画を切り替えるには画面を左右にスライド／フリックします。
 - ・ 画面をタップすると操作アイコンなどが表示され、データの共有や編集・削除などの操作ができます。
- 2 動画を再生する場合は、「動画を再生」をタップ
動画が再生されます。

Galaxyクラウドの静止画／動画を表示する

Galaxyアカウントを設定(▶P.29)した場合、Galaxyクラウド上の静止画／動画を確認できます。

- 1 データ一覧画面→[]→[設定]
- 2 [Galaxyクラウドと同期]→[同期]の  をタップして  にする
- 3 「最新追加したアイテム」の[>]
Galaxyクラウド上の静止画／動画のデータ一覧が表示されます。

memo

◎ Galaxyクラウドに同期できるのは、本体メモリに保存した静止画／動画のみです。

ギャラリーのメニューを利用する

アルバム一覧画面／ストーリー一覧画面／アルバム内のデータ一覧画面／ストーリー内のストーリー一覧画面または共有一覧画面で「」をタップすると、アルバム作成やストーリー作成などの操作が行えます。

また、静止画の表示画面で「」をタップすると、静止画の詳細確認や印刷などの操作が行えます。

データを選択した状態で画面をタップすると操作メニューが表示されます。各メニューをタップすると、データの共有や編集、削除などの操作が行えます。

- ・ 利用できる機能はアルバム／ストーリー／データの種類や画面によって異なります。

memo

◎ 静止画の印刷は、本製品に対応するプリンターでのみ印刷できます。

カレンダー

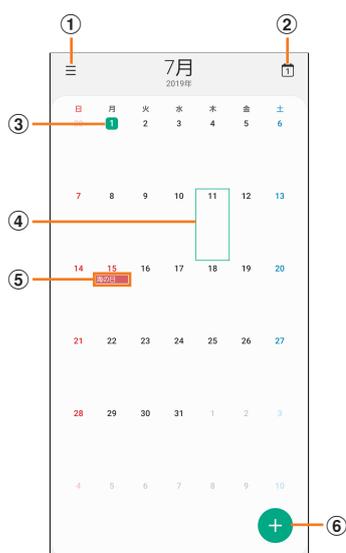
カレンダーについて

本製品にはイベントやタスクを管理するカレンダーが搭載されています。Googleアカウントを持っている場合は、Googleカレンダーと同期することができます。「Googleアカウントの設定をする」(▶P.29)をご参照ください。

カレンダーを表示する

- 1 アプリ一覧画面で[カレンダー]
カレンダー画面が表示されます。

カレンダーの内容について



《カレンダー画面(月表示の場合)》

- ① メニュー
- ② 今日
他の月や週などが表示されているときにタップすると、今日の日付が表示されます。
- ③ 今日の日付
- ④ カーソル(緑色)
- ⑤ イベント／タスク／祝日表示
イベント／タスクがある日付や祝日の日付をタップするとポップアップが表示され、タップすると詳細を確認できます。
- ⑥ 新規作成
イベント／タスクを新規に作成します(▶P.65)。

カレンダーのメニューを利用する

カレンダー画面で「☰」をタップするとメニュー項目が表示され、イベントやタスクの検索、カレンダーの管理などの操作が行えます。

イベントやタスクを作成する

- 1 カレンダー画面→[+]
- 2 各項目を設定
- 3 [保存]

イベントやタスクの通知を解除またはスヌーズを設定する

イベントやタスク作成時に通知を設定した場合、設定時刻になるとポップアップの表示と、通知音の鳴動でお知らせします。

- 1 アラーム画面の場合は「解除」を表示される円の外までドラッグ／スライド
 - ・「スヌーズ」をタップすると、約5分後に選択したイベントやタスクが再通知されます(スヌーズとは、いったん通知を消しても、一定時間が経過すると、再度通知する機能です)。
 - ・「カレンダー」ウィンドウが表示された場合は、「解除」／「スヌーズ」をタップしてください。

カレンダーの設定を変更する

カレンダーの表示設定や通知設定などの詳細を設定できません。

- 1 カレンダー画面→[☰]→[⚙]
- 2 変更したい項目を選択→設定を変更



◎ アプリ一覧画面で[設定]→[アプリ]→[カレンダー]→[⚙]と操作してもカレンダーを設定できます。

Galaxy Notes

Galaxy Notesについて

キーボードを使ってノートを作成したり、絵を描いたりできます。また、写真などを貼り付けたり、録音したデータをノートに保存したりすることもできます。

Galaxy Notesを作成する

1 アプリ一覧画面で[Galaxy Notes]

Galaxy Notes一覧画面が表示されます。

2 [+]

ノート編集画面が表示されます。



《ノート編集画面》

- ① ツールバー
 - ・メモの作成方法や、使用するブラシの選択などができます。
 - ② 保存
 - ・現在のノートを保存し、表示画面に切り替わります。
 - ・表示画面で画面をタップすると、再度編集ができます。
 - ③ ファイルを追加
 - ・画像データや音声データを添付します。
 - ④ メニュー
 - ・リッチテキストメニューの表示／非表示を設定できます。
- 3 ツールバーでツールを選択してノートを作成
 - 4 [保存]
作成したノートが保存され、ノートの表示画面に切り替わります。

Galaxy Notesを編集する

- 1 Galaxy Notes一覧画面→編集したいノートをタップ→[✎]
ノート編集画面が表示されます。
 - ・ノートの表示画面で画面をタップしても、Galaxy Notes編集画面を表示できます。
- 2 ツールバーでツールを選択してノートを編集
- 3 [保存]
編集したノートが保存され、ノートの表示画面に切り替わります。

作成したノートを確認する

- 1 Galaxy Notes一覧画面→確認するノートをタップ

Galaxy Notesのメニューを利用する

Galaxy Notes一覧画面／Galaxy Notes編集画面で「 : 」をタップするとメニュー項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

Galaxy Store

Galaxy Storeを利用する

Galaxy Storeを利用して、おすすめの豊富なアプリケーションを簡単にダウンロードできます。一部の機能を利用するにはGalaxyアカウントを設定する必要があります(▶P.29)。

- 1 アプリ一覧画面で[Galaxy Store]
 - ・初めて起動したときは、利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、「開始」をタップしてください。
 - ・更新画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作し、新しいバージョンに更新してください。
- 2 利用したいアプリケーションを検索してダウンロード
 - ・Galaxyアカウントを設定する画面が表示された場合は、画面の指示に従ってGalaxyアカウントを設定(▶P.29)してください。

memo

◎ Galaxy Storeは、国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳しくはGalaxy Storeサイト内のサポートページをご参照ください。

ボイスレコーダー

音声を録音する

1 アプリ一覧画面で [Galaxy] → [ボイスレコーダー]

ボイスレコーダー画面が表示されます。

- ・「リスト」*をタップすると、録音ファイル一覧画面に切り替えられます。「<」をタップするとボイスレコーダー画面に戻ります。
※録音ファイルがある場合のみ表示されます。

2 [●]

録音を開始されます。

録音を一時停止／再開するには「■」／「●」をタップ、録音をキャンセルするには「>」[破棄]と操作します。

また、録音中の音声にブックマークを追加するには「ブックマーク」をタップします。

- ・ボイスレコーダー画面で「:」→[設定]→[録音中は着信をブロック]と操作すると、録音中はすべての着信をブロックします。

3 [■] → ファイル名を入力 → [保存]

録音した音声保存され、録音ファイル一覧画面が表示されます。

音声を再生する

1 録音ファイル一覧画面 → 再生したいファイルをタップ

- ・再生を一時停止するには「■」をタップします。
- ・繰り返す開始位置と終了位置でそれぞれ「繰り返し」をタップすると、その間の録音を繰り返します。
- ・「速度」をタップして、表示されたスライダーをドラッグすると、再生速度を設定できます。
- ・「無音部分をスキップ」をタップすると、録音した音声の無音の部分を飛ばします。
- ・「◀」／「▶」をタップすると、再生位置を変更できます。

ボイスレコーダーのメニューを利用する

録音ファイル一覧画面で「:」をタップするとメニュー項目が表示され、録音ファイルの共有などの操作が行えます。

辞書

辞書を利用する

辞書を利用して語句を検索できます。本製品は辞書データをダウンロードして利用できます。

1 アプリ一覧画面で [Galaxy] → [辞書]

辞書画面が表示されます。

- ・初めて起動したときは、「辞書データのダウンロードおよびインストール」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 キーワード入力欄に検索したい語句を入力

単語の一覧が表示されます。

3 単語一覧で確認したい語句をタップ

選択した語句の意味が表示されます。

- ・「すべて」などのタブをタップすると表示を切り替えられます。
- ・単語帳を作成するには「+」→[+] → 単語帳名を入力 → [OK] と操作します。
- ・表示中の語句を単語帳に登録するには、「▲」 → [▲] → 単語帳を選択 → [保存] と操作します。

辞書のメニューを利用する

辞書画面で「■」／「:」をタップするとメニュー項目が表示され、単語帳の管理や検索履歴の表示、アプリの設定などの操作が行えます。

NFC／おサイフケータイ[®]

おサイフケータイ[®]とは

おサイフケータイ[®]とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCaを含む非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R/W）機能、機器間通信機能などが本製品でご利用いただけます。

おサイフケータイ[®]を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービス提供会社のおサイフケータイ[®]対応アプリをダウンロードする必要があります。

おサイフケータイ[®]対応サービスのご利用にあたっては、本製品に搭載されたFeliCaチップまたはSIMへ、サービスのご利用に必要なデータを書き込む場合があります。

なお、ご利用にあたっては、J:COM Webサイトをあわせてご参照ください。

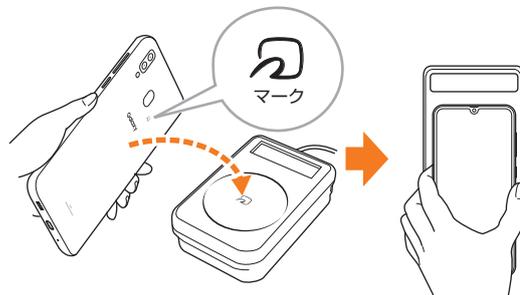
おサイフケータイ[®]のご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ[®]対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ[®]のロックをおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ[®]をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ[®]をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ[®]対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ[®]の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内またはSIM内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ[®]対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ[®]対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。

- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ[®]がご利用いただけないことがあります。
- おサイフケータイ[®]対応アプリ起動中は、おサイフケータイ[®]によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。

リーダー／ライターとデータをやりとりする

① マークをリーダー／ライターにかざすだけでFeliCaチップ内またはSIM内のデータをやりとりできます。



- ① マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようご注意ください。
- ① マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- ① マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- ① マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、① マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- ① マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

memo

- ◎ おサイフケータイ[®]対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
- ◎ 本製品の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用できません。その場合は充電後に一度本製品の電源を入れることでご利用になれます。
- ◎ 「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定している場合はご利用いただけません。

おサイフケータイ[®]を設定する

おサイフケータイ[®]のロックや、NFCのReader/Writer、P2P機能のオン/オフを設定します。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[NFC/おサイフケータイ 設定]

NFC/おサイフケータイ 設定画面が表示されます。

2 NFC/おサイフケータイ ロック	▶P.69 「おサイフケータイ [®] の機能をロックする」
Reader/Writer, P2P	▶P.69 「Reader/Writer, P2P機能をオンにする」
Android Beam	P2P機能を利用して、他の対応機器との間でウェブページや連絡先などのコンテンツを送受信できます。
NFC/おサイフケータイ ロック No.変更	「NFC/おサイフケータイ ロック」のロックNo.を変更します。
タップ&ペイ	NFCを用いた決済サービスの有効/無効を設定します。



◎ 「おサイフケータイ」アプリの「」からもNFC/おサイフケータイ 設定画面を表示することができます。

おサイフケータイ[®]の機能をロックする

「NFC/おサイフケータイ ロック」を設定すると、おサイフケータイ[®]対応サービスの利用を制限できます。

- ・ おサイフケータイ[®]のロックは、端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[NFC/おサイフケータイ 設定]

NFC/おサイフケータイ 設定画面が表示されます。

2 [NFC/おサイフケータイ ロック]→ をタップして にする

3 ロックNo. (パスワード)を入力→[OK]

おサイフケータイ[®]の機能がロックされ、ステータスバーにが表示されます。

「NFC/おサイフケータイ ロック」を解除する

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[NFC/おサイフケータイ 設定]

NFC/おサイフケータイ 設定画面が表示されます。

2 [NFC/おサイフケータイ ロック]→ をタップして にする

3 ロックNo. (パスワード)を入力→[OK]

「NFC/おサイフケータイ ロック」が解除されます。



- ◎ 「NFC/おサイフケータイ ロック」を設定中に電池が切れると、「NFC/おサイフケータイ ロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。充電が切れた場合は、充電後に「NFC/おサイフケータイ ロック」を解除してください。
- ◎ 「NFC/おサイフケータイ ロック」のロックNo.とFeliCaチップ内のデータは、本製品を初期化しても削除されません。
- ◎ ロックNo.はSIMに保存され、本製品から取り外してもSIM内に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「各種暗証番号/PINコードについて」(▶P.21)をご参照ください。
- ◎ ロックNo.を変更するには、NFC/おサイフケータイ 設定画面で「NFC/おサイフケータイ ロックNo.変更」→現在のロックNo.を入力→新しいロックNo.を入力→もう一度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作します。

Reader/Writer, P2P機能をオンにする

NFCリーダー/ライター、P2P機能を利用するには、「Reader/Writer, P2P」を有効にする必要があります。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[NFC/おサイフケータイ 設定]

NFC/おサイフケータイ 設定画面が表示されます。

2 「Reader/Writer, P2P」の をタップして にする

NFCのReader/Writer, P2P機能がオンになります。



- ◎ 「Reader/Writer, P2P」をオンにするとAndroid Beamもオンになります。Android Beamをオンにすると、NFC搭載機器との間で、ウェブページやYouTubeのURL、連絡先などを共有することができます。
- ◎ 非接触ICカード機能は、NFCのReader/Writer, P2P機能のオン/オフにかかわらず利用できます。
- ◎ 「NFC/おサイフケータイ ロック」を設定中は、NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにできません。

Android Beam機能をオンにする

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[NFC/おサイフケータイ 設定]

2 「Android Beam」の をタップして にする

NFCのAndroid Beam機能がオンになります。



- ◎ 非接触ICカード機能は、NFCのAndroid Beam機能のオン/オフにかかわらず利用できます。

Androidビームでデータを送信／受信する

NFCを搭載したAndroid機器との間でAndroid Beamを利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本製品で撮影した静止画や動画を送ったり受け取ったりすることができます。

- データを送信／受信するにはあらかじめNFCのReader/Writer, P2P機能をオンにしてください(▶P.69「Reader/Writer, P2P機能をオンにする」)。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

■ データを受信する

1 送信側の機器でデータの送信操作を行う

2 送信側の機器と マーク(▶P.68)を向かい合わせる

静止画や動画、音楽などのデータを受信した場合は、ステータスバーに  が表示されることがあります。ステータスバーを下にスライド→[Beam完了]と操作すると、受信データに対応したアプリが起動します。画面の指示に従って操作してください。

■ データを送信する

例：Android BeamでウェブページのURLを送信する場合

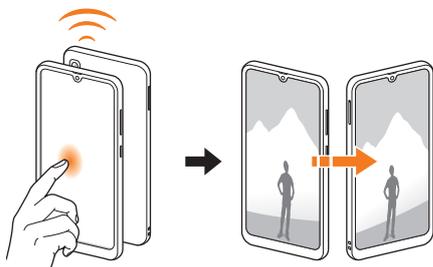
1 ホーム画面で →送信するウェブページを開く

2 受信側の機器と マーク(▶P.68)を向かい合わせる

表示されている画面が小さく表示され、「Beamで共有するにはタッチしてください。」と表示されます。

3 小さく表示された画面をタップ

ウェブページのURLが送信されます。



memo

- ◎ アプリケーションによってはAndroidビームをご利用になれません。
- ◎ 通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度向かい合わせてください。

NFC/FeliCaに対応したサービスを利用する

「おサイフケータイ」アプリから対応サービスを利用できます。

1 アプリ一覧画面で [Galaxy] → [おサイフケータイ]

サービス一覧画面が表示されます。

- 初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいサービスを選択

サービスに対応したアプリをダウンロードしてから、またはサービス紹介サイトから、画面の指示に従って操作してください。

タップ&ペイ

おサイフケータイ®対応サービスでの決済カードの選択ができます。

1 アプリ一覧画面で [設定] → [接続] → [NFC／おサイフケータイ 設定] → [タップ&ペイ]

2 利用したいサービスを選択

利用したい決済カードを選択してください。

時計

時計を利用する

アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

1 アプリ一覧画面で[時計]

時計画面が表示されます。

2 各機能に切り替える

画面下部のタブをタップすると各機能に切り替えられます。

アラームを利用する

1 時計画面→「アラーム」タブ

アラーム一覧画面が表示されます。

2 [+]

・設定済みのアラームをタップすると編集できます。

3 各項目を設定・入力

・「スヌーズ」をオンにすると、設定した時間の経過後にアラーム画面の表示とアラーム鳴動で再通知されます(スヌーズとは、いったんアラームを停止しても、しばらくするとアラームが鳴るようにする機能です)。

4 [保存]

作成したアラームが表示されます。

・をタップするとに変わり、アラームがオフになります。

memo

- ◎ アラームを削除するには、アラーム一覧画面→削除したいアラームをロングタッチ→[削除]と操作します。
- ◎ 通話中にアラーム設定時刻になると、受話口/スピーカー(レシーバー)とスピーカーからアラーム音が鳴ります。バイブレータを設定している場合はバイブレータが振動します。

アラームを止める

設定した時刻になるとアラーム画面や「アラーム」ウィンドウが表示され、設定した種類・音量でアラームが鳴ります。画面消灯時または画面ロック中にはアラーム画面が表示され、その他の操作中には「アラーム」ウィンドウが画面上部にポップアップ表示されます。

1 アラーム画面の場合は「解除」を、表示される円の外までドラッグ/スライド

- ・「アラーム」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップしてください。
- ・スヌーズをオンにしたアラームの場合は、「スヌーズ」をタップすることでスヌーズを設定できます。

memo

- ◎ アラーム画面の場合、アラーム鳴動中に[(電源キー)/音量キーを押す、または「アラーム」ウィンドウが表示された場合、「アラーム」ウィンドウを左右いずれかにフリックするとアラームを停止できます。スヌーズを設定したアラームの場合は、スヌーズが設定されます。

世界時計を利用する

登録した都市/国の日付と時刻を一覧で確認できます。

1 時計画面→「世界時計」タブ

世界時計画面が表示されます。

2 [+]

3 追加したい都市をタップ→[追加]

- ・→都市をタップ→[追加]と操作すると、現在地を追加できます。
- ・「都市を検索」欄に追加したい都市を入力→都市をタップ→[追加]と操作しても、都市を追加できます。

memo

- ◎ 追加した都市を削除するには、世界時計画面→削除したい都市をロングタッチ→[削除]と操作します。

ストップウォッチを利用する

1 時計画面→「ストップウォッチ」タブ

2 [開始]

測定が開始されます。

・ラップタイムを計測するには「ラップ」をタップします。

3 [中止]

測定を再開するには「再開」、測定をやり直すには「リセット」をタップします。

タイマーを利用する

1 時計画面→「タイマー」タブ

2 時間/分/秒をタップ→時間を設定→[開始]

タイマーが開始されます。カウントダウンが終了するとタイムアップ画面や「タイマー」ウィンドウが表示され、アラームが鳴ります。画面消灯時または画面ロック中にはタイムアップ画面が表示され、その他の操作中には「タイマー」ウィンドウが画面上部にポップアップ表示されます。

- ・タイマーを停止するには「一時停止」、タイマーを終了するには「キャンセル」をタップします。
- ・一時停止中に「再開」をタップするとタイマーを再開できます。

3 タイムアップ画面の場合は「解除」を、表示される円の外までドラッグ/スライド

- ・「タイマー」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップするか、または「タイマー」ウィンドウを左右いずれかにフリックしてください。
- ・タイムアップ画面または「タイマー」ウィンドウの「リスタート」をタップすると、同じ設定でもう一度カウントダウンを開始します。

memo

- ◎ マナーモード設定中は、アラームが鳴りません。
- ◎ タイムアップ画面でアラーム鳴動中に[(電源キー)/音量キーを押すとアラームを停止できます。

S Health

S Healthを利用する

歩数計を使用して運動の管理を行ったり、消費カロリーや睡眠などの記録、健康管理をサポートします。

- ・サーバー上にデータをバックアップするには、Galaxyアカウントの設定が必要です。Galaxyアカウントの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください(▶P.29)。

1 アプリ一覧画面で[Galaxy]→[S Health]

- ・S Health画面が表示されます。
- ・初めて起動したときは、「S Healthへようこそ」画面が表示されます。画面の指示に従って、操作してください。

2 アイテムをタップ

- ・S Health画面で「」をタップすると、マイページが表示されます。
- ・S Health画面で「アイテムを管理」をタップすると、表示するアイテムを追加することができます。

memo

- ◎ 利用方法などの詳細については、S Health画面で[:]→[お問い合わせ]と操作してください。
- ◎ 目標摂取カロリーは、お客様が入力したプロフィールを元に基礎代謝量(BMR)を計算して表示されます。個人の年齢、身体組成、必要栄養素によって目標摂取カロリーは異なりますので、数値は目安としてご利用ください。

Androidアプリ

Google Playを利用する

Google Playを利用すると、便利なアプリケーションやゲームに直接アクセスでき、本製品にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションや本製品と互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

- ・Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です(▶P.29)。
- ・ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものや有料のものがあり、Google Playのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「Google Playヘルプ」(▶P.72)でご確認ください。

アプリケーションを検索し、インストールする

1 アプリ一覧画面で[Play ストア]

- ・Google Play画面が表示されます。
- ・利用規約に関する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 アプリケーションを検索→インストールしたいアプリケーションをタップ

カテゴリなどから検索してアプリケーションをタップすると、アプリケーションの情報画面が表示されます。

3 説明やレビューなどの情報を確認→画面の指示に従って購入／インストール

- ・ダウンロード・インストールが開始されます。
- ・有料アプリケーションを購入する場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。支払い方法の設定と支払いに使用するクレジットカード情報を登録してください。

■ 有料のアプリケーションを購入するときは

アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- ・アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとのアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■ Google Playヘルプ

Google Playについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、[≡]→[ヘルプとフィードバック]と操作します。

アプリケーションを管理する

インストールされたアプリケーションを表示したり、設定を調整したりできます。多くのアプリケーションにインストールを補助するウィザードが付属しています。

提供元不明のアプリケーションのインストール

提供元不明のアプリケーションをインストールする前に、本製品の設定でインストールを許可する必要があります。インストールするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いの端末と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみインストールしてください。

1 アプリ一覧画面で [設定] → [生体認証とセキュリティ] → [不明なアプリをインストール]

2 インストールで利用するアプリを選択 → [この提供元を許可]

- が になります。

インストールされたアプリケーションを削除する

インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

- アプリケーションによっては削除できないものもあります。

1 アプリ一覧画面で [設定] → [アプリ]

2 削除するアプリケーションをタップ

3 [削除] → [OK]

memo

- ◎ Google Playなどからダウンロード、インストールしたアプリケーションはすべてアンインストールすることができます。
- ◎ アプリケーション内に保存されているデータを消去する場合は、アプリ一覧画面で [設定] → [アプリ] → データを消去するアプリケーションをタップ → [ストレージ] → [データを消去] → [OK] と操作します。
- ◎ アプリケーションのキャッシュを消去する場合は、アプリ一覧画面で [設定] → [アプリ] → キャッシュを消去するアプリケーションをタップ → [ストレージ] → [キャッシュを消去] と操作します。

ファイル管理

ファイル管理	76
本製品の保存領域について	76
microSDメモリカードを利用する.....	76
USBケーブルでパソコンと接続する.....	78
MIDI対応機器と接続する	78
マイファイルを利用する	79
Smart Switchを利用する	80
Galaxyアカウントを利用してサーバー上にバックアップする.....	80

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

memo

- ◎ アプリケーションによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品にセットすることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。また、連絡先などをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

- ・ microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・ 本製品はmicroSDメモリカード(最大2GB)/microSDHCメモリカード(最大32GB)/microSDXCメモリカード(最大512GB)に対応しています。対応のmicroSDメモリカード/microSDHCメモリカード/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、J:COM Webサイトを参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける/取り外す

microSDメモリカードの取り付け/取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

また、クリアケース(試供品)を装着している場合は、取り外してください。

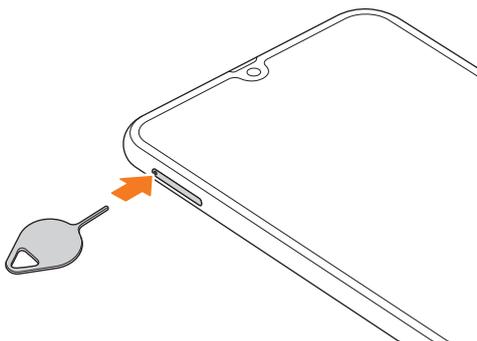
- ・ 取り付け/取り外しの際に無理な力を加えないでください。

microSDメモリカードを取り付ける

1 SIM取り出し用ピン(試供品)の先端をSIM / microSDメモリカードトレイのトレイジェクトホールにまっすぐ差し込む

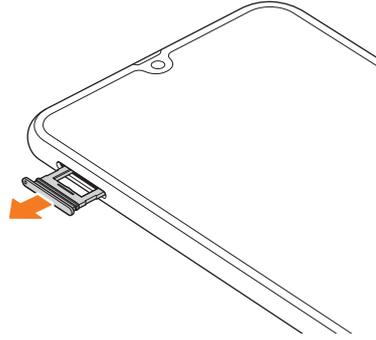
SIM / microSDメモリカードトレイが少し出ます。

- ・ まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。



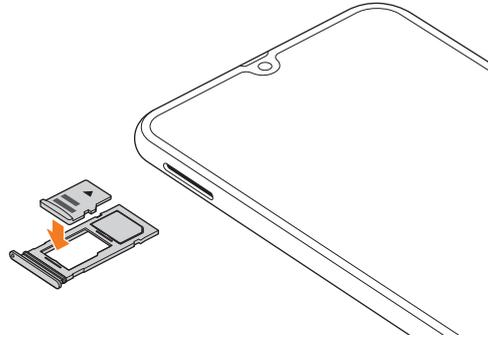
2 SIM / microSDメモリカードトレイをまっすぐ引き出す

- ・ SIM / microSDメモリカードトレイの表裏を逆にすると、SIMが落下するおそれがあります。



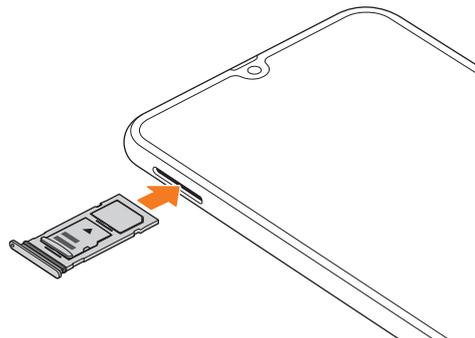
3 microSDメモリカードの端子(金属)部分を下にしてSIM / microSDメモリカードトレイにはめこむ

- ・ SIM / microSDメモリカードトレイにmicroSDメモリカードが正しくはめこまれていることを確認してください。正しくはめこまれていないと、トレイを差し込んだときにmicroSDメモリカードが本体との間に挟まれるおそれがあります。



4 図の向きでSIM / microSDメモリカードスロットの奥までSIM / microSDメモリカードトレイをまっすぐ差し込む

- ・ SIM / microSDメモリカードトレイの表裏を逆にすると、SIMやmicroSDメモリカードが落下するおそれがあります。



memo

- ◎ microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。

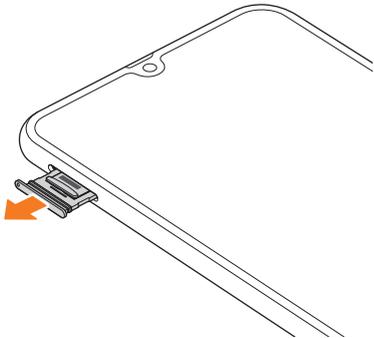
■ microSDメモリカードを取り外す

1 SIM取り出し用ピン(試供品)の先端をSIM / microSDメモリカードトレイのトレイジェクトホールにまっすぐ差し込む

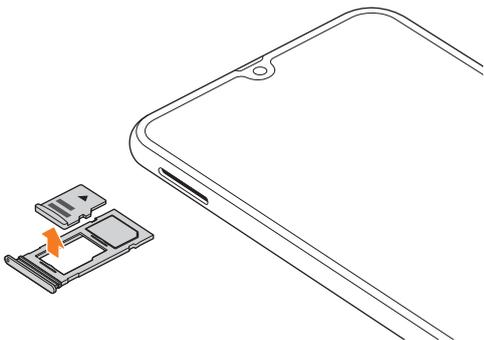
SIM / microSDメモリカードトレイが少し出ます。
・まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

2 SIM / microSDメモリカードトレイをまっすぐ引き出す

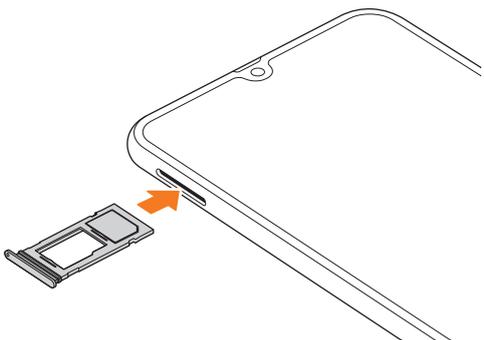
・SIM / microSDメモリカードトレイの表裏を逆にすると、SIMやmicroSDメモリカードが落下するおそれがあります。



3 SIM / microSDメモリカードトレイからmicroSDメモリカードを取り出す



4 図の向きでSIM / microSDメモリカードスロットの奥までSIM / microSDメモリカードトレイをまっすぐ差し込む



memo

- ◎ マウント解除完了前に取り外すと、故障・内部データの消失の原因となります。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ◎ マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、microSDメモリカードを挿入したまま、アプリケーション画面で[設定]→[デバイスケア]→[ストレージ]→[]→[ストレージ設定]→[外部SDカード]→[マウント]と操作してください。
- ◎ microSDメモリカードにデータを保存中は、マウント解除操作できません。
- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- ◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- ◎ microSDメモリカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。

USBケーブルでパソコンと接続する

USB Type-Cケーブルで本製品とパソコンを接続すると、メディアデバイス(MTP)モードまたはカメラ(PTP)モードでパソコンとデータのやりとりができます。

memo

- ◎ データ転送中にUSB Type-Cケーブルを取り外さないください。データが破損するおそれがあります。
- ◎ 著作権で保護されたデータはやりとりできない場合や、利用できない場合があります。

メディアデバイス(MTP)モードでパソコンと接続する

■ 本体メモリやmicroSDメモリカード内のデータをパソコンで操作する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブルで接続してメディアデバイス(MTP)モードにすると、本製品で保存しているファイルをパソコンに転送できます。

- 1 パソコンから「Galaxy A30」を開く
 - ・ 本体メモリを操作する場合は、「Phone」を開いてください。
- 2 パソコンを操作してデータを転送
- 3 転送終了後、USB Type-Cケーブルを本製品から取り外す
USB Type-CケーブルのType-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

カメラデバイスとして使用する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブルで接続してカメラ(PTP)モードにすると、本製品で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。

- ・ MTP非対応のパソコンなどにデータを転送する場合に使用します。
- 1 USB Type-Cケーブルで本製品とパソコンを接続
 - 2 通知パネルを開く→[USBをファイル転送に使用]→[USBをファイル転送に使用]→「画像を転送」が選択されていることを確認
 - 3 パソコンでデータのやりとりや、同期の操作を行う
 - 4 同期終了後、USB Type-Cケーブルを取り外す
USB Type-CケーブルのType-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

メモリの使用量を確認する

本体やmicroSDメモリカード内のメモリの合計容量と空き容量などを確認できます。

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[デバイスケア]→[ストレージ]

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットすると、microSDメモリカードに保存されているデータがすべて消去されます。

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[デバイスケア]
- 2 [ストレージ]→[⋮]→[ストレージ設定]→[外部SDカード]→[初期化]
- 3 [外部SDカードを初期化]→[完了]

MIDI対応機器と接続する

本製品とMIDI (Musical Instrument Digital Interface) 対応機器を接続ケーブルで接続すると、本製品をMIDIプレーヤーまたは、MIDI対応機器の入力ソースとして使用できます。

- 1 本製品とMIDI対応機器を接続ケーブルで接続
 - ・ 接続方法や対応する接続ケーブルについては、MIDI 対応機器の取扱説明書をご確認ください。
- 2 通知パネルを開く→[USBをファイル転送に使用]→[USBをファイル転送に使用]→「MIDI」を選択する
- 3 接続した機器に応じて本製品または接続した機器を操作
- 4 終了後、接続ケーブルを取り外す

マイファイルを利用する

本体に保存されている静止画や動画、音楽や文書などのデータを表示・管理できます。

1 アプリ一覧画面で [Galaxy] → [マイファイル]

カテゴリー一覧画面が表示されます。

2 利用したいカテゴリをタップ

フォルダ／ファイル一覧画面が表示されます。

- ・「」をタップするとカテゴリー一覧画面に戻ります。「」をタップすると1つ上の階層に移動します。

3 表示／再生したいファイルをタップ

選択したファイルが表示／再生されます。

memo

- ◎ 「Galaxyクラウドドライブ」を利用するにはGalaxyアカウントへのサインインが必要です。
- ◎ 「Googleドライブ」を利用するにはGoogleアカウントへのサインインが必要です。

マイファイルのメニューを利用する

カテゴリー一覧画面、フォルダ／ファイル一覧画面で「」をタップすると、以下の項目が表示されます。

編集 ^{※1}	選択したフォルダ／ファイルに対して、以下の操作を行えます。 <ul style="list-style-type: none">・ 移動・ コピー・ 詳細・ 削除・ 名前を変更・ ショートカットを追加・ セキュリティフォルダに移動・ 圧縮
共有 ^{※1}	選択したフォルダ／ファイルを共有します。データによっては共有する方法(アプリ)を指定する必要があります。
フォルダ作成 ^{※1}	フォルダを作成します。
並べ替え ^{※1}	ファイル／フォルダ一覧の表示順を設定します。
最近使用したファイルを消去 ^{※2}	「最近使用したファイル」の履歴を消去します。
ストレージの分析	内部ストレージ、外部SDカードやGoogleドライブなどの使用状況を確認し、重複ファイルや使用していないファイルを削除します。
設定	隠しファイルを表示／非表示などを設定します。
お問い合わせ ^{※2}	Galaxy Membersに移動します。 <ul style="list-style-type: none">・ Galaxy Membersアプリをアンインストールすると、「お問い合わせ」は表示されなくなります。

※1 フォルダ／ファイル一覧画面にのみ表示されます。

※2 カテゴリー一覧にのみ表示されます。

本体内のデータをバックアップする

マイファイルを利用して、本体内のメモリのデータをバックアップできます。

■ 例：カメラで撮影したデータをバックアップする

ここでは、本製品の「カメラ」アプリで撮影し、本体内のメモリに保存されているデータをバックアップする方法を説明します。

1 アプリ一覧画面で [Galaxy] → [マイファイル]

2 [内部ストレージ] → [DCIM] → [Camera]

3 バックアップするデータをロングタッチしてチェックを入れる → [コピー]

4 コピー先を選択 → [ここにコピー]

memo

- ◎ バックアップしたデータを本体に戻す場合は、バックアップデータの保存場所からデータを元の場所にコピーします。

■ 本体内の主なデータ保存場所

データの種類	データ保存場所
カメラで撮影したデータ	内部ストレージ > DCIM/Camera
ブラウザから保存した画像などのデータ	内部ストレージ > Download

Smart Switchを利用する

Smart Switchを利用して、連絡先や音楽、静止画、動画などのデータを本製品と同期したり、本製品のソフトウェアを更新したりできます。

- Smart SwitchはSmart Switchのホームページからダウンロードします。ダウンロードや使いかたの詳細については、Smart Switchのホームページをご参照ください。<パソコンから><https://www.galaxymobile.jp/apps/smart-switch/>

memo

- ◎ 以前のデバイスから、データ移行用試供品(Micro USBケーブル(試供品)およびOTG対応USB変換アダプタ(試供品))を使って接続する方法については、同梱の「データ移行用試供品取扱説明書」を参照ください。

パソコンと接続してSmart Switchを起動する

- 1 USB Type-Cケーブルで本製品とパソコンを接続
- 2 通知パネルを開く→[USBをファイル転送に使用]→[USBをファイル転送に使用]→「ファイルを転送」が選択されていることを確認
- 3 パソコンでSmart Switchを起動する
ポップアップウィンドウが表示されます。

memo

- ◎ データを転送中にUSB TypeCケーブルを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- ◎ データを転送する前に十分にバッテリー残量があることを確認してください。

Wi-Fi Directで接続してSmart Switchを起動する

Wi-Fi Directで接続することで、ワイヤレスでデータを移行することができます。

例：以前のデバイスからデータを移行する

- 1 以前のデバイスのSmart Switchを起動する
 - アプリがインストールされていない場合は、PlayストアやGalaxy Storeからダウンロードしてください。
- 2 本製品のアプリ一覧画面で[設定]→[アカウントとバックアップ]→[Smart Switch]
 - 利用規約に関する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 3 データ移行する2つのデバイスを近づける
- 4 以前のデバイスで[データを送信]→[ワイヤレス]
 - デバイスにより表示や手順が異なる場合があります。
- 5 本製品で[データを受信]→[ワイヤレス]
- 6 画面の指示に従って操作する

Galaxyアカウントを利用してサーバー上にバックアップする

Galaxyアカウントが必要です。また、無線LAN (Wi-Fi[®]) 機能でWi-Fi[®]ネットワークに接続しておく必要があります。

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[アカウントとバックアップ]→[バックアップと復元]→[データをバックアップ]
 - Galaxyアカウントを設定する画面が表示された場合は、画面の指示に従ってGalaxyアカウントを設定(▶P.29)してください。
- 2 バックアップ対象にチェックを入れる
- 3 [バックアップ]

memo

- ◎ バックアップしたデータを復元するには、アプリ一覧画面で[設定]→[アカウントとバックアップ]→[バックアップと復元]→[データを復元]と操作します。

データ通信

Bluetooth[®]機能	82
Bluetooth [®] 機能について	82
Bluetooth [®] 機能をオンにする	82
他のBluetooth [®] 機器を登録する	82
Bluetooth [®] 機能でデータを送受信する	83
無線LAN (Wi-Fi[®])機能	83
Wi-Fi [®] 機能を利用する	83
Wi-Fi [®] 機能をオンにする	83
Wi-Fi [®] ネットワークに接続する	84
Wi-Fi [®] 接続を切断する	84
Wi-Fi [®] の詳細設定を行う	84
Wi-Fi Directを設定する	84
テザリング機能	85
テザリングについて	85
USBテザリング機能を利用する	85
Wi-Fi [®] テザリング機能を利用する	85
Bluetooth [®] テザリング機能を利用する	85

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®デバイスと通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®デバイスのペアリング(登録)を行ってください。

memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth®機能使用時の注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との電波干渉について

本製品のBluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)対応機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetooth®デバイスと無線LAN(Wi-Fi®)対応機器は、20m以上離してください。
2. 20m以内で使用する場合は、Bluetooth®デバイスまたは無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[Bluetooth]

2 をタップして にする

memo

- ◎ Bluetooth®機能のオン/オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- ◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
- ◎ Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また、航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

他のBluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング(登録)を行います。機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[Bluetooth] Bluetooth設定画面が表示されます。

2 をタップして にする

接続可能なBluetooth®機器の検索が自動的に開始され、検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

3 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

4 画面の指示に従って操作

パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(最大16文字の半角英数字)を入力します。

memo

- ◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
- ◎ 接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、「スキャン」をタップして、機器を再検索します。

パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するとき、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、最大16桁の半角英数字を入力できます。

memo

- ◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- ◎ 接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[Bluetooth]

2 をタップして にする

■ 他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「OK」をタップまたはパスキーを入力し、Bluetooth®機器を認証します。

ペアリングを解除する

1 Bluetooth設定画面→ペアリング済みのBluetooth®デバイス名の[]→[ペアリングを解除]

Bluetooth®機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにし、相手のBluetooth®機器とペアリングを行ってください。

Bluetooth®機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth®機器に送信できます。

- 送信は各アプリケーションの「共有」などのメニューから行ってください。

Bluetooth®機能でデータを受信する

1 ファイル転送画面が表示されたら→[承認]

ステータスバーにが表示され、データの受信が開始されます。

通知パネルで受信状態を確認できます。

無線LAN (Wi-Fi®)機能

Wi-Fi®機能を利用する

家庭内で構築した無線LAN (Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN親機 (Wi-Fi®ネットワーク) をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN (Wi-Fi®)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[Wi-Fi]

2 をタップして にする

Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。

Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

- ◎ Wi-Fi®機能がオンのときでもデータ通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。また、Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にデータ通信に切り替わります。
- ◎ Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、お使いの本製品の位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi® ネットワークに接続する

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[Wi-Fi]
Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワーク一覧が表示されます。
- 2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]
 - セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)*を入力し、「接続」をタップします。
※パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 - 接続が完了すると、ステータスバーに  が表示されます。

memo

- ◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
- ◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用にできない場合があります。

Wi-Fi® ネットワークを手動で追加する

- 1 Wi-Fi設定画面で[ネットワークを追加]
- 2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワーク名を入力
- 3 セキュリティを選択
必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。
- 4 [保存]

memo

- ◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

静的IPを使用して接続する

静的IPアドレスを使用してWi-Fi®ネットワークに接続するように設定できます。

- 1 Wi-Fi設定画面で接続するWi-Fi®ネットワークをタップ→[詳細設定]→[IP設定]欄をタップ→[静的]
設定項目が下に表示されます。
- 2 項目を選択→必要な情報を入力
静的IPアドレスを使用するには、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットワークプレフィックス長」「DNS 1」「DNS 2」の入力が必要です。
- 3 [保存]→[接続]

Wi-Fi® 接続を切断する

- 1 Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークを選択
- 2 [切断]

memo

- ◎ 切断すると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®の詳細設定を行う

自動的にWi-Fi®がONになるように設定する

Wi-Fi®を頻繁に使用する場所でWi-Fi®が自動的にONになるようにします。

- 1 Wi-Fi設定画面で[:]→[詳細設定]→「自動的にWi-FiをON」の をタップして にする

Wi-Fi®証明書をインストールする

Wi-Fi®証明書を本製品やmicroSDメモ리카ードからインストールできます。

- 1 Wi-Fi設定画面で[:]→[詳細設定]→[さらに表示]→[ネットワーク証明書をインストール]
以降の操作については、ネットワーク管理者の情報に従って設定してください。

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Direct対応デバイス同士をピア・ツー・ピア(P2P)型により相互接続し、データのやりとりができます。

- 1 接続する2台の端末両方のWi-Fi設定画面で[Wi-Fi Direct]
- 2 検索されたデバイス名を選択
検索されたデバイス側で「同意する」をタップすると、Wi-Fi Directで接続されます。

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、データ通信を通じて無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器、USB対応機器をインターネットに接続させることを言います。



◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブルで接続し、インターネットに接続することができます。

- 1 USB Type-Cケーブルで本製品とパソコンを接続
- 2 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[テザリング]
- 3 「USBテザリング」の をタップして にする



◎ Windows 7/Windows 8.1/Windows 10以外のOSでの動作は、保証していません。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をインターネットアクセスポイントとして利用できるようになります。

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[テザリング]
- 2 「Wi-Fiテザリング」の をタップして にする
 - ・ 「Wi-Fi共有」画面が表示された場合、内容をご確認のうえ、「Wi-Fi共有をON」/「Wi-Fi共有をOFF」をタップしてください。



◎ Wi-Fi®テザリング機能は電池を多く消費するため、充電しながらご利用になることをおすすめします。

Wi-Fi®テザリングを設定する

無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[テザリング]
- 2 「Wi-Fiテザリング」→[]→[Wi-Fiテザリングを設定]
- 3 ネットワーク名を入力
パソコンなど無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器に表示されるアクセスポイント名 (SSID) を入力します。
- 4 セキュリティを選択
必要に応じて、Wi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。
- 5 [保存]



- ◎ 「セキュリティ」を「オープン」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。
- ◎ 次の操作で、デバイスに接続していない場合にWi-Fi®テザリングを自動的に無効にする時間を設定できます。[]→[タイムアウト設定]と操作します。

接続を許可する機器を設定する

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[テザリング]→[Wi-Fiテザリング]
- 2 []→[許可デバイス]→[許可デバイスのみ]の をタップして にする
- 3 [追加]
- 4 接続を許可する機器の名前(デバイス名称)を入力→「MACアドレス」欄をタップ→接続を許可する機器のMACアドレスを入力→[追加]

Bluetooth®テザリング機能を利用する

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[テザリング]
- 2 「Bluetoothテザリング」の をタップして にする
 - ・ 他のBluetooth®機器から検出可能(▶P.82)になっていない場合、自動的に検出可能になります。

機能設定

機能設定	88
設定メニューを表示する	88
接続の設定をする	88
サウンドとバイブの設定をする	90
通知の設定をする	90
ディスプレイの設定をする	91
壁紙とテーマの設定をする	91
ロック画面の設定をする	92
生体認証とセキュリティの設定をする	93
アカウントとバックアップの設定をする	95
デバイスカアの設定をする	96
一般管理の設定をする	96
ユーザー補助の設定をする	97
ソフトウェア更新の設定をする	98
端末情報を表示する	98

機能設定

設定メニューを表示する

設定メニューから本製品の各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズ、セキュリティの設定、データの初期化などを行うことができます。

1 アプリ一覧画面で [設定]

設定メニュー画面が表示されます。

- ・ステータスバーを下にスライドし、通知パネルにある「」をタップしても、設定メニュー画面を表示することができます。

2 接続	▶P.88 「接続の設定をする」
サウンドとバイブ	▶P.90 「サウンドとバイブの設定をする」
通知	▶P.90 「通知の設定をする」
ディスプレイ	▶P.91 「ディスプレイの設定をする」
壁紙とテーマ	▶P.91 「壁紙とテーマの設定をする」
ロック画面	▶P.92 「ロック画面の設定をする」
生体認証とセキュリティ	▶P.93 「生体認証とセキュリティの設定をする」
アカウントとバックアップ	▶P.95 「アカウントとバックアップの設定をする」
Google	Googleのアカウントやサービスを設定します。
高度な機能	▶P.38 「高度な機能の使いかた」
デジタルウェルビーイング	毎日の端末の利用習慣を確認できます。
デバイスケア	▶P.96 「デバイスケアの設定をする」
アプリ	本製品にインストールしたアプリケーションの確認や設定などを行います。
一般管理	▶P.96 「一般管理の設定をする」
ユーザー補助	▶P.97 「ユーザー補助の設定をする」
ソフトウェア更新	▶P.98 「ソフトウェア更新の設定をする」
端末情報	▶P.98 「端末情報を表示する」

接続の設定をする

1 設定メニュー画面→[接続]

2 Wi-Fi	Wi-Fi®機能のオン/オフを切り替えます。 ・「Wi-Fi®機能をオンにする」(▶P.83)
Bluetooth	Bluetooth®機能のオン/オフを切り替えます。 ・「Bluetooth®機能をオンにする」(▶P.82)
NFC / おサイフケータイ 設定	本製品を対応機器にタッチさせて、データを交換したり、モバイル決済サービスを利用したりできるように設定します。 ・「おサイフケータイ®を設定する」(▶P.69)
機内モード	▶P.88 「機内モード」
モバイルネットワーク	▶P.89 「モバイルネットワーク」
データ使用量	▶P.88 「データ使用量」
テザリング	▶P.89 「テザリング」
その他の接続設定	▶P.89 「その他の接続設定」

データ使用量

期間ごとやアプリケーションごとのモバイルデータ通信使用量(目安)を確認できます。また、アプリケーションがバックグラウンドで行うデータ通信や自動同期を制限したり、特定のWi-Fi®ネットワークを利用できないように設定したりできます。

■ データ通信を設定する

1 設定メニュー画面→[接続]→[データ使用量]

2 「モバイルデータ」の をタップして にする

■ データセーバーを設定する

1 設定メニュー画面→[接続]→[データ使用量]→[データセーバー]

2 をタップして にする

- ・バックグラウンドでのデータ通信が制限されます。
- ・「データセーバーON時にデータ使用を許可」をタップすると、データ通信の制限の対象外とするアプリを設定できます。

■ バックグラウンドでのモバイルデータの使用を禁止する

1 設定メニュー画面→[接続]→[データ使用量]

2 [モバイルデータ使用量]→目的のアプリをタップ

3 「バックグラウンドデータの使用を許可」の をタップして にする

■ 指定したモバイルデータ使用量を超えたときに警告・制限させる

1 設定メニュー画面→[接続]→[データ使用量]

2 [モバイルデータ使用量]→[]

3 「データ制限を設定」の をタップして にする

- ・使用量を変更するには、「データ制限」をタップし、数値を入力→[設定]と操作します。

memo

- ◎ 「データ制限を設定」をオンにしていない場合でも、指定したデータ使用量を超えたときに警告が表示されます。

機内モード

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN (Wi-Fi®) 機能、Bluetooth®機能)がすべてオフになります。

1 設定メニュー画面→[接続]→[機内モード]

2 をタップして にする

 をタップして  にすると、機内モードはオフになります。

機内モードがオンの場合でも、無線LAN (Wi-Fi®) 機能やBluetooth®機能を、設定メニューからの操作、またはクイック設定ボタンの操作(▶P.35)で再度オンにすることができます。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

テザリング

Wi-Fi[®]、Bluetooth[®]、およびUSBテザリングを設定します。

1 設定メニュー画面→[接続]→[テザリング]

2 Wi-Fiテザリング	▶P.85 「Wi-Fi [®] テザリング機能を利用する」
Bluetoothテザリング	▶P.85 「Bluetooth [®] テザリング機能を利用する」
USBテザリング	▶P.85 「USBテザリング機能を利用する」

モバイルネットワーク

データ通信や海外利用などのネットワークを利用できるように設定します。

1 設定メニュー画面→[接続]→[モバイルネットワーク]

2 ローミング設定	海外での利用に関する設定を行います。
APN	APNを設定します。

その他の接続設定

1 設定メニュー画面→[接続]→[その他の接続設定]

2 近くのデバイスをスキャン	接続可能なデバイスが近くにあるかをスキャンするように設定します。
印刷	対応する印刷サービスを設定します。
MirrorLink	本製品で表示している画面を車のディスプレイに表示することで、ハンドルを握ったまま本製品を使用することができます。 ・ USB Type-Cケーブルで本製品を車に接続して、MirrorLink専用のアプリケーションを使用します。 ・ 車のシステムがMirrorLink機能に対応している必要があります。
VPN	▶P.89 「VPNを設定する」
プライベートDNS	プライベートDNSを設定します。
イーサネット	Ethernetネットワークへの接続やEthernetデバイスを設定します。

■VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク(VPN: Virtual Private Network)は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

- ・ 本製品は以下の種類のVPNに対応しています。
 - PPTP
 - L2TP/IPSec PSK
 - L2TP/IPSec RSA
 - IPSec Hybrid RSA
 - IPSec Xauth PSK
 - IPSec Xauth RSA
 - IPSec IKEv2 PSK
 - IPSec IKEv2 RSA

■VPNを追加する

1 設定メニュー画面→[接続]→[その他の接続設定]→[VPN]

2 [:]→[VPNプロファイルを追加]

- ・ 注意画面が表示された場合は、「OK」をタップし、画面の指示に従って画面ロック解除方法を設定します。設定方法については、「画面ロックの種類を設定する」(▶P.92)をご参照ください。

3 VPN設定の各項目を設定→[保存]

VPN設定画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

■VPNに接続する

1 設定メニュー画面→[接続]→[その他の接続設定]→[VPN]

VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに  が表示されます。

■VPNを切断する

1 ステータスバーを下にスライド→VPN接続中を示す通知をタップ→[切断]

■VPNを編集する

1 VPN設定画面→編集するVPNの「」をタップ

2 各項目を編集→[保存]

■VPNを削除する

1 VPN設定画面で削除するVPNの「」をタップ→[削除]

サウンドとバイブの設定をする

1 設定メニュー画面→[サウンドとバイブ]

2 サウンドモード	サウンドモードの設定を「サウンド」／「バイブ」／「サイレント」から切り替えます。
着信時にバイブ	電話の着信時に、着信音に加えてバイブレーション動作もするかどうかを設定します。 ・ マナーモード(バイブ/サイレント)に設定している場合は、本機能は設定できません。
着信音	電話の着信音を設定します。
バイブパターン	バイブレーションのパターンを設定します。
通知音	標準通知音を設定します。
音量	▶P.90「各種音量を調節する」
音量キーでメディアを調整	メディアを再生していない場合でも、音量キーでメディアの音量を調整するかを設定します。
システムサウンド	タッチ音、画面ロック音や充電時の音などシステム音を有効にするかどうかを設定します。
サウンドの詳細設定	「音質とエフェクト」の設定を行い、お好みの音質にカスタマイズしたり、サウンドエフェクトなどを設定します。
Emergency alerts	緊急速報メールを設定します。

マナーモードを設定する

マナーモード(バイブ/サイレント)を設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 通知パネルを開く

2 「」をタップし、「」／「」に設定する

memo

- ◎ 音量キーの下側を押すと、着信音量が1段階下がります。着信音量を下げることで、バイブにすることもできます。
- ◎ マナーモード(バイブ/サイレント)に設定中でも、カメラ撮影時のシャッター音や、動画再生、音楽の再生などは消音されません。

各種音量を調節する

1 設定メニュー画面→[サウンドとバイブ]→[音量]

次の項目の音量を調節します。

- ・ 着信音
- ・ メディア
- ・ 通知
- ・ システム

2 スライダを左右にドラッグして音量を調節

音量を下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

memo

- ◎ マナーモード設定中に着信音の音量を調節すると、マナーモードは解除されます。

通知の設定をする

通知を受信するアプリを選択します。

1 設定メニュー画面→[通知]

2 アプリアイコンのバッジ	通知を受信したときにバッジをアプリアイコンに表示するかどうか、件数付きで表示するかどうかを設定できます。
通知をミュート	▶P.90「通知を消音にする」
ステータスバー	ステータスバーの通知アイコンの件数や電池残量(%)表示を設定します。

memo

- ◎ 「通知」画面の最下部に最近送信した通知が表示されることがあります。「全て表示」をタップすると、通知をONにするかどうか設定できます。

通知を消音にする

選択した例外を除いて、すべての着信および通知を消音するように設定します。

1 設定メニュー画面→[通知]→[通知をミュート]

2 今すぐON	「通知をミュート」をすぐにON / OFFにします。
予定時刻にON	「通知をミュート」をON / OFFにする曜日、開始時刻と終了時刻を設定します。
例外を許可	「通知をミュート」が有効なときの例外対象を設定します。
通知を非表示	非表示について、画面のON / OFFそれぞれの状況で設定ができます。

ディスプレイの設定をする

1 設定メニュー画面→[ディスプレイ]

2 明るさ	画面の明るさを設定します。
明るさ自動調整	ディスプレイの明るさ調整を記録し、周囲の明るさが記録時と同様の場合に自動的に調整します。 ・[使用パターンをリセット]→[リセット]で明るさ調整の履歴が削除されます。
ブルーライトフィルター	画面から発するブルーライトの量を制限します。
ナイトモード	夜間でも快適に使用できるように、目に優しい暗いテーマを使用します。
画面モード	画面表示のモードやカラーバランスを設定します。
文字サイズとフォントスタイル	文字サイズやフォントスタイルなどを設定します。
画面のズーム	画面のズームを設定します。
全画面アプリ	アプリ全画面の縦横比で使用するアプリを選択します。
画面のタイムアウト	画面が自動消灯するまでの時間を設定します。
ホーム画面	ホーム画面のカスタマイズができます。
かんたんモード	▶P.33 「かんたんモードに切り替える」
ナビゲーションバー	▶P.32 「ナビゲーションバーの使いかた」
誤操作を防止	本製品が暗い場所にあるときに、ディスプレイのタッチ操作を検出しないように設定します。
タッチ感度	画面保護フィルム使用時の画面のタッチ感度を向上させます。
スクリーンセーバー	▶P.91 「スクリーンセーバーを設定する」

画面のカラーバランスを調整する

画面の色を詳細に調整できます。

- ・「ブルーライトフィルター」がオンの場合は色の調整はできません。

1 設定メニュー画面→[ディスプレイ]→[画面モード]

2 [表示を最適化]

3 「ホワイトバランス」のスライダを左右にドラッグして色を調整

- ・「暖色」側に調整すると赤みが増し、「寒色」側に調整すると青みが増します。
- ・「詳細設定」をタップすると、赤、緑、青の色ごとに、より詳細に色を調整できます。

スクリーンセーバーを設定する

充電中に表示するスクリーンセーバーのオン/オフ、種類を設定します。

1 設定メニュー画面→[ディスプレイ]→[スクリーンセーバー]

2 ○○をタップして●●にする

3 [カラー]／[フォト]／[フォトテーブル]／[フォトフレーム]

- ・「フォト」を選択した場合は、[●●]→表示する写真に関する設定にチェックを入れる→く と操作します。「フォトテーブル」または「フォトフレーム」を選択した場合は、[●●]→表示する画像が含まれるフォルダにチェックを入れる→く と操作します。
※本製品やSDカードに撮影した写真やダウンロードした画像データなどが保存されていない場合、選択できるアルバムやフォルダが表示されません。事前に、必要な画像データをご用意ください。
- ・「プレビュー」をタップすると、スクリーンセーバーをプレビュー表示できます。

壁紙とテーマの設定をする

ホーム画面やロック画面の壁紙やテーマを変更します。

1 設定メニュー画面→[壁紙とテーマ]→[壁紙]／[テーマ]／[アイコン]／[AOD]

ロック画面の設定をする

1 設定メニュー画面→[ロック画面]

2	画面ロックの種類	▶P.92「画面ロックの種類を設定する」
	Smart Lock	信頼できる条件のときに本製品の自動ロック解除を可能にするかどうかを設定します。
安全ロック設定 ^{*1}	パターンを表示	画面ロック解除時にパターンの軌跡を表示するかどうかを設定します。
	自動ロック	画面がオフになってからロックがかかるまでの時間を設定します。
	電源キーですぐにロック	⏻(電源キー)を押して画面を消灯にしたときに、すぐロックするかどうかを設定します。
	自動初期化	端末のロック解除に15回失敗すると、端末を工場出荷時の状態にリセットするかどうかを設定します。
	ネットワークとセキュリティをロック	端末がロックされている間、ネットワークおよびセキュリティに関する設定の変更をロックします。
	ロックダウンオプションを表示	Smart Lock、生体認証ロック解除、ロック画面の通知をオフにする電源キーオプションを表示します。
	Always On Display	▶P.39「Always On Displayを設定する」
	時計のスタイル	ロック画面とAlways On Displayに表示する時計のスタイルおよびカラーを選択します。
	ローミング時計	海外利用時に現在地の都市とホーム都市のタイムゾーンを両方表示するデジタル時計に変更するかどうかを設定します。
	FaceWidget	ロック画面やAlways On Displayから、役立つ情報などにすばやくアクセスできます。
	自分の連絡先情報	ロック画面に電話番号やEメールアドレスなどの情報を表示します。
	通知	ロック画面およびAlways On Displayでの通知の表示方法を設定します。
	アプリのショートカット	ロック画面から起動するアプリを選択します。
	ロック画面について	本アプリについての情報を確認します。

※1「画面ロックの種類」の設定によって、表示されない場合があります。

画面ロックの種類を設定する

1 設定メニュー画面→[ロック画面]→[画面ロックの種類]

2	スワイプ	画面を上下左右にスワイプして、画面ロックを解除します。
	パターン	ロック解除パターンを入力します。
	PIN	4桁以上の数字を入力します。
	パスワード	アルファベットを含む4文字以上の文字を入力します。
	なし	ロック画面を表示しないように設定します。
	顔認証	▶P.39「顔認証機能を利用する」
	指紋認証	▶P.39「指紋認証機能を利用する」

3 画面の指示に従って操作

■ 画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を「なし」以外に設定している場合、⏻(電源キー)を押す、または自動的に画面が消灯すると、画面ロックがかかります。

■ 画面ロックを解除する

1 ⏻(電源キー)を押して、ロック画面を表示

2 ロック画面で現在のロック解除方法を実行する

ロック解除を5回続けて失敗した場合は、画面に従って再試行してください。

memo

- ◎ ロック画面をスワイプして「緊急通報」が表示されたときに「緊急通報」をタップすると、緊急通報ができます。
- ◎ 解除パターンやPIN、パスワードの入力、顔の認証、指紋の認証に5回失敗^{*1}すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。
※1 解除パターンを3箇所以下、PIN/パスワードを3桁以下で入力した失敗、顔や指紋が正常に認識されない旨のエラーメッセージが出る場合はカウントされません。
解除パターンやPIN、パスワードを忘れた場合は、パソコンなどからFind My Mobileのホームページにアクセスし、「画面のロック解除」を実行すると画面ロックを解除できます。詳細については、Find My Mobileのホームページをご参照ください(▶P.29)。

生体認証とセキュリティの設定をする

1 設定メニュー画面→[生体認証とセキュリティ]

2 顔認証		▶P.39 「顔認証機能を利用する」
指紋認証		▶P.39 「指紋認証機能を利用する」
生体認証の優先設定		<ul style="list-style-type: none"> 優先生体認証： 優先生体認証を選択します。 画面切り替え効果： 生体認証を使用して端末のロックを解除するときに、切り替え効果を表示します。
Google Playプロテクト		お使いのアプリや端末に不正な動作がないかを定期的にチェックします。
端末リモート追跡サービス ^{※1}	アカウント追加 / (メールアドレス)	Galaxyアカウントが未登録の場合、Galaxyアカウントを登録できます。Galaxyアカウントが登録されている場合、アカウントの同期について設定できます。
	リモートコントロール	Galaxyアカウントを使用して、インターネット経由で本製品を遠隔操作できるようにするかどうかを設定します。
	Googleの位置情報サービス	Googleの位置情報サービスが、本製品の位置情報を検索できるようにするかどうかを設定します。
	リモートロック解除	PIN、パターン、またはパスワードはより安全に保管されます。そのため、ロック解除方法を忘れても、端末のロックを解除できます。
	最後に検出された位置情報を送信	バッテリー残量が一定のレベルを下回ったときに、直前の現地情報を端末リモート追跡サーバーに送信することを端末に許可します。
セキュリティアップデート		セキュリティのアップデート状態を確認したり、アップデートがあるかをチェックしたりできます。
Galaxy Pass		▶P.94 「Galaxy Passを利用する」
不明なアプリをインストール		▶P.73 「提供元不明のアプリケーションのインストール」
セキュリティフォルダ		プライベートなコンテンツおよびアプリをロックして、セキュリティを強化します。
外部SDカードを暗号化 / 外部SDカードを復号		<p>microSDメモリカードに保存されているデータを暗号化し、他の端末やパソコンで使用できないようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 暗号化を解除する場合は、設定メニュー画面→[生体認証とセキュリティ]→[外部SDカードを復号]→[外部SDカードを復号]と操作し、画面の指示に従って操作してください。

その他のセキュリティ設定	SIMカードロック設定	▶P.94 「SIMカードロックを設定する」
	パスワードを表示	パスワードの入力画面で、入力した文字を表示するかどうかを設定します。
	セキュリティポリシーを更新	セキュリティポリシーを更新して端末のセキュリティを向上します。
	デバイス管理アプリ	デバイス管理機能を表示または無効にします。
	ストレージの種類	認証情報ストレージのバックアップ先を表示します。
	セキュリティ証明書を表示	セキュリティ証明書を表示します。
	ユーザー証明書	ユーザー証明書を表示します。
	ストレージからインストール	暗号化された証明書をシステムメモリ(本体)またはmicroSDメモリカードからインストールします。
	証明書を消去	すべての証明書データとパスワードを消去します。
	強力な保護	安全なロックの種類を使用して端末を暗号化します。
トラストエージェント ^{※2}	信頼できる端末が接続されると、選択した操作を実行します。	
アプリ固定モード	端末の画面に特定のアプリを固定できるようにするかどうかを設定します。	
位置情報		▶P.95 「位置情報」
アプリの権限		アプリの権限を設定します。
診断データを送信		お客様のデバイスから診断および使用状況データをSamsungに送信することを許可するか選択します。
マーケティング情報を受信		マーケティング情報を受信するかどうかを設定します。

※1 サインインの際にID、パスワードの入力だけではなく、「Galaxy Pass」(生体認証)も利用できます。

※2 「画面ロックの種類」の設定によって、設定できない場合があります。

Galaxy Passを利用する

Galaxy Passを使うと顔認証や指紋認証などの生体認証を使ってウェブページやアプリなどで簡単にサインインできます。

- Galaxy Passを利用するにはGalaxyアカウントへのサインインが必要です。
- Galaxy Passを使ったサインインは「ブラウザ」アプリ(▶P.56)などの一部のアプリでのみ対応しています。またいくつかのウェブページは本機能に対応していない場合があります。
- Galaxy Passを利用するには下記の生体認証のいずれかを登録する必要があります。
 - 顔認証(▶P.39)
 - 指紋認証(▶P.39)

Galaxy Passを登録する

1 設定メニュー画面→[生体認証とセキュリティ]→[顔認証]／[指紋認証]

2 登録したロック解除方法を入力

3 [Galaxy Pass]

4 以降、画面の指示に従って設定

Galaxy Passを設定する

1 設定メニュー画面→[生体認証とセキュリティ]→[Galaxy Pass]

2 登録した生体認証で保護するセキュリティを解除

3 [:]→[設定]

4 各項目を設定

Galaxy Passのデータを削除する

1 設定メニュー画面→[生体認証とセキュリティ]→[Galaxy Pass]

2 登録した生体認証で保護するセキュリティを解除

3 [:]→[設定]

4 [データを削除]→[削除]

ウェブページのサインインにGalaxy Passを使用する

1 「ブラウザ」アプリでサインインしたいウェブページを開く

2 ユーザー名とパスワードを入力し、サインインする

3 「サインイン情報を保存しますか？」画面で「Galaxy Passでサインイン」にチェックを入れる→[保存]

- Galaxy Passにサインイン情報が保存され、次回からGalaxy Passに登録した生体情報を認識してサインインできます。

アプリのサインインにGalaxy Passを使用する

例：「Facebook」アプリの場合

1 アプリ一覧画面で[ソーシャル]→[Facebook]

2 アカウント名とパスワードを入力し、サインインする

3 「Galaxy Passで自動入力できるようにパスワード、Eメールアドレスを保存しますか？」画面で[保存]

- Galaxy Passにサインイン情報が保存され、次回からGalaxy Passに登録した生体情報を認識してサインインできます。

GalaxyアカウントでのサインインにGalaxy Passを使用する

1 設定メニュー画面→[生体認証とセキュリティ]→[Galaxy Pass]

2 登録した生体認証で保護するセキュリティを解除

3 [:]→[設定]

4 [Galaxyアカウント]

5 「Galaxy Passで認証」の をタップして にする

- Galaxy Passを使用してGalaxyアカウントへのサインインができます。



◎ 保存されたサインイン情報はGalaxy Pass画面で保存した情報をタップすると確認、編集、削除できます。

SIMカードロックを設定する

SIMにPIN(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.21)をご参照ください。

1 設定メニュー画面→[生体認証とセキュリティ]→[その他のセキュリティ設定]→[SIMカードロック設定]→[SIMカードをロック]

2 PINコードを入力→[OK]

電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]

PINコードを変更する

SIMのPINが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 設定メニュー画面→[生体認証とセキュリティ]→[その他のセキュリティ設定]→[SIMカードロック設定]→[SIMカードのPINを変更]

2 PINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

位置情報

位置情報のオン/オフを切り替えたり、検出方法を設定したりします。

1 設定メニュー画面→[生体認証とセキュリティ]→[位置情報]

2 をタップして にする

3 精度を向上	Wi-Fi [®] 機能やBluetooth [®] 機能を使用して、位置情報の精度を向上させます。
最近の位置情報要求	位置情報を要求したアプリを表示します。
位置情報サービス	位置情報サービスの利用を設定します。

アカウントとバックアップの設定をする

1 設定メニュー画面→[アカウントとバックアップ]

2 アカウント	▶P.95「アカウント」
バックアップと復元	▶P.95「バックアップと復元」
Galaxyクラウド	Galaxyクラウドを利用して、本製品のデータをバックアップおよび復元できます。また、以前にお使いの機器でバックアップしたデータを新しいデータで復元することもできます。さらに、データを他の端末と同期することもできます。
Smart Switch	古い端末から画像、連絡先、メッセージなどのコンテンツを転送します。USBケーブルまたはワイヤレスで転送することができます。

アカウント

本製品に登録されているアカウントを表示します。また、アカウントを追加したり、同期の設定を行います。

■ アカウントを登録する

1 設定メニュー画面→[アカウントとバックアップ]→[アカウント]→[アカウント追加]

2 追加したいアカウントの種類をタップ→画面の指示に従って操作

■ アカウントを削除する

1 設定メニュー画面→[アカウントとバックアップ]→[アカウント]

2 削除するアカウント名をタップ

3 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]

- ・パスワードの確認画面が表示されたら画面の指示に従って入力します。
- ・アカウントの種類によって、操作が異なる場合があります。



○ アカウントがオンラインサービスなどとの同期を設定できる場合は、設定メニュー画面→[アカウントとバックアップ]→[アカウント]→アカウントをタップ→[アカウントを同期]→同期する項目をオンにして、同期させない項目をオフにして設定します。

○ アカウントの種類によって、設定項目は異なります。

○ 他のアプリケーションで使用されているアカウントは、削除できない場合があります。削除するには初期化(▶P.97)が必要になります。

バックアップと復元

1 設定メニュー画面→[アカウントとバックアップ]→[バックアップと復元]

2 データをバックアップ	通話履歴や端末設定などをGalaxyアカウントを利用してバックアップします。
データを復元	Galaxyアカウントを利用してバックアップしたデータを復元します。
データのバックアップ	アプリケーションデータ、Wi-Fi [®] パスワード、その他の設定をGoogleサーバーにバックアップします。
バックアップアカウント	バックアップするGoogleアカウントを設定します。
Googleアカウント ^{※1}	Googleアカウントにバックアップする詳細内容を設定します。
自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップした設定およびデータを復元するように設定します。
外部ストレージ転送	Smart Switchを使用してデータを外部SDカードまたはUSBストレージデバイスにバックアップしたり、バックアップデータを復元したりすることができます。

※1 Googleアカウントを登録した場合のみ表示されます。

デバイスケアの設定をする

本製品のバッテリー、パフォーマンスモード、ストレージ、メモリの状態を確認したり、不正なプログラムなどから本製品を保護したりできます。

1 設定メニュー画面→[デバイスケア]

2 今すぐ最適化*1	▶P.96 「最適化機能を使用する」
バッテリー	▶P.96 「バッテリーの確認や設定をする」
ストレージ	本体メモリの空き容量などを確認できます。
メモリ	▶P.37 「起動中のアプリケーションを確認/終了する」
セキュリティ	本製品をセキュリティ脅威から保護します。

*1 表示される内容は、端末の状態によって異なります。

最適化機能を使用する

1 設定メニュー画面→[デバイスケア]

2 [今すぐ最適化]

処理の内容を一覧で表示されます。

3 [完了]

バッテリーの確認や設定をする

1 設定メニュー画面→[デバイスケア]→[バッテリー]

2 バッテリーの推定残り使用時間	電池残量の推定残り使用時間が表示されます。 ・充電中は「充電完了までの時間」が表示されます。
バッテリーの使用状況	電池使用量の詳細情報が表示されます。
パワーモード	パワーモードを設定します。 ・標準省電力モード/最大省電力モードにすると、アプリからの通知が制限される場合があります。

ストレージの確認や設定をする

本体や外部SDカード*などのストレージのデータ容量や空き容量を表示します。

また、不要なデータの削除やストレージの設定をします。

* microSDメモリカードが取り付けられているときに表示されます。

■ 不要なデータを削除する

1 設定メニュー画面→[デバイスケア]→[ストレージ]

2 [今すぐ確保]

■ microSDメモリカードのマウントを解除する

1 設定メニュー画面→[デバイスケア]→[ストレージ]

2 [⋮]→[ストレージ設定]→[▲]

・microSDメモリカードをマウントするには、[外部SDカード]→[マウント]と操作します。

一般管理の設定をする

1 設定メニュー画面→[一般管理]

2 言語とキーボード	▶P.96 「言語とキーボードを設定する」	
日付と時刻	▶P.97 「日付と時刻を設定する」	
お問い合わせ	Galaxy Membersに移動します。 ・Galaxy Membersアプリをアンインストールすると、「お問い合わせ」は表示されなくなります。	
リセット	設定をリセット	セキュリティ、言語、およびアカウント設定を除き、本製品を工場出荷時の状態にリセットします。
	ネットワーク設定をリセット	Wi-Fi®、Bluetooth®, およびその他のネットワーク設定を初期設定にリセットします。
	ユーザー補助設定をリセット	ユーザー補助設定を初期設定にリセットします。
	工場出荷状態に初期化	▶P.97 「本製品を初期化する」
	自動再起動	設定された時刻に自動的に再起動するかどうかを設定します。再起動によって本製品は最適化されます。このとき、保存されていないデータは失われます。

言語とキーボードを設定する

1 設定メニュー画面→[一般管理]→[言語とキーボード]

2 言語	言語の表示を切り替えます。	
標準キーボード	デフォルトのキーボードを設定します。	
オンスクリーンキーボード	Galaxy キーボード	▶P.42 「Galaxyキーボードの設定を行う」
	Google音声入力	音声入力の言語や不適切な語句に関する設定をします。
	キーボードを管理	使用するキーボードを管理します。
ハードウェアキーボード	オンスクリーンキーボードを表示	ハードウェアキーボードを使用中もオンスクリーンキーボードを表示します。
	キーボードショートカット	キーボードのショートカットの説明を画面に表示します。
キーボードボタンを表示	ナビゲーションバーに表示することで、キーボードをすばやく切り替えることができます。	
自動入力サービス	ユーザー名やパスワードなどの情報を記憶し、アプリでそれらの入力を求められた際に自動的に入力することができます。	
テキスト読み上げ	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。	
ポインター速度	マウス/トラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。	
メインマウスボタン	メインマウスボタンを右/左表示に設定します。	

日付と時刻を設定する

1 設定メニュー画面→[一般管理]→[日付と時刻]

2 自動日時設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正します。
タイムゾーンを選択 ^{*1}	タイムゾーンを選択します。
日付設定 ^{*1}	▶P.97 「日付/時刻を手動で設定する」
時刻設定 ^{*1}	
24時間形式を使用	オンにすると24時間表示、オフにすると12時間表示となります。

※1 「自動日時設定」がオフのときに表示されます。

■ 日付/時刻を手動で設定する

1 設定メニュー画面→[一般管理]→[日付と時刻]

2 「自動日時設定」の をタップして にする

3 [日付設定]/[時刻設定]→日付/時刻を設定→[完了]

memo

- ◎ 「日付と時刻」の「自動日時設定」がオンになっていると、ネットワークから日付や時刻、タイムゾーンが自動で設定されます(初期状態)。
- ◎ 「日付と時刻」の「自動日時設定」は、海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われな場合があります。設定メニュー画面→[一般管理]→[日付と時刻]→[タイムゾーンを選択]→設定する項目をタップして、タイムゾーンを設定することができます。

本製品を初期化する

本製品を初期状態に戻します(リセット)。この操作を行うと、ご購入後に本製品にお客様がインストールしたアプリケーションとプリセットされているアプリケーションの一部が削除されます。また、登録したデータもすべて削除されます。必ず本製品の重要なデータをバックアップしてから、リセットしてください。

1 設定メニュー画面→[一般管理]→[リセット]→[工場出荷状態に初期化]→[リセット]

- ・ 画面ロックの設定によっては、ロック解除が必要な場合があります。

2 [全て削除]

本製品が自動的に再起動します。
本製品の再起動またはリセット中は、そのままお待ちください。

memo

- ◎ 初期化は、充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

2	スクリーンリーダー	Voice Assistant	▶P.98 「ユーザー補助を利用する」	
		チュートリアル	タッチ操作の練習やチュートリアルを行います。 ・ 「Voice Assistant」をオンにすると使用できます。	
		設定	「Voice Assistant」の設定を行います。	
	視認性向上	高コントラストのテーマ		高コントラストのテーマを設定します。
		高コントラストフォント		フォントの色や輪郭を調整して、背景とのコントラストを高めます。
		高コントラストキーボード		Galaxyキーボードのサイズを調整してキーボードの色を変更します。
		ボタンを強調して表示		ボタンを色付きで表示して見やすくします。
		アニメーションを削除		アニメーションや画面の動きが気になる場合、特定の画面エフェクトを削除します。
		色を反転		画面のカラーを反転します。
		色を補正		ディスプレイ表示を最適な色に調整します。
聴覚補助	ルーペウィンドウ		画面上のコンテンツを拡大表示します。	
	拡大		画面の拡大操作を設定します。	
	マウス/タッチパッドポインターを拡大		マウスやタッチパッドのポインターを大きくします。	
	文字サイズとフォントスタイル		文字サイズやフォントスタイルなどを設定します。	
	画面のズーム		画面のズームを設定します。	
	全ての音を消音		受話音声を含む、すべての音をオフに設定します。	
	左右のサウンドバランス		イヤホンを使用して音楽を聴くときの左右の音量バランスを設定します。	
モノラル再生		片方のイヤホンだけで聴きやすくするために、オーディオをモノラルに変更します。		
	Galaxy字幕(CC)		字幕の表示方法を設定・確認します。	
	Google字幕(CC)			
	音声-テキスト変換		端末のマイクを使用してスピーチを録音し、テキストに変換します。	

制御と操作	ユニバーサルスイッチ	カスタマイズしたスイッチで本製品を操作します。
	アシスタントメニュー	アシスタントメニューを表示させるかどうかを設定します。また、アシスタントメニューのサイズや、アシスタントメニューの透明度などを設定できます。
	ポインター停止後にクリック	マウス使用時などにポインターが停止したら自動的にクリックするかどうかを設定します。
	通話応答／終了	かかってきた電話に出る操作を追加したり、 [] (電源キー)を押して電話を切ることができるように設定したりすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> 「電源キーを押して終了」がオンの状態で、通話中にスリープモードになった場合は、[] (電源キー)を押してスリープモードを解除してから[] (電源キー)を押すと通話を終了できます。
	入力操作制御	タッチ操作をブロックする範囲を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 本機能を有効にするには、音量キーの上側と[] (電源キー)を同時に2秒以上押し、画面の指示に従ってください。
	長押しの認識時間	ロングタッチの認識時間を設定します。
	タップの認識時間	何秒タップしたらタップとして認識されるかの時間を設定します。
	繰り返しのタッチを無効化	タップの繰り返しの無効にする時間を設定します。
詳細設定	電源キーと音量アップキー	[] (電源キー)と音量キーの上側を同時に押しして起動する機能を設定します。
	音量アップキーと音量ダウンキー	音量キーの上側と音量キーの下側を同時に長押しして起動する機能を設定します。
	フラッシュ通知	通知を受信したときや、アラームが鳴ったときにカメラのライトまたは画面が点滅します。
	通知リマインダー	アプリやサービスからの通知に関する定期的なリマインダーについて設定します。
	ボイスラベル	NFCタグに音声録音を書き込み、周囲の対象物に関する情報を提供します。
インストール済みのサービス	インストール済みのサービスを設定します。	

Voice Assistantを利用する

ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするVoice Assistant機能を有効にします。

- 1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]
- 2 [スクリーンリーダー]→[Voice Assistant]の**[]**をタップ→[許可]→[OK]
- 3 [設定]→各項目を設定



Voice Assistantのタッチガイド機能について

- ◎ Voice Assistantをオンにしたときは、タッチガイド機能を有効にすることの確認メッセージが表示されます。タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示したりすることができる機能です。
- ◎ タッチガイド機能をオンにした場合、本製品の操作の一部が通常の操作と異なります。
 - 項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップします。
 - スライドする場合は、2本の指で操作します。

ソフトウェア更新の設定をする

- 1 設定メニュー画面→[ソフトウェア更新]

2	ダウンロードおよびインストール	▶P.100「ソフトウェアをダウンロードして更新する」
	Wi-Fi接続時に自動ダウンロード	Wi-Fi®ネットワーク接続時に、自動的にソフトウェア更新を行います。ダウンロード中も本製品を使用することができます。
	最終更新	最終更新情報を確認できます。

端末情報を表示する

- 1 設定メニュー画面→[端末情報]

2	(端末名称)	本製品の「電話番号」、「モデル番号」、「シリアル番号」と「IMEI」を確認できます。「編集」をタップすると、端末名称を設定できます。
	ステータス	SIMカードの状態、IMEI情報などを確認できます。
	法定情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約、システムのWebViewライセンス、Samsung規約、プライバシーポリシー、Knoxのプライバシーポリシー、Samsung法的文書のバージョンに関する情報を確認できます。
	認証情報	本製品の認証情報を表示します。
	ソフトウェア情報	バージョンや各種情報を確認できます。
	バッテリー情報	本製品のバッテリーの状態、残量などの情報を確認できます。

付録・索引

付録	100
ソフトウェアを更新する	100
故障とお考えになる前に	100
アフターサービス	101
主な仕様	101
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	102
FCC RF exposure information	102
European RF Exposure Information	102
Declaration of Conformity	102
輸出管理規制	102
知的財産権について	103
索引	104

付録

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

■ご利用上のご注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 アプリ一覧画面で[設定]

2 [ソフトウェア更新]→[ダウンロードおよびインストール]

3 [ダウンロード]／[インストール]

以降は、画面の指示に従って操作してください。

- ダウンロードの確認画面が表示された場合は、「ダウンロード」をタップしてください。
- インストールの確認画面が表示されたら、「今すぐインストール」をタップしてください。



◎ 自動検索するために通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

「Smart Switch」を使って、パソコンからソフトウェアを更新できます。

- 詳しくは、「Smart Switchを利用する」(▶P.80)をご参照ください。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.27
	[(電源キー)を2秒以上押ししていますか？	P.28
充電ができない	ACアダプタの電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	P.27
電池を利用できる時間が短い	☹(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.35
	内蔵電池が寿命になっていませんか？	P.17
タッチパネルで意図したとおりに操作できない	爪の先で操作したり、異物を載せたまま操作したりしていませんか？	P.32
キー／タッチパネルの操作ができない	画面ロックが設定されていませんか？	P.28
	電源は入っていますか？ ・電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.28
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	—
「SIMカードがありません」と表示される	SIMが挿入されていますか？	P.26
電話がかかけられない	SIMが挿入されていますか？	P.26
	電話番号が間違っていないですか？(市外局番から入力していますか？)	P.44
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.88
	ネットワークモードの設定が間違っていないですか？	—
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.35
	サービスエリア外にいませんか？	
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.88
	ネットワークモードの設定が間違っていないですか？	—
着信転送サービスが設定されていませんか？	—	
着信音やアラーム音の鳴り始めの音量が小さい	耳に悪い影響を与えないよう、着信直後やアラームが鳴動した直後は小さな音量で鳴り、次第に設定した音量になる仕様です。	—
画面照明が暗い	「標準省電力モード」または「最大省電力モード」が設定されていませんか？	P.96
相手の方の声が聞こえない	通話音量が最小に設定されていませんか？	—
	受話口／スピーカーを耳でふさいでいませんか？受話口／スピーカーが耳の穴に当たるようにしてください。	P.24
おサイフケータイ®が使えない	内蔵電池は充電されていますか？	P.27
	「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定中ではありませんか？	P.69
	本製品の マークがある位置をリーダー／ライターにかざしていますか？	P.68

こんなときは	ご確認ください	参照
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？ microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.76 P.96
メディアデバイスモード(MTP)で接続しても動作しない	Smart SwitchまたはWindows Media Player 11 / 12をパソコンにインストールしてください。	P.80

アフターサービス

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、お客様宅への商品到着から1年間です。

memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 本体内蔵の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
- ◎ 本製品本体以外の付属品や試供品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社はこのGalaxy A30本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

主な仕様

■ Galaxy A30

ディスプレイ	約6.4インチ 約16,770,000色(有機EL (Super AMOLED)) FHD+(2340×1080ドット)	
質量	約176g	
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約75mm×160mm×8.0mm (最厚部約8.2mm)	
CPU	Exynos7904	
ストレージ(ROM/RAM)	ROM: 64GB RAM: 4GB	
連続待受時間 ^{*1}	国内	約670時間
	海外(GSM)	約600時間
連続通話時間 ^{*1}	国内	約1990分
	海外(GSM)	約1230分
連続Wi-Fi [®] テザリング時間	約1070分	
Wi-Fi [®] テザリング最大接続数	10台	
充電時間	Travel Adapter使用時: 約120分	
カメラ	撮像素子	CMOS
	有効画素数	外側: 約1300万画素+約500万画素 内側: 約800万画素
無線LAN (Wi-Fi [®])機能	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 ^{*2}	
Bluetooth [®] 機能	対応バージョン	Bluetooth [®] 標準規格Ver.5.0
	出力	Bluetooth [®] 標準規格Power Class 1
	通信距離 ^{*3}	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル ^{*4}	GATT (Generic Attribute Profile) OPP (Object Push Profile) HSP (Headset Profile) HFP (Hands-Free Profile) A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) SPP (Serial Port Profile) apt-x SCMS-T PBAP (Phone Book Access Profile) HID (Human Interface Device Profile) PAN (Personal Area Networking Profile) PAN-NAP PAN-U DUN (Dial-up Networking Profile) ^{*5} SAP (SIM Access Profile) HOGP (HID over GATT Profile)
	使用周波数帯	2.4GHz帯 (2.402GHz ~ 2.480GHz)

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※1 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

※2 IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応しています。

※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※4 Bluetooth[®]機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth[®]標準規格で定められています。

※5 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

■ Galaxy A30

この機種Galaxy A30の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.666W/kg^(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は1.155W/kg^(※2)です。

個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/emf>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ:

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

○Galaxyのホームページ:

<https://www.samsung.com/jp/support/sar/sarMain.do>

FCC RF exposure information

■ Galaxy A30

詳細は、下記をご参照ください。

<https://www.samsung.com/sar>

本製品は、Federal Communications Consortium (FCC) の認証を受けています。

本製品のFCC IDは、A3LSCV43です。

また、以下の方法でも確認できます。

確認方法:

アプリ一覧画面で[設定]→[端末情報]→[ステータス]
→FCC認証

European RF Exposure Information

詳細は、下記をご参照ください。

<https://www.samsung.com/sar>

Declaration of Conformity

詳細は、下記をご参照ください。

https://www.samsung.com/mobile_doc

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth® とBluetoothロゴは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi®, Wi-Fi Protected Setup™, Wi-Fi Direct™, Wi-Fi CERTIFIED™とWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Excel®, PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- フは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- InstagramおよびInstagramロゴはInstagram, LLCの商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google カレンダー」、「Google Chrome」、「Google マップ」、「Google Play Music」、「Google+」、「Google 音声検索」および「YouTube」は、Google LLCの商標または登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2019 All Rights Reserved.
- Microsoft®, Windows Media®, ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Atmos及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。



Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Windows 10 Home, Pro, Enterprise, Education)の略です。
- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Proの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter, Home Basic, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate)の略です。

License

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。<http://www.mpegla.com> をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限り)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

HEVC Advance



索引

アルファベット

A

Androidアプリ 72

B

Bixby Home 40
Bluetooth®機能 82
 起動 82
 周波数帯 20
 注意事項 20
 データの送受信 83
 パスキー 82
 ペアリング 82

F

FeliCaマーク 68

G

Galaxy Store 66
Galaxyアカウント 29
Galaxyキーボード 41
 設定 42
Gmail 53
 作成 53
 受信 53
 送信 53
 メニュー 53
Google Play 72
Googleアカウント 29
Google音声検索 36

M

microSDメモリカード 76
 取り付ける 76
 取り外す 77
 フォーマット 78
 メモリ使用量 78

N

NFC
 Android Beam 70

P

PINコード 21
PINロック解除コード 21
Playストア 72

S

SAR 102
S Health 72
SIM 25
 取り付ける 26
 取り外す 26
SIMカードをロック 94
Smart Switch 80

SMS 52
 SMSについて 52
 受信/返信 52
 設定 53
 送信 52

U

USB Type-Cケーブル
 接続 78

V

VPN設定 89

W

Wi-Fi® 83
 Wi-Fi Direct 84
 起動 83
 自動的にWi-Fi®をON 84
 周波数帯 20
 静的IP 84
 接続 84
 切断 84
 注意事項 20
 ネットワーク追加 84

かな

あ

アイコン 34
 ステータスアイコン 35
 通知アイコン 34
アフターサービス 101
アプリ一覧画面 34
 アンインストール 73
 カスタマイズ 34
 終了 37
 表示 34
アプリケーション 34
 アンインストール 73
 管理 73
 ショートカットの移動/削除 33
 ショートカットの追加 33
アラーム 71
暗証番号 21
安全上のご注意 9
インターネット 56
 データ通信 56
ウィジェット 32
 移動/削除 33
 追加 33
おサイフケータイ® 68
 ご利用にあたって 68
 サービスの利用 70
 設定 69
 ロック 69
音量調節 90

か

顔認証 39
各部の名称 24
カメラ 61
 AR絵文字 64

インテリジェントカメラ	64
カメラモード	62
撮影画面	61
静止画撮影	63
設定	62
注意事項	61
動画録画	63
プレビュー画面	62
ライブフォーカス	63
画面ロック	28
解除	28, 92
カレンダー	65
画面の見かた	65
作成	65
スヌーズ	65
設定	65
通知	65
表示	65
メニュー	65
起動中のアプリケーション	37
機内モード	88
ギャラリー	64
静止画／動画表示	64
メニュー	64
緊急時長持ちモード	36
緊急通報位置通知	45
クイック検索ボックス	36
クリアケース(試供品)	25
携帯電話機の比吸収率	102
故障とお考えになる前に	100

さ

再起動	28
最近使用したアプリケーション	37
辞書	67
メニュー	67
指紋認証	39
充電	27
仕様	101
ショートカット	33
初期化	97
スクリーンショット	37
スクリーンセーバー	91
ステータスバー	34
ストップウォッチ	71
セーフモード	28
世界時計	71
セキュリティ	
SIM PINを変更	94
SIMカードをロック	94
設定の切り替え	37
設定メニュー	88
ソフトウェア更新	100
ダウンロード	100
注意事項	100

た

タイマー	71
タッチパネルの使いかた	32
縦横表示切替	36
タブを切り替え	36
着信履歴	45
通知パネル	35
通話設定	47

データ使用量	88
データ通信料についてのご注意	21
データの複数選択	37
テザリング	85
Bluetooth®テザリング	85
USBテザリング	85
Wi-Fi®テザリング	85
電源を入れる／切る	28
電話	44
応答	46
消音	44
スピーカー	44
スピードダイヤル番号	45
着信	46
発信	44
電話番号確認	47
同梱品	1
時計	71
アラーム	71
ストップウォッチ	71
世界時計	71
タイマー	71
取り扱い上のご注意	15

な

ナビゲーションバーの使いかた	32
----------------	----

は

発信履歴	45
パワーモード	96
番号指定拒否	48
表記方法	1
ブックマーク	58
追加	58
ブラウザ	56
画像ダウンロード	57
設定	58
タブ	56
テキスト検索	57
テキストコピー	57
表示	56
ブックマーク	58
メニュー	56
履歴	58
履歴消去	58
リンク	57
分割画面表示	34
ボイスレコーダー	67
ホーム画面	32
ウィジェット	33
カスタマイズ	33
かんたんモード	33
ショートカット	33
ホーム画面位置	32

ま

マイファイル	79
メニュー	79
マナーモード	90
無線LAN (Wi-Fi®) 機能	83
メール	52
Gmail	53
SMS	52

メニュー表示	36
文字入力	41
Galaxyキーボード	41
切り取り	42
コピー	42
設定	42
選択	42
入力方法の切り替え	41
貼り付け	42

5

連絡先	48
インポート	50
エクスポート	50
お気に入りへの追加	49
確認	49
グループ	49
登録	48
発信	50
プロフィール編集	49
編集	49
メニュー	50

